

パブリック・コメントで頂いた御意見と御意見に対する考え方について

1 意見の募集期間

令和2年11月5日（木）～12月4日（金） 30日間

2 計画案の周知方法

- ① 市役所庁舎案内所、情報公開コーナー、区役所・支所等で意見募集冊子を配布するとともに、京都市ホームページ（外国語版含む）にも掲載
- ② 市民しんぶんと同時に配送する町内回覧用のチラシを作成し、市内全域に周知
- ③ メーリングリスト・SNS等を活用して周知

立命館大学衣笠キャンパスメーリングリスト、京都府地域力メーリングリスト、地域企業未来力会議メーリングリスト、京都エコ・エネ交流クラブメーリングリスト、U35-KYOTO(Facebook)、京都市公式(Facebook, Twitter, LINE)、住むなら京都(Facebook) 等

- ④ 出前パブリック・コメントの実施

京都女子大学、立命館大学、花園大学、堀川高校、総合支援学校、バザールカフェ、京都リサーチパーク、シンク・アンド・アクト、あうる京北

3 募集結果

794名、1,638件

(1) 性別・年齢別

	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	不明	合計
男性	114	49	31	30	23	41	22	7	317
女性	120	67	27	20	11	9	13	12	279
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不明	60	2	7	2	0	0	1	126	198
合計	294	118	65	52	34	50	36	145	794

(2) 居住地別

	京都市内	京都市外	不明	合計
人数	391	115	288	794

(3) 提出方法別

	郵送, FAX	入力フォーム, メール	出前パブリック・コメント	合計
人数	102	182	510	794

(4) 項目別（件数）

大項目		小項目		件数	
全般				5	
計画の構成				3	
計画の位置付け				21	
計画の背景				18	
都市経営の理念				19	
京都の未来像	未来像全般			13	48
	環境共生と脱炭素のまち・京都			3	
	日本の心が感じられる国際都市・京都			13	
	環境と社会に貢献する産業を育てるまち・京都			2	
	学びのまち・京都			2	
	支え合い自治が息づくまち・京都			12	
	真のワーク・ライフ・バランスを実現するまち・京都			3	
重点戦略	重点戦略全般			23	101
	世界の文化首都・京都戦略			12	
	脱炭素・自然共生・循環型まちづくり戦略			6	
	担い手成長支援戦略			20	
	地域力・福祉力を高めて支え合うまちづくり戦略			11	
	強靱なインフラ整備戦略			9	
	土地・空間利用と都市機能配置戦略			10	
	社会・経済価値創造戦略			3	
	観光の京都モデル構築・発信戦略			7	
政策の体系	全般			9	1, 266
	うるおい	1 環境		97	
		2 人権・男女共同参画		17	
		3 市民生活とコミュニティ		23	
		4 市民生活の安全		46	
		5 文化		48	
		6 スポーツ		16	
	活性化	7 産業・商業		53	
		8 観光		94	
		9 農林業		26	
		10 大学		31	
		11 国際		13	
	すこやか	12 子育て支援		37	
		13 障害者福祉		24	
		14 地域福祉		10	
		15 健康長寿		20	
		16 保健衛生・医療		17	
		17 学校教育		99	
		18 生涯学習		16	
	まちづくり	19 危機管理・防災・減災		16	
		20 歩くまち		295	
		21 土地・空間利用と都市機能配置		42	
		22 景観		46	
		23 建築物		16	
		24 住宅		14	
		25 道と公園・緑		123	
		26 消防・救急		4	
		27 くらしの水		14	
行政経営の大綱				139	
計画の推進				29	
その他				52	

※複数の項目にまたがる御意見があるため、各項目の総和は意見件数と一致しない。

4 御意見の要旨と御意見に対する考え方

お寄せいただいた御意見のうち、答申案に反映させていただいた御意見は 60 件、審議の参考とさせていただいた御意見は 1,578 件ございました。

なお、御意見の中には、個別・具体的な要望も多く含まれておりましたが、これらについては、京都市において、今後具体的に施策を展開する際に検討すべきと考えます。

※以下、●の付いている御意見は複数の方から頂いた御意見です。

計画全般に関する御意見

◆ 答申案に反映させていただいた御意見

御意見の要旨	御意見に対する考え方
・カタカナの表記が高齢者には分かりにくく、もう少し日本語にして分かりやすくしてほしい。注釈も多いと思う	注釈は専門用語等を説明するため可能な限り記載しています。そのうえで御指摘を踏まえて必要な修正を行います。
・子どもも理解可能な平易な言葉で綴られることが大切だと思う	難解な専門用語には可能な限り注釈をつけるなど、分かりやすい文章となるよう努めておりますが、御指摘を踏まえて一部のカタカナ表記を日本語に修正します。

◆ 審議の参考とさせていただいた御意見

御意見の要旨	御意見に対する考え方
・京都に関わる人が力を合わせて 2025 年に向かっていくための道標となる全体を貫くストーリーが必要。多くの人々が同じストーリーを信じることで協力し合うことができる	都市経営の理念の下、6 つの京都の未来像を掲げ、その実現に向けて様々な主体と行政とが共に汗を流して協働する事項を重点戦略、政策の体系において、役割分担のイメージとして記載しております。さらに、計画の推進に当たっては、行政経営の大綱に記載している、あらゆる主体が相互の対話や交流を通じて連携・協働するみんなごとのまちづくりを進めることで、今後、京都市において基本計画の実現に向けて取り組んでまいります。

・初めて基本計画というものを見たが、審議会・市役所の職員の方がまとめられたものなので特に異論はない	今後、基本計画に掲げた方向性の下、京都市において基本計画を具体化する中で、予測困難な社会経済情勢に対して、柔軟かつ機動的に対応するため、精査を行いながら具体的な推進事業を定めてまいります。
・タイトルは、はばたけ未来へ！ 京都プラン 2025 の方が良い	今回の計画は、徹底した市民参加で策定した第 2 期基本計画の構成・内容を継承して策定することとしているため、名称についても第 2 期基本計画を継承したうえで目標年次である 2025 を加える形としています。
・京都市役所の底力に大いに期待する ・「はばたけ未来へ！ 京プラン 2025」頑張っているほしい	今後、基本計画に掲げた方向性の下、京都市において未来像の実現をめざして取り組んでまいります。

計画の構成に関する御意見

◆ 答申案に反映させていただいた御意見

御意見の要旨	御意見に対する考え方
・意見募集冊子は概要版ということで世界文化自由都市宣言を省略されたと思うが、最上位に位置するものを省くのはよくない。今後は概要版でも言及を ・基本計画案内の「京都市基本計画の構成」の図の一番上に、「世界文化自由都市宣言」を記載してはどうか	計画の構成に世界文化自由都市宣言を追加いたしました。

◆ 審議の参考とさせていただいた御意見

御意見の要旨	御意見に対する考え方
・各項目の関係性を分かりやすく体系的に記載すればステークホルダーに対し効率的に浸透すると思う	基本計画の構成として、各項目を一覧にまとめており、御意見の趣旨に合致すると考えます。

計画の位置付けに関する御意見

◆ 答申案に反映させていただいた御意見

御意見の要旨	御意見に対する考え方
未来志向の計画とあるが、500 億円の財源不足が出ると報道されている中で、まずは事業の見直しを行うべきではないのか	「厳しい財政状況にあっても」との文言を未来志向の前に追加いたします。また、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、行政経営の大綱に示した方向性に基づき、歳入・歳出の両面から改革を進めてまいります。

◆ 審議の参考とさせていただいた御意見

御意見の要旨	御意見に対する考え方
未来志向が感じられ、良いと思う	評価いただいた本計画に基づき、今後、京都市において具体化に取り組んでまいります。
計画全体としてよくまとまっている。共汗型計画として、それぞれの役割分担が書かれていることも、身近なことから取り組みやすいとイメージしやすいと感じた	多様化・複雑化する地域課題に対応するには、多様な主体が連携して取り組むことが重要との考え方のもと、個々の取組がイメージしやすいよう役割分担として各主体における取組イメージを例示しています。
SDGs をはじめとした時代の流れをしっかりと取り入れている	SDGs については、計画の位置付けをはじめ、基本計画の策定に当たって特に注目すべき社会経済情勢と捉えており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、SDGs の達成に向けて検討を進めてまいります。
コロナ禍で京都市の財政が逼迫している中で、予算を使わず知恵を使って、有効な対策を取っていただけることを期待している	今後、京都市において基本計画を具体化する中で、新型コロナウイルス感染症の拡大による社会経済情勢の変化をはじめ、厳しい財政状況にあっても、基本計画に掲げた方向性の下、新しい時代の京都をつくるための具体的な方策を検討してまいります。

・過去２期に及ぶ「京都市基本計画」の果実は、素晴らしい施策も多く、高く評価されなければならないものもある。しかしながら、その施策の結果や取組が残念ながら市民に周知されていないものもある。批判を畏れず、市民社会に資する優れた施策を推進することを希望する	厳しい財政状況にあっても、人口減少や地球温暖化の加速，新型コロナウイルス感染症の拡大などの社会経済情勢に対応しながら，市民のいのちとくらしをしっかりと守り，京都の未来への展望を開くことが重要との考えの下，未来志向の計画と位置付け，未来像実現に向けた重点戦略や歳入歳出両面からの改革を示す行政経営の大綱などを盛り込み，戦略的に取組を進めていくことをめざす計画としています。
・今の基本計画の重点戦略，政策の体系との違いが分からない	今回の計画は，徹底した市民参加で策定された第２期基本計画が成果を挙げていること，京都市基本構想の計画期間が残すところ５年であることを踏まえ，第２期基本計画の構成・内容を継承したうえで，新たな時代潮流を踏まえて策定することとしています。そのうえで，例えば重点戦略については現行計画の１１から８に再編するとともに，政策の体系についても子ども・若者の分野の再編，危機管理・防災・減災の分野の追加などの変更を行ったうえで，それぞれの内容を社会経済情勢の変化に合わせて見直しています。
・市長の任期を超える計画は無責任ではないか	本計画は京都市基本構想を具体化するための計画であり，その基本構想の計画期間が残すところ５年であることから，令和３年度から令和７年までを計画期間として策定するものです。

●額に汗して働くことが大事。共汗型計画としているのは好感が持てる。それぞれがお互いに頑張らなければならない ●共汗というワードがあまり好ましくない ●「共に汗を流して」と言う立場ではないと思う。役割分担が勝手に決められている印象を受けた。全体的に市民への押しつけ感がある ・「共汗」の理念は素晴らしいものであるが、「自治体」と「市民」の関係性は、あくまでも対等であるという価値観に基づくはず。京都文化を育んだ「自由」と「平等」の精神を大切にし、真の「共汗」へ導いてほしい	さまざまな主体と行政とが力を合わせて未来の京都をつくっていくことを端的に示す言葉として、第２期基本計画を多様な主体が協働する共汗型計画と位置付けました。今回の計画は位置づけ等も含め、この第２期基本計画を継承する計画であることから、引き続き使用しています。 複雑・多様化する地域課題への対応には、多様な主体と共に取り組むことが一層重要であり、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、京都市自らが取り組むことはもちろんのこと、多様な主体が連携・協働するための対話・交流の促進など、新たな行動や解決策を生み出すまちづくりを検討してまいります。
・第２期基本計画に掲げた京都の未来像は一定具現化しつつあると成果が挙げられているように記載されているが、具現化した結果、財政破綻しかかっているのであれば失敗ではないのか ・未来志向の計画と書いているが財政破綻しているのに未来はないだろう	厳しい財政状況にあっても、人口減少や地球温暖化の加速、新型コロナウイルス感染症の拡大などの社会経済情勢に対応しながら、市民のいのちとくらしをしっかりと守り、京都の未来への展望を開くことが重要との考えの下、未来志向の計画と位置付け、未来像実現に向けた重点戦略や歳入歳出両面からの改革を示す行政経営の大綱などを盛り込み、戦略的に取組を進めていくことをめざす計画としています。

計画の背景に関する御意見

◆ 答申案に反映させていただいた御意見

御意見の要旨	御意見に対する考え方
・Society5.0の注釈は、市民感覚で分かるような表現で示してほしい	Society5.0の注釈を修正しました。
・不足財源の補てんについて、どうしても取り崩さないといけない理由がいまいちわからない。もう少し詳しく書いてほしい ・京都市の経済状況について、多くの市民が不安に感じている。基本計画の中でももう少し言及しても良いのではないか ・市税収入が低いとあるが、財政基盤が脆弱な理由を市民のせいにするのは失礼だ	京都市財政について、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を踏まえた中期の収支試算、あらゆる施策のゼロベースでの見直しへの着手等の記載を追加しました。

◆ 審議の参考とさせていただいた御意見

御意見の要旨	御意見に対する考え方
・京都に住んで良かったと住民の声が沸き上がる市政を願っております	基本計画に掲げる方向性の下、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、子育て世代をはじめとした定住促進に向け、働く場の確保や生活利便性の向上など、将来にわたってくらしやすく、魅力や活力ある持続可能な都市構築に向けて検討してまいります。
・計画の背景に掲げる4項目と、計画案に図示されている分野横断的な時代潮流はどのように関係するのかという記述が必要ではないか	計画の背景は、基本計画策定に当たって特に注目すべき社会経済情勢の変化を記載しており、人口減少や地球温暖化など第2期基本計画に掲げた4項目を継承しています。そのうえで、分野横断的な時代潮流として記載した、第2期基本計画策定後に起きた大きな社会経済情勢の変化については、人口減少や地球温暖化等に対応するレジリエンスの重要性、グローバル化が進展する中での世界的な目標としてのSDGsの採択といった形で、第2期基本計画に掲げた4項目の背景の中においてそれぞれ記載しております。

・レジリエンスは人口減少などと並ぶ「計画の背景」といえるのか。ここには、計画の中身に入る前の共通認識を示すべき	レジリエンスについては、計画の位置付けにおいて触れているように、東日本大震災等を契機に関心が高まった、様々な危機に対処するための重要なキーワードと考え、計画の背景において記載しております。
●人口減少対策が必要 ●少子化だけに重点をおいた政策の推進により、合計特殊出生率を上げる事に注力すべき ・京都市は全国の市区町村別出生率のワースト 10 に下京区，東山区，上京区が入っている「子どもを産み育てにくいまち」であるという現状認識を持つべき。出生率向上をめざすのであれば，高齢者から若者へ資金，資源配分を移していくことが必要だ ・人口の減少は非常に苦しいため，学力などの特色でアピールをしてほしい	少子化・高齢者の増加の重要性を踏まえ，計画の背景において，特に注目すべき社会経済情勢として今後も継続する少子化傾向や高齢者の増加と単身化について記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，それらの課題への対応を検討してまいります。
・人口が減少しているなか，京都市に住みたい，住み続けたい，という魅力と説得力のある理念の構築を望む ・京都に住んでいる人を大事に，住みたい人が増えるような戦略が必要ではないか	基本計画に掲げる方向性の下，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，子育て世代をはじめとした定住促進に向け，働く場の確保や生活利便性の向上など，将来にわたってくらしやすく，魅力や活力ある持続可能な都市構築に向けて検討してまいります。
・エネルギー消費量に平均気温変化のグラフを加えることが必要である	地球規模での課題である地球温暖化の状況について，世界の平均気温の上昇を示すグラフを記載しています。
・計画の背景で「京都市の外国籍市民が増加見込み」との予測が示されているが，それに基づく「戦略」や「政策」が示されていないのではないか	グローバル化の加速に記載している見込みを踏まえ，重点戦略の「地域力・福祉力を高めて支え合うまちづくり戦略」や「社会・経済価値創造戦略」，政策の体系の「人権・男女共同参画」，「産業・商業」，「国際」，「健康長寿」などにおいて，外国籍市民の増加見込みという背景に対応する施策等を記載しています。

・持続的な行財政の確立に向けてとあるが、なにをされるのか具体的なことがなにも書かれてなく不明である	基本計画に掲げる行政経営の大綱に持続的な行財政の確立に向けた方向性をさらに踏み込んで記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、さらなる行財政改革に向けて検討してまいります。
---	--

都市経営の理念に関する御意見

◆ 答申案に反映させていただいた御意見

御意見の要旨	御意見に対する考え方
●都市経営の理念に「主人公たるべき市民」とあるが、「主人公である」もしくは「主人である」とされるべきではないか	「主人公たるべき市民」を「主人公である市民」に修正しました。

◆ 審議の参考とさせていただいた御意見

御意見の要旨	御意見に対する考え方
・素晴らしい理念だと思う。実現を期待する ・素晴らしい方針である。記されている使命感はいずれも大切なこと。実現を期待	評価いただいた理念に基づき、今後、京都市において基本計画の具体化に取り組んでまいります。
・単なる市民参加だけでなく構想・実践において、行政任せではない市民の主体性を求めていると感じ、「よしやってやろう」という気持ちになった ・「都市経営の理念」に記載されている内容は普遍的な真理である	都市経営の理念の下、基本計画に掲げた政策の実現を図ってまいります。
・市民ファーストで京都の未来を描いてほしい	都市経営の理念において、「生活者を基点に、参加と協働で未来を切り拓く」という表題のもと、都市経営のあるべき姿は、自治体とその主人公である市民が自治意識を共有し、実践する、参加と協働による市政運営とまちづくりを実現することであると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、理念の実現に向けて検討してまいります。

・地域力の向上を考えるうえでは、既存施設を最大限に活用し、コロナ禍で苦しんでいる全ての市民が立ち上がることが必要	都市経営の理念において、「参加と協働で実現への道筋を見出し、力強い経済と都市の活力の創出に向け、共に汗を流して希望のもてる未来を切り拓く」と記載しており、多様な主体が協働する共汗型計画について策定してまいります。
・住民と協働するというのは何かを達成するための手段であり、理念という言葉にそぐわない。タイトルは理念ではなく、「京都市の都市政策を進めていくうえでの基本となる考え方」とした方が良い	「理念」は、計画などの根底にある根本的な考え方という意味で使用しており、御指摘の趣旨を端的に表す言葉として記載しています。
・「その主人公たるべき市民」とするのであれば、参加ではなく市民が計画段階からかわる「参画」がふさわしいのではないかと	京都市の市民参加推進条例第 4 条において「市民は、市政に関する情報並びに政策の形成、実施及び評価の一連の過程における参加の機会を活用することにより、積極的に市政に参加するよう努めるものとする」とあるように、形成段階からかわることも含めて「参加」としてしています。
・市民力・地域力・文化力を市民と職員が共通理解することが必要	都市経営の理念に記載しているように、市民力・地域力・文化力を生かして、参加と協働で未来像を実現できるよう取り組んでまいります。
・「経営」ではなく、主権者住民が下から作っていくものだという位置づけが憲法上、地方自治法上ふさわしいのではないかと。さまざまな分野も、広く言えば、福祉の増進を図るためのものという柱が通っているはず。はやりの「マネジメント」ではなく、主権者が定めた憲法と法律を常に意識して基本的な方針を作成すべきである	「経営」は、目的を達成するために計画的に実行するという意味で使用しています。また、「生活者を起点に」という表現では、一人一人の生活にしっかりと目配りしたうえで、各種の政策に取り組むことを、本計画の理念として表すことを意図しています。

・都市経営の理念と書かれているように、やはり経営感覚が重要。あらゆるリソースを活用しなければならない	「経営」は、目的を達成するために計画的に実行するという意味で使用しています。この理念の下、多様な主体との連携・協働により重点戦略等を推進し、未来像の実現に向けて検討してまいります。
・都市経営の理念は正に正論であるが、その具体化のためには市民への権限の委譲と財源の確保が必要	都市経営の理念に参加と協働による市政運営とまちづくりの実現を掲げており、この理念に基づく重点戦略や各政策の体系、行政経営の大綱に示す方向性の下、今後、京都市において基本計画を具体化してまいります。
・「都市経営の理念」のところに、「計画の背景」で記述のない「科学技術の進展」がいきなり「時代潮流の一つ」として出てくるのも疑問	情報通信技術の発展等による情報交流の拡大や、AI、ロボット、ビッグデータなど近年急速に進展しているイノベーションを取り入れ、Society5.0の実現に取り組んでいることなど、計画の背景に記載している内容を踏まえ、都市経営の理念においては、端的に科学技術の進展と表現しております。
・京プラン 2025 に全体を貫く一本の串がないので、記載の各政策がバラバラに見える	人口減少や地球温暖化の加速、厳しい京都市財政といった第2期基本計画に掲げる社会経済情勢の変化のほか、文化力・SDGs・レジリエンス・Society5.0などの分野横断的な時代潮流を踏まえたうえで、都市経営の基本となる考え方として、「生活者を起点に、参加と協働で未来を切り拓く」という都市経営の理念を掲げています。この理念の下、基本計画に掲げる政策等の実現を図ってまいります。

・京プラン 2025 の背骨（理念）が見えないため、未来像や戦略がバラバラに見える。加えて、「市民との協働」を理念として掲げるのは違和感がある。市民と協働することで京都市をどのようなまちにしたいのかを掲げるべき	都市経営の理念では、京都市の都市政策を進めていくうえで基本となる考え方を記載しております。そのうえで、めざす姿として 6 つの未来像を掲げるとともに、これを実現するために優先的に取り組む政策として 8 つの重点戦略を掲げています。
・「生活者」、「生活」、「くらし」といった言葉が使われているがそれぞれの違いは何か	都市経営の理念における「生活者」については、現行の基本計画から使用しており、市民が働きやすい、くらしやすい、住みやすい、育てやすい、弱者に優しい社会を実現するため、そこで生活している人を原点にする必要があるとの考えの下、「生活者」という言葉を使用しています。そのうえで、世の中でくらししていくことなどの意味を持つ「生活」や「くらし」といった言葉については、上位計画に当たる基本構想のほか、国や各分野別計画等での表現・議論などを踏まえつつ、それぞれの文脈において、適切と考える文言を使用しているものです。
・長年育んできた市民力・文化力とは何を指すのか不明瞭	歴史のなかで育み、磨き上げてきた、自立性の高い市民文化をもつ市民の力や、広く国内外との多彩な交流を通じて京都が培ってきた有形無形のあらゆる文化のもつ力を生かして取り組むことを意図して使用しています。

京都の未来像に関する御意見

【未来像全般に関する御意見】

◆ 審議の参考とさせていただいた御意見

御意見の要旨	御意見に対する考え方
・素晴らしい未来像だと思う。実現を期待する ・6つの未来像はいずれも大事なことだと思う。実現することが大事 ・京都の未来像はとてもすばらしい。真のワーク・ライフ・バランスをぜひ実現してもらいたい	評価いただいた未来像に基づき、今後、京都市において基本計画の具体化に取り組んでまいります。
・住みたいまち、居たいまち、行きたいまちのイメージがふくらむポジティブなイメージが盛り込まれ、誰にとっても魅力的なまちになるとうれしい	都市経営の理念の下、6つの京都の未来像を掲げ、その実現に向けて様々な主体と行政とが共に汗を流して協働する事項を重点戦略、政策の体系において、役割分担のイメージとして記載しております。 さらに、計画の推進に当たっては、行政経営の大綱に記載している、あらゆる主体が相互の対話や交流を通じて連携・協働するみんなごとのまちづくりを進めることで、今後、京都市において基本計画の実現に向けて取り組んでまいります。
・人口減少を見据えたコンパクトシティ、自然との共生が図られたスマートシティ、立派なハコモノをつくって喜ぶという発想からの脱却の視点が抜けているのではないか	公共交通の優先や環境と調和する交通・都市づくり、有形無形の文化の創造・継承や本物に数多く触れられる強みを生かした学びの機会など、計画の背景に掲げた人口減少や地球温暖化などの社会経済情勢の変化を踏まえた内容を記載しており、重点戦略や政策の体系に掲げた方向性の下、未来像の実現をめざしてまいります。
・地域と行政の調和が図られ、環境と生活の充実が体感できることが望まれる	参加と協働を掲げた都市経営の理念の下、環境や歴史・文化、産業、学び、安心・安全などの6つの未来像を実現することを掲げており、御意見の趣旨に合致すると考えます。

・「未来像相互の関連性」はどこに記述されているのか。また、現行の基本計画の 8 ページにある、未来像が循環するとはどういうことか	6 つの未来像については、現行の基本計画を基本的に継承したもので、例えば環境に貢献する産業を生み出すことが、環境共生のまちの実現にも寄与し、環境共生が進むことで一層のビジネスチャンスを生むといった好循環が起きるなど、相互に関連するものであることから、次期基本計画においてもそれぞれの未来像を線で結ぶことで互いに関連することを示すことを意図しています。
・京都の未来像は総花的で市民がどこをめざして頑張ればよいのか見えにくい。このため、記載の状況を実現する具体的な未来像を併記してはどうか	京都の未来像はめざす京都の姿を記載したものです。そのうえで政策の体系にもみんなでめざす 2025 年の姿を記載しております。
・まずは優先順位をつけて項目を絞って見通しを立てやすくすることを提案する ・将来像がいくつも分かれており、理解できない	京都市基本計画は、京都市会基本条例において、「市政全般にわたり総合的かつ体系的に定めるもの」とされており、多岐にわたる市政分野の中から、6 つの未来像を掲げるとともに、これらを実現するために優先的に取り組む政策として 8 つの重点戦略を掲げています。
・京都の未来像を感じにくいので、市民にもっとアピールして欲しい ・未来像である以上、絵や映像で表現できる内容とすべき	基本計画策定後、京都市において計画冊子等を作成するに当たっては、分かりやすく伝えられるよう工夫してまいります。

【「環境共生と脱炭素のまち・京都」に関する御意見】

◆ 答申案に反映させていただいた御意見

御意見の要旨	御意見に対する考え方
・京都の未来像に「あるくまち京都」、コンパクトシティ、集約都市形成計画、都市機能・居住誘導、公共交通重要路線沿線への居住誘導といった観点を	市民生活と多様で力強い経済・文化活動を支える交通・都市づくりの観点を追加しました。

◆ 審議の参考とさせていただいた御意見

御意見の要旨	御意見に対する考え方
・温暖化防止策を講じてほしい	未来像に環境共生と脱炭素のまちを掲げるとともに、重点戦略や政策の体系において、2050年の二酸化炭素排出量「正味ゼロ」に向けた社会の実現について記載しており、御意見の趣旨に合致するものと考えます。
・産業を含めたインフラとしてのデジタル技術・ネットワーク技術を先進的に整備された都市になることが必要	未来像において、最先端の技術を用いた環境と調和した産業が新たな雇用を生み、くらしやすさや訪れやすさを高めるまちづくりをめざすと記載しているほか、強靱なインフラ整備戦略において、さまざまな分野におけるデジタル化の促進について記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、市民生活と多様で力強い経済・文化活動を支えるインフラ整備に向けて検討してまいります。

【「日本の心が感じられる国際都市・京都」に関する御意見】

◆ 審議の参考とさせていただいた御意見

御意見の要旨	御意見に対する考え方
・5年後の京都はもっと平和になってほしい	市民が京都の豊かな文化と奥深い伝統に彩られた京都のまちに対する一層の愛着と誇りを持ち、「住んでよし訪ねてよし」の国際文化観光都市であり続けることをめざすことを掲げ、さらに、こうした魅力を平和と共に広く世界に発信し、文化的な交流を深めることを記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、日本の心が感じられる国際都市・京都の実現に向けて検討してまいります。
・日本文化の発信に引き続き力を注いでほしい ・文化的な成熟とグローバルなコミュニティが、京都らしさと言われるようになればいい	未来像において、京都の魅力を平和とともに広く世界に発信し、文化的な交流を深めると記載しており、御意見の趣旨に合致するものと考えます。
・京都の伝統・文化・技術を伸ばして後継者の育成を	未来像において、有形無形の日本の心ともいべき京都の特性を創造的に活用し、次世代に継承することについて記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、歴史・文化の創造的な活用・継承に向けて検討してまいります。
●古きを残すまちにしてほしい ・和をもっと強調してほしい ・京都には少人数の人のみが受け継いでいる高度な技術や文化が多くあるはずなので、それらを積極的に探し、継承するのが大切だと思う	未来像において、先人たちが、あるときは頑なに守り、あるときは進取の気性で培ってきた、幾重にも積み重ねられた歴史と文化、美しい自然や景観、伝統が息づくくらし方など、有形無形の日本の心ともいべき京都の特性を創造的に活用し、次世代への継承に努めると記載しており、御意見の趣旨に合致すると考えます。

・市民のやるべき具体的内容の共有化，観光客にこびることのない毅然とした姿が「京都らしさ」ではないか ・他府県や海外の資本に支配されない京都であってほしい	市民が京都の豊かな文化と奥深い伝統に彩られた京都のまちに対する一層の愛着と誇りを持ち，「住んでよし訪ねてよし」の国際文化観光都市であり続けることをめざすことを掲げています。
・「日本の心が感じられる」のではなく，京都の未来や目標であるのだから今までつちかってきた京都の心を感じるのが望ましいと考える。よって 1200 年の歴史にみがかれた心が感じられる国際文化都市・京都に変更すべき ・日本の心京都とあるが，もう少し控えめな表現にされた方が良いのではないか	京都の文化は日本各地の文化・産業とのつながりの上に成り立っていることを踏まえ，日本の心という表現としています。

【「支え合い自治が息づくまち・京都」に関する御意見】

◆ 審議の参考とさせていただいた御意見

御意見の要旨	御意見に対する考え方
・多様なバックグラウンド・立場にある人が生きやすいまちになればいいと思う ・多様な生き方や考え方に対する寛容な態度，多様性を受け入れる姿勢が重要であり，そうしたことを理念や未来像に加えてほしい	未来像において，子どもからお年寄りまで，すべての人々のいのちとくらしが守られ，互いに尊厳を認め合い，支え合うとともに，誰にも居場所があり，人のつながりが豊かで，心安らかに幸福を実感できるまちをめざすと記載しており，御意見の趣旨に合致すると考えます。
●子どもからお年寄りまで，京都市に住む誰もが幸せに，そして心豊かに暮らせる京都市であってほしい ●高齢者や子ども大事だが，若い人への支援も増えてほしい	子どもからお年寄りまで，すべての人々のいのちとくらしが守られるまちをめざすことのほか，未来を担う若者をみんなで育て合う学びのまちをめざすことも掲げており，多様な世代の方々がくらしやすいまちをめざしてまいります。

・お年寄りには席を譲るようなまちになってほしい	未来像において、子どもからお年寄りまで、すべての人々のいのちとくらしが守られ、互いに尊厳を認め合い、支え合えることができるまちをめざすと記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、その実現に向けて検討してまいります。
・けんかをしないまちになってほしい ・みんなと仲良くするまちになってほしい	未来像において、子どもからお年寄りまで、すべての人々のいのちとくらしが守られ、互いに尊厳を認め合い、支え合うとともに、誰にも居場所があり、人のつながりが豊かで、心安らかに幸福を実感できるまちをめざすと記載しており、御意見の趣旨に合致すると考えます。
・少子高齢化，人間関係の希薄化等の背景の中で，自助，共助が今後不可欠。そのために自治会，社協，老人クラブ等を活性化する具体的な手立てが決め手となる	未来像において、子育てや教育，防災，まちづくりなど多様な面でこれまで以上に参加と協働を進めることや京都の誇る多様なコミュニティの力を一層高めることを記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で支え合い自治が息づくまちの実現に向けて取り組んでまいります。
・自助，共助ではなく公助が基本であってほしい。住民サービスを切り捨て，社会福祉を大きく後退させてきた京都市政のあり方を今こそ考え直す時だと思う	複雑・多様化する地域課題への対応には、多様な主体とともに取り組むことが一層重要であり、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、京都市自らが取り組むのはもちろんのこと、多様な主体が連携・協働するための対話・交流の促進など、新たな行動や解決策を生み出すまちづくりを検討してまいります。
・こういったプランに漠然とした「幸福」という言葉を使用するのに違和感がある	現行の京都市基本計画を策定する際に、日本は国民総幸福度が先進国の中でも低いことを踏まえ、安心・安全のみならず、その上の目標として幸福が実感できる社会をめざすことを明示したもので、次期基本計画においても引き続き取り組むべきものと考えます。

【「環境と社会に貢献する産業を育てるまち・京都」に関する御意見】

◆ 答申案に反映させていただいた御意見

御意見の要旨	御意見に対する考え方
・ 京都の未来像に「あるくまち京都」、コンパクトシティ，集約都市形成計画，都市機能・居住誘導，公共交通重要路線沿線への居住誘導といった観点を	市民のくらしと多様な経済・文化活動を支える土地・空間利用の観点を追加しました。

◆ 審議の参考とさせていただいた御意見

御意見の要旨	御意見に対する考え方
・ 豊かな市民生活を第一に考えてほしい	豊かな生活や社会を支える力強い経済基盤が確立したまちをめざすことを記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，環境と社会に貢献する産業を育てるまちの実現に向けて検討してまいります。

【「学びのまち・京都」に関する御意見】

◆ 審議の参考とさせていただいた御意見

御意見の要旨	御意見に対する考え方
・ 人を育てることが一番大事かと思う	未来像において，誰もがともに学び成長すること，未来を担う若者が育つことを掲げており，御意見の趣旨に合致すると考えます。
・ 後継者育成の支援を行ってほしい	未来像に学びのまちを掲げるとともに，重点戦略において経済・文化・地域の担い手の育成について記載するとともに，政策の体系においても文化，産業・商業，農林業等，様々な分野で担い手の育成についてそれぞれ記載しており，御意見の趣旨に合致すると考えます。

【「真のワーク・ライフ・バランスを実現するまち・京都」に関する御意見】

◆ 審議の参考とさせていただいた御意見

御意見の要旨	御意見に対する考え方
・シングルマザーをサポートする環境づくりが重要	未来像において、安定的かつ働きがいのある労働環境や、子育て、介護など安心な暮らしを支えるしくみを整えると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、真のワーク・ライフ・バランスを実現するまちの実現に向けて検討してまいります。
・「真のワーク・ライフ・バランス」の「真の」という言葉はいらない。市民は「仕事」・「家庭」・「地域」のそれぞれに時間やエネルギーを配分しているものであり、この三つが必須ではない	この未来像では、仕事と生活の調和の考えをさらに一步推し進め、ワークとライフの時間配分だけでなく、地域・社会への参加・貢献や健康で文化的に学び憩うときと空間を確保することを理想として、「真の」と表現しています。
・ワーク・ライフ・バランスのうち、「ライフ」についての詳細なめざすべき理想像は示されていたが、「ワーク」についての十分な説明が為されておらず、「ワーク」についても言及してほしい	真のワーク・ライフ・バランスを実現するまち・京都におけるワークとして、人間らしく生き生きと働くことや、安定的かつ働きがいのある労働環境、就労による経済的な自立等に言及しています。

重点戦略

【重点戦略全般に関する御意見】

◆ 審議の参考とさせていただいた御意見

御意見の要旨	御意見に対する考え方
・京都には寺社仏閣の多さや、私立大学の強さなどオンリーワンの要素がたくさんあるので、強みを活かしてほしい	重点戦略とは京都らしさ、独自性といった都市特性や強みを生かす政策と位置付けており、それぞれの戦略のなかに、歴史文化や大学など、京都市ならではの強みを生かす方向で記載しております。

・いずれも重点的に力を入れるべき戦略だと思います ・分野をまたがる政策を作るという視点がよい ・8つの重点戦略はいずれも大事だと思う。内容に賛同する	評価いただいた重点戦略をもとに、今後、京都市において基本計画の具体化に取り組んでまいります。
・京都ブランドの強化を	京都らしさ、独自性といった都市特性や強みを生かす政策として8つの重点戦略を掲げており、これらの重点戦略の下、未来像の実現に向けて取り組んでまいります。
・実施するのが誰なのかわかりにくい点があったが、いずれにせよ財政が厳しい中、行政任せでやる時代でもないので個別計画による誘導が重要	さまざまな主体と行政とが力を合わせて未来を作っていく共汗型計画と位置付け、各重点戦略において戦略を推進するうえでの役割分担を記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、多様な主体との連携・協働によるまちづくりを進めてまいります。
・重点戦略は全て重要な政策。重点戦略を進めるにあたり、行政だけでなく、民間(市民)の参加も積極的に取り入れるべき	重点戦略を推進するに当たっての役割をイメージしていただくための役割分担も記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で多様な主体との連携・協働によるまちづくりを進めてまいります。
・「歴史」や「文化」、都市としての活力のバランスを取ってほしい ・観光向けや文化の保存や振興に偏りすぎている。もっとまちをきれいに、いろんな商業施設が建ち並ぶようなまちになってほしい	重点戦略においては、観光や文化のみならず、くらしやすいまちづくりに関する戦略など8つの戦略を掲げており、これらに総体として取り組むことで京都の未来像を実現してまいります。
・福祉の整備と観光都市としてのわかりやすい交通機関、道の整備などどんな人にも優しいまちづくりが望まれる	各戦略において、持続可能な福祉・医療・地域づくりを進めることや、歩く楽しさにあふれた魅力を備え、活力ある産業や地域の振興を支える持続可能な都市を構築することなどを掲げており、御指摘の趣旨に合致すると考えます。

・グリーンインフラに代表される自然利用型都市づくりの観点を盛り込んでほしい	脱炭素・自然共生・循環型まちづくり戦略において、二酸化炭素を排出しない建築物の普及や防災・減災にもつながる生物多様性の恵み豊かな自然環境の保全再生について記載しているほか、強靱なインフラ整備戦略においては、質の高い緑の空間整備等による快適な都市環境の創出について記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、環境と調和した持続可能な都市の実現に向けて検討してまいります。
・重点戦略として、文化や環境よりもコロナ対策が第一ではないか	計画の背景において、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響が医療・健康面のみならず、経済にも多大な影響を及ぼしていることを記載しています。そのうえで、危機へのしなやかな対応や保健衛生・医療の充実、地域企業等の下支えなど、各戦略に新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を踏まえた取組を記載しております。
・今求められるのは最低限の生活・くらしを守ること。「インフラ」といった冷たい抽象的な言葉ではなく、より具体的かつ、人々の生活に根差した戦略であってほしい	各戦略はそれぞれが未来像の実現に貢献するもので、強靱なインフラ整備戦略にいのちやくらしを守るための取組を掲げているほか、他の戦略においても福祉と共生のまちづくりや子どもを安心して生み育てられる環境づくり、地域企業等の下支えなど、くらしを守るための取組を掲げており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、いのちとくらしを守り、安心・安全で幸福を実感できる「支え合い自治が息づくまち・京都」の実現に向けて検討してまいります。

重点戦略の説明として、市民や企業と共汗して推進する政策とある一方で、全ての政策体系において「共汗」して取り組むと書いてあり、結局全てが重点戦略なのか	共汗により取り組む政策すべてが重点戦略という定義ではなく、共汗は本計画全体に共通する考え方です。重点戦略においても重要な視点であるため、冒頭に「重点戦略とは」として改めて記載しているものであり、重点戦略の説明としては、共汗で取り組む政策であることのほか、未来像を実現するために特に優先的に取り組む政策、複数の行政分野を融合した政策などの4点を掲げています。
- 各重点戦略について、主にどの行政分野を「融合」したものとなっているのか示されると分かりやすくなる 「重点戦略」と「政策の体系」の関係をもう少しわかりやすくしてほしい	各重点戦略と特に関わりの深い政策分野については、第5回京都市基本計画審議会において資料としてお示しし、京都市ホームページ等で公開しています。
重点戦略の内容が抽象的にしか書いてないため判断できない。具体的に書かないと理解できないのではないか	重点戦略は、分野横断的な政策を掲げるものであり、未来像実現に向けた方向性を示すものと位置付けています。この方向性の下で取り組む個別具体的な事業については、今後、京都市において基本計画を具体化する中で検討してまいります。
●重点とするには多すぎるのではないか - 財政が厳しい中で、8の重点戦略を掲げているが、優先順位はどうなのか。実現手法は - 重点戦略の第一項として文化首都戦略があるが、二酸化炭素排出量ゼロなど緊急性が高い戦略が他にあるのではないか	京都市基本計画は、京都市会基本条例において、「市政全般にわたり総合的かつ体系的に定めるもの」とされており、多岐にわたる市政分野の中から、8つの重点戦略を掲げており、各戦略間には優先順位はありません。今後、分野別計画や毎年度予算の中で推進事業を定めることで具体化していくこととしています。

【世界の文化首都・京都戦略に関する御意見】

◆ 答申案に反映させていただいた御意見

御意見の要旨	御意見に対する考え方
・芸術やクリエイティブだけが文化ではない。先人達が守り育てた「京都の日常」が「京都文化」の担保になっていることを忘れてはならない ・住んでいる人の文化水準が担保されるまちにしてほしい	文化を継承し、それらを日々の暮らしに取り入れる観点を追加しました。
・有形無形の京都文化遺産の保全・継承に向けた行政の役割分担に景観の規制に関する内容を記載してほしい	行政の役割分担に良好な景観形成に関する施策の展開の観点を追加しました。

◆ 審議の参考とさせていただいた御意見

御意見の要旨	御意見に対する考え方
・日本一の文化都市であり続けてほしい。100年残る本当に良いものを生み出し続けるまちであってほしい ・国内で注目される前衛的な活動を増やし、歴史を守る・作る姿勢が世界的に注目されるまちになってほしい	本戦略において、文化を基軸とした新たな価値の創出や有形無形の京都文化遺産の継承などを掲げており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、世界の文化首都・京都の実現に向けて検討してまいります。
・京都の自然を守り未来の子ども達に昔からの生活、自然を残してほしい	本戦略において、有形無形の京都文化遺産の継承等について記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、都市景観、自然景観と文化的資産が一体となった歴史的風土、暮らしの文化などの継承に向けて検討してまいります。
・古きと新しきが融合する、持続可能で循環するまち。京都が昔から育んできた文化をもう一度見直して、そこにあるサステナビリティを全面的に押し出してほしい	基本的な考え方において、持続可能な社会のよりどころとなる多様な文化の創造・発展について記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、有形無形の文化遺産の継承・活用・創造に向けて検討してまいります。

・京都の伝統文化や技術を短期間に習熟できるようにマニュアル化し、だれもがその価値に触れ実践でき、さらに異なる価値や分野との融合を容易にし、新しい京都文化や京都産業を創出する力となることを記載すべき	基本的な考え方において、文化がもつ多様な価値を生かし、産業や教育、福祉、まちづくり、環境などあらゆる政策分野と、ものづくりやもてなしの心などの京都が育んできた文化が連携・融合することで、文化を基軸とした新たな価値の創出や平和・共生社会実現のための基盤づくりを進めると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、文化を基軸とした新たな価値の創出・共生社会の実現に向けて検討してまいります。
・日本の誇るべき文化や精神、技術や産業を大切にしながらも、多様な国や文化とコラボしてまた新たな京都に進化して欲しい	1 文化を基軸とした新たな価値の創出・共生社会の実現において、産業や教育などあらゆる政策分野と文化が連携・融合を図ると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、文化を基軸とした新たな価値の創出に向けて検討してまいります。
・世界中から高度人材を呼び込むことを戦略の中心に据えるべき。どこにいても自然と一体となった街並みを感じることができるようなまちをめざしてはどうか	本戦略において、広く世界の文化を受け入れ、新たな文化を生み出す文化交流を図ることや、都市景観、自然景観と文化的資産が一体となった歴史的風土、食文化などのくらしの文化をはじめとした有形無形の京都文化遺産を継承すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、創造的な担い手の育成・世界との交流に向けて検討してまいります。

・日本文化の担い手の育成が急務である	2 創造的な担い手の育成・世界との交流において、文化に触れる機会や文化芸術の拠点・発信機能等を充実することで、文化の継承・創造の担い手の育成・創造環境を整備すると記載しており、御意見の趣旨に合致するものと考えます。今後、京都市において基本計画を具体化する中で、担い手の育成に向けて検討してまいります。
・「世界の文化首都・京都戦略」という表現について、少し戦うというイメージがあり、「世界の文化都市・京都構想」など、もう少し柔らかい表現にできないか	「戦略」は、幅広い分野において、長期的視点で特定の目標を達成するために実現する道筋を示す言葉として一般的に使われている言葉だと考えています。また、「構想」は、当計画の上位となる京都市基本構想との重複を避けるため、使用せず、戦略のままとしています。

【脱炭素・自然共生・循環型まちづくり戦略に関する御意見】

◆ 答申案に反映させていただいた御意見

御意見の要旨	御意見に対する考え方
・2025年に生物多様性の保全の取組が進んでいるだけでは弱い。「生物多様性が回復している」とすべき	重点戦略の記載に生物多様性の回復の観点を追加しました。
・生物多様性の保全を図る箇所の中に「農地」を加えるべきである	重点戦略の記載に農地を追加しました。
・行政の役割分担に行政自身が脱炭素や環境保全・再生に取り組むことを記載し、京都市として率先的に取り組む覚悟を示していただきたい	行政の役割に環境に配慮した取組の推進の観点を追加しました。

◆ 審議の参考とさせていただいた御意見

御意見の要旨	御意見に対する考え方
・2050年までに二酸化炭素排出量をゼロにする、を明言されたことはすごいこと。もっと積極的に進めるべき	本戦略において、建築物や交通体系、ライフスタイルなど多様な温室効果ガスの削減を図る緩和策について記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、二酸化炭素排出量「正味ゼロ」に向けた社会の実現に向けて検討してまいります。
・食品ロスをゼロとする取組を業界とともに実現する方策・態勢を整備してほしい。都市内農業を振興し、食料自給率を高め、子どもたちの農山村都市交流による、感性豊かな人材の育成に取り組んでほしい	本戦略において、食品ロスの発生抑制をはじめとした2Rや環境と経済の好循環を創出する産業構造へ転換し、持続可能な社会を構築する担い手を育成すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、環境と調和した持続可能な都市の構築に向けて検討してまいります。
・AI・IoT・水素・蓄電池といった先端分野をフルに活用していく必要があるため、大学を核として地域毎にスマートシティの取組を進めてはどうか	本戦略において、地域・企業・大学・行政など多様な主体が連携することで、環境問題の解決に資するイノベーションを促進すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、環境と調和した持続可能な都市の構築に向けて検討してまいります。

【担い手成長支援戦略に関する御意見】

◆ 審議の参考とさせていただいた御意見

御意見の要旨	御意見に対する考え方
・担い手成長支援戦略はぜひ具体的に実現してほしい	今後、この重点戦略の下、京都市において基本計画を具体化する中で、予測困難な社会経済情勢に対して、柔軟かつ機動的に対応するため、精査を行いながら具体的な推進事業を定めてまいります。

・結婚している人や子どものいる人、シングルの人、子ども・お年寄りなど誰もが安心してらせる京都を望む	本戦略において、子どもを安心して生み育てられる環境づくりや、特に支援を要する子ども・若者やその家庭等への切れ目ない支援・居場所づくりについて記載しており、御意見の趣旨に合致するものと考えます。
●子どもを育てやすいまちに ●働きながら子育てできる環境を作してほしい ・ファミリー層に優しいまちになってほしい ・重点に子育てに関する項目がない。これから子育てをする世帯に京都市に住んでもらうためにも重点に子育てに関するものを掲げるべき ・子育てコスト軽減と安定雇用回復が少子化阻止への数少ない対策だと思う	本戦略において、身近な地域における子育て支援機能の充実など、子育て家庭に寄り添い、社会全体で安心して子どもを生み育てられる環境づくりを進めると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、子育てしやすい環境づくりに向けて検討してまいります。
・これまでの文化を大事にしつつも学生とともに進化し続けるまちになってほしい	本戦略において、多様な大学の意欲的な挑戦を後押しすることや、大学の知恵の活用、大学と地域・企業との連携等について記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、大学・学生のまちの特性を生かした経済・文化・地域の担い手の育成に向けて検討してまいります。
●人口減少を食い止めることに重点を置いてほしい。子育て支援の充実はもちろん、結婚や出産の支援も必要	担い手成長支援戦略において、身近な地域における子育て支援機能の充実など、子育て家庭に寄り添い、社会全体で安心して子どもを生み育てられる環境づくりを進めると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、京都ならではのはぐくみ文化が広がるまちづくりに向けて検討してまいります。

・人口減少と少子高齢化という最重要課題へのアプローチにはなっていない。出生率の向上と働く高齢者人口の増加をめざすべき	人口減少には幅広い分野での対策が必要であり、計画の背景において人口減少や少子化等の状況を記載したうえで、それぞれの戦略において、子どもを安心して生み育てられる環境づくりや、社会における働き手・支え手として生涯にわたって活躍できる健康長寿のまちづくりのほか、快適にくらせる居住環境の形成、地域企業等の下支えなど、人口減少対策に資するさまざまな方向性を掲げております。今後、京都市において基本計画を具体化する中で、人口減少社会への対応に向けて検討してまいります。
・学校教育や児童館事業に取り組んでほしい。あらゆる分野と融合することが重要。リカレント教育により、新しい価値を創造する人材育成を図り、京都企業の魅力を高めることが重要	本戦略において、子ども・若者がさまざまな挑戦を可能とする環境づくりやリカレント教育をはじめとする生涯学習を進めることを記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、大学や企業等とも連携しながら、子どもから大人までみずから学び成長し、その成果を生かすことができるまちづくりに向けて検討してまいります。
・企業の地域貢献活動の見える化を行政から支援することが必要	本戦略において、地域活動や社会貢献への積極的な参加を支援するとともに、京都が大切に守ってきた自治の伝統を生かし、誰もが地域活動に参加しやすくなるきっかけ・しくみづくりについて記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、多様なコミュニティの自主的・自律的な活動の促進に向けて検討してまいります。

・子育て支援団体や施設の地域福祉活動への行政としての支援策を打ち出してほしい	行政の役割として、子ども・若者を支援するネットワークの充実と連携のしくみづくりを記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、子どもから大人までみずから学び成長し、その成果を生かすことができるまちづくりに向けて検討してまいります。
・「京都ならではのはぐくみ文化」が京都と結び付かず、どんな文化なのかイメージしづらい	日本初の番組小学校創設に始まり、子ども・若者を社会全体で温かく包み、地域で大切に育てる文化は京都ならではのものと考えています。こうした風土を基礎として子どもから大人までみずから学び成長し、その成果を生かすことができるまちづくりを進めてまいります。

【地域力・福祉力を高めて支え合うまちづくり戦略に関する御意見】

◆ 審議の参考とさせていただいた御意見

御意見の要旨	御意見に対する考え方
・地域力・福祉力を高めて誰もが住みたくするまちづくりを進めてほしい	基本的な考え方に市民・事業者・行政相互の信頼・地域力・福祉力を高め、持続可能な福祉・医療・地域づくりを進めることで、安心・安全で生涯にわたって活躍できる支え合いのまちをつくることを記載しており、御意見の趣旨に合致するものと考えます。
・これまで自治の力で維持してきた地域の秩序は、今後、同じやり方では維持できない社会になると思う。今後の地域の秩序を、行政、民間、市民がどのように担うのかを、今回の5年間の計画で議論を深めるプロセスが必要だ	本戦略において、誰もが地域活動に参加しやすくなるきっかけ・しくみづくりについて記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、地域にかかわる多様なコミュニティの自主的・自律的な活動の促進に向けて検討してまいります。

・コミュニティを醸成するはずの地域活動が自主的ではなく強制的で、自律的な活動を阻害している場合は、見直すことも必要	本戦略において、地域活動や社会貢献への積極的な参加を支援するとともに、誰もが地域活動に参加しやすくなるきっかけ・しくみづくりを促進すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、地域力・福祉力を高めて支え合うまちづくりの実現に向けて検討してまいります。
・多様性あふれる皆が認め合えるまちになってほしい	本戦略において、互いに違いを認め合い、誰もが尊重される地域共生社会を構築することについて記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、福祉と共生のまちづくりに向けて検討してまいります。
・物質的な豊かさから「こころ」の豊かさへの転換を図るなかで他者への労りや支援の輪が生まれてくるのではないか	本戦略において、さまざまな支援ニーズに対し、関係機関等による協働の取組を進めることで、誰もが尊重され、地域、くらし、生きがいをともにつくり、高め合うことができる地域共生社会を構築することを記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、福祉と共生のまちづくりに向けて検討してまいります。
・地域のコミュニティは様々な地域活動（スポーツ、防災まちづくり、交流イベント、景観まちづくりなど）を通して結果的に醸成されるものであり、「地域にかかわる自主的・自律的な活動を促進して多様なコミュニティの醸成を図り、地域主体のまちづくりを進める。」という表現が良いのではないか	自治会・町内会のほか、NPOをはじめとした市民活動団体、企業や大学の取組によるものなど、京都には地域に関わる多様なコミュニティがあります。これらの多様なコミュニティが、各々の取組の力を最大限に発揮できる環境を整えることが重要との考えの下、多様なコミュニティの自主的・自律的な活動を促進することにより、地域主体のまちづくりを進めると記載しております。

・町内会（特にマンション・アパート等の集合住宅）の加入促進に関する支援策にも触れてほしい	自治会・町内会をはじめ、地域にかかわる多様なコミュニティの自主的・自律的な活動を促進すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、地域力・福祉力を高めて支えあうまちづくりに向けて検討してまいります。
・元気な高齢者を増やすために、散歩が楽しくなるまちや散歩中に手軽に運動できる器具が点在するまちをめざしてはどうか	本戦略において、フレイル・オーラルフレイル対策などの健康づくりや、スポーツを通じた体力づくりと記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、生涯にわたって活躍できる健康長寿のまちづくりに向けて検討してまいります。
・役割分担にオーラルフレイル対策として「口腔内健診の推進」などの対策を明記されることが望ましい	本戦略において、「企業・事業者」、「市民・団体」、「行政」それぞれの役割分担において、健康づくりとして記載しており、オーラルフレイル対策も含め、健康長寿のまちづくりに向けて検討してまいります。
・地域活性化に貢献することを企業価値とする企業や行政、学生を地域自治に参画させる方策・仕組みを創出する必要がある	本戦略において、地域活動や社会貢献への積極的な参加を支援すること、誰もが地域活動に参加しやすくなるきっかけ・しくみづくりを進めることを記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、多様なコミュニティの自主的・自律的な活動の促進に向けて検討してまいります。

・地域力の担い手が高齢化する中、自治会活動に地域企業の参加等を増やさないといけないのではないか	本戦略において、地域活動や社会貢献への積極的な参加を支援するとともに、京都が大切に守ってきた自治の伝統を生かし、誰もが地域活動に参加しやすくなるきっかけ・しくみづくりについて記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、多様なコミュニティの自主的・自律的な活動の促進に向けて検討してまいります。
---	---

【強靱なインフラ整備戦略に関する御意見】

◆ 答申案に反映させていただいた御意見

御意見の要旨	御意見に対する考え方
・厳しい財政状況において市民・団体に愛着を持つことや清掃等の自主的な活動を求めるのは大賛成。そのために、行政には市民が愛着を持てるような道路環境の整備を担ってほしい	行政の役割分担の建築物の安全確保と質の向上を、道路等も含めた社会基盤施設の安全確保と質の向上に修正しました。

◆ 審議の参考とさせていただいた御意見

御意見の要旨	御意見に対する考え方
・お金もなく、災害も増える中でインフラの戦略に既存施設の活用が挙げられている点が良い	評価いただいた重点戦略をもとに、今後、京都市において基本計画の具体化に取り組んでまいります。
・戦略の実現にあたっては、通信インフラの普及がベース。新たな産業・起業も促進できると思う	本戦略において、さまざまな分野におけるデジタル化の促進について記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、市民生活と経済・文化活動を支えるインフラ整備に向けて検討してまいります。

・防犯・交通事故だけでなく、災害対策の必要性も明記してほしい	本戦略において、平時から地域のつながりを高め、京都らしさを守りながら被害を最小化し、速やかに復旧・復興するためのしくみの強化など、さまざまな危機に対応できる総合的な防災・減災対策を推進することを記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、いのちとくらしを守るインフラ整備に向けて検討してまいります。
・強靱なインフラ整備について、京都の街並みが崩れない程度なら良いと思う	本戦略において、「保全・再生・創造」をはじめとした各地域の特性を踏まえることを記載しております。 今後、京都市において基本計画を具体化する中で、京都らしさを守りながら、いのちとくらしを守り、都市の活力を支える強靱なインフラを構築してまいります。
・重点的な整備場所の精査や、維持管理に経費がかかりにくい工法の選定、多様な行政課題に同時に貢献するグリーンインフラ手法の積極的な導入など、持続可能なインフラ整備が必要だと思う	本戦略において、予防的・計画的な維持管理や改修のほか、行政の役割に持続可能な公共施設マネジメントの確立を記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、既存施設の機能の最大化に向けた有効活用に向けて検討してまいります。

・桂川の掘削が進んだが、また大きく砂地が広がっており、洪水の危険が増している。一回やって終わりではなく、市全域を目配りして、防災に持続的に取り組んでほしい	本戦略において、先端技術・ICT インフラの活用等によって地域の防災力・安全性を高めるとともに、平時から地域のつながりを高め、京都らしさを守りながら被害を最小化し、速やかに復旧・復興するためのしくみの強化など、さまざまな危機に対応できる総合的な防災・減災対策を推進すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、いのちとくらしを守り、都市の活力を支える強靱なインフラ整備に向けて検討してまいります。 なお、桂川の掘削等については、河川の管理主体である国において検討されるべきものと考えております。
・インフラに関しては毎年改悪されているのではないかと感じることもあるのでしっかりしてほしい	本戦略において、いのちとくらしを守り、都市の活力を支える強靱なインフラ整備について記載しており、今後、京都市において具体化する中で、よりよいインフラ整備に向けて検討してまいります。

【土地・空間利用と都市機能配置戦略に関する御意見】

◆ 審議の参考とさせていただいた御意見

御意見の要旨	御意見に対する考え方
・歩いて楽しい持続可能な都市を構築する「土地・空間利用と都市機能配置戦略」に賛同する	評価いただいた重点戦略をもとに、今後、京都市において基本計画の具体化に取り組んでまいります。
・お互いの生活や仕事，自然が身近に感じられ，露店などの物の売り買いできる場所がたくさんある物理的に開かれた風通しの良いまちに	本戦略において，日常生活を支える施設の利便性の確保等による安心・安全で快適にくらせる居住環境の形成，職住共存・職住近接のまちづくりなどについて記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，活力ある産業や地域の振興を支える京都ならではの持続可能な都市の構築に向けて検討してまいります。
・最優先は，人口減少を食い止めること。そのためには，子育て施策の充実と，子育て世代が使いやすいまちづくり（公共交通や保育所・学校・病院などの利便性）が重要	本戦略において，くらしと産業を支える土地・空間利用の促進について記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，日常生活を支える施設の利便施設の確保など，安心・安全で快適にくらせる居住環境の形成に向けて検討してまいります。
・コンパクトシティ化を進めない限り持続可能ではないと思う	本戦略において，主要な公共交通拠点を中心に都市機能の集積を図ることを記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，持続可能な都市の構築に向けて検討してまいります。
・戦後のスプロール地域や，旧市街地内の路地空間を官民連携して再整備し，安価で高品質の住宅と住環境を若者や高齢者に提供する新しい住環境整備事業を進めるべき	本戦略において，安心・安全で快適にくらせる居住環境の形成について記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，市民のくらしと産業を支える土地・空間利用の促進に向けて検討してまいります。

・道路の車線を減らし、歩行者用空間を広げ ることを戦略の中心としてほしい。大人数 を効率的に定刻どおり輸送可能な交通シ ステムを検討すべき	本戦略において、安心・安全で魅力的な歩行空間の創出や公共交通の利便性・快適性の向上について記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、歩いて楽しい持続可能な都市の構築に向けて検討してまいります。
・空き家が増加する中、自然災害の恐れがある 場所でこれ以上の宅地造成は必要ない と思う。市街化調整区域の拡大など、宅地 造成の規制も進めていただきたい	主要な公共交通拠点を中心に都市機能の集積を図ることとともに、安全・安心で快適にくらせる居住環境の形成や産業の活性化、働く場の創出など、暮らしと産業を支える土地・空間利用の促進についても記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、都市全体の姿や持続性を見据え、それぞれの地域特性に応じたまちづくりに向けて検討してまいります。
・企業・事業者の役割分担に従業員バスの一 般開放を盛り込むべき	企業・事業者の役割分担に、地域の魅力と活力を高めるまちづくりへの積極的な貢献について記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、活力ある産業や地域の振興を支える京都ならではの持続可能な都市の構築に向けて検討してまいります。
・「土地・空間利用と都市機能配置戦略」で 「多様な地域がネットワークし」とある が、「ネットワークする」とはどのような 状況を指すのか	「ネットワークし」とは、それぞれの生活圏が道路や鉄道などで結ばれていることを意図しています。
・東京の外環状道路の大深度利用問題がある が、北陸新幹線やリニアの課題に触れられ ていないのはいかなものか	重点戦略は、分野横断的な政策を掲げるものであり、未来像の実現に向けた方向性を示すものと位置付けています。この方向性の下で取り組む個別具体的な事業については、今後、京都市において基本計画を具体化する中で検討してまいります。

【社会・経済価値創造戦略に関する御意見】

◆ 審議の参考とさせていただいた御意見

御意見の要旨	御意見に対する考え方
・観光のみに頼るのではなく伝統産業、ものづくりなど零細企業の支援, 立て直しに力を注いでほしい	本戦略において、京都を支える地域企業等の下支えについて記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、力強い経済の創出に向けて検討してまいります。
・大学のまち京都だからこそ、スタートアップ・エコシステムはすごく良いと思う。問題は資金の獲得方法ぐらいか ・スタートアップを補助金で支援することだけはやめてほしい	本戦略において、科学技術等の活用や起業家等の交流促進、大学やアクセラレーターとの連携等によるスタートアップ・エコシステムの形成について記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、京都の文化、知恵を生かした社会・経済価値の創造に向けて検討してまいります。

【観光の京都モデル構築・発信戦略に関する御意見】

◆ 答申案に反映させていただいた御意見

御意見の要旨	御意見に対する考え方
・市民の役割として、「京都の文化発信」や「京都の良さを理解してもらう」という内容を盛り込めないか	市民・団体の役割分担に京都の魅力発信を追加しました。

◆ 審議の参考とさせていただいた御意見

御意見の要旨	御意見に対する考え方
・人々のくらし、まち全体の景観が守られてこそ観光である	本戦略において、観光の質の向上や地域の文化の継承・発展、幅広い産業の発展、安定した雇用の創出等に波及させることを記載しております。 今後、京都市において基本計画を具体化する中で、市民生活との調和を最重要視し、市民の豊かさにつながる観光の実現に向けて検討してまいります。

・少数の観光客に多額を消費してもらうように戦略を立ててほしい。市民が外国人観光客とも日常的に会話・交流できるようになる必要がある	本戦略において、観光による経済効果を市域全体に還元し、地域の文化の継承・発展と幅広い産業の発展、安定した雇用の創出等に波及させることで、市民生活の豊かさの向上につなげることや、おもてなしを実践する担い手の育成・環境整備について記載しております。 今後、京都市において基本計画を具体化する中で、市民の豊かさにつながる観光の実現に向けて検討を進めてまいります。
●アフターコロナの観光事業について、事業者と行政が討論を重ね、タイアップすることが必要。コロナ対策と同時にコロナの後の観光、産業を考えてほしい	本戦略において、感染症の発生に備えたしくみの確立など、観光と危機管理の両立や観光需要の回復段階に応じ、国内外の人々との交流や文化の相互理解、価値観の共有を進めることを記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、需要回復を見据えた対応に向けて検討してまいります。
・MICE の活用戦略を	本戦略において、観光需要の回復段階に応じ、国内外の人々との交流や文化の相互理解、価値観の共有を進めることと記載しております。 今後、京都市において基本計画を具体化する中で、MICE 等の需要回復を見据えた対応に向けて検討してまいります。
●観光（特にインバウンド依存）からの脱出を	観光は、まちの魅力の維持・創出、多様な分野への経済波及効果など京都にとって重要な産業の一つです。市民生活と観光との調和を最重要視したうえで、観光による経済効果を市域全体に還元し、市民生活の豊かさの向上を図ることを記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、市民の豊かさにつながる観光の実現に向けて検討してまいります。

政策の体系

【政策の体系全般に関する御意見】

◆ 審議の参考とさせていただいた御意見

御意見の要旨	御意見に対する考え方
・政策の体系はいろんなことがバランスよく書かれていると思う。ただ、民間にできることは民間に任せてほしい。行政のセンスだけではできない ・具体的で効果的、分かりやすく市民が参加できる、あるいは市民が主体的に取り組める政策体系とすべき ・政策の体系は、各分野とも市民の意見聴取や理解を得るための手段を具体的に検討し、提示いただきたい	各施策分野の市民と行政の役割分担と共汗において、各分野に関わる主体が担う役割分担のイメージについて記載しております。 今後、京都市において基本計画を具体化する中で、多様な主体との連携・協働による取組を検討してまいります。
・27 の分野は独立したものでなく、連携・融合した施策展開が必要	行政としての使いやすさの観点から、京都市の組織体系に一定即した形で27 分野としていますが、推進施策は連携・融合を図るとともに、事業化の段階で更にそれを推進することとしています。
・27 の政策体系が列記されているが、優先順位がわからない。全部重要なのは分かるが、優先順位をつけてほしい	京都市基本計画は、京都市会基本条例において、「市政全般にわたり総合的かつ体系的に定めるもの」とされており、市政各分野の方針を示すものとして、27 の政策の体系を掲げています。この政策の体系とは別に、多岐にわたる市政分野を融合し、特に優先的に取り組む政策として、8 つの重点戦略を掲げています。
・2025 年の姿として、取組が「進んでいる」という、いまだ過渡期という状態を示しているものがある。特に環境などでは、より積極的な2025 年の姿を掲げるべき	基本計画の計画期間は2025 年までですが、2050 年までの二酸化炭素正味排出量「正味ゼロ」など、2025 年を超えても取り組み続ける必要があることから、2025 年時点の姿を表す表現として記載しています。

・いろいろな切り口で同じようなことが各体系に出てくるのは仕方がないが、各部局見合いで体系が組まれているように見えるのはいかがなものか。景観、建築物、住宅、道と公園・緑という柱は体系として違和感がある ・労働政策があってもいいと思う	政策の体系は市全体の総合的な政策体系を示すものであり、対外的な分かりやすさとともに、行政としての使いやすさを両立するため、各部局の分野別計画の基本となるよう、一定、京都市の行政組織をベースにしたものとしています。そのうえで、労働に対応する要素は、「人権・男女共同参画」、「産業・商業」、「健康長寿」などに盛り込んでおります。
・すでに取り組んでいることと、新しく何に取り組みはじめるのかわかりにくい	基本計画は、京都市基本構想の具体化のために全市的観点から取り組む主要な政策を示す計画です。今後、京都市において基本計画を具体化する中で、予測困難な社会経済情勢に対して、柔軟かつ機動的に対応するため、精査を行いながら具体的な推進事業を定めてまいります。

環境

◆ 答申案に反映させていただいた御意見

御意見の要旨	御意見に対する考え方
・2025年に生物多様性の保全の取組が進んでいるだけでは弱い。「生物多様性が回復している」とすべき	みんなでめざす 2025 年の姿 2、推進施策 2（1）に生物多様性の回復が進んでいる観点を追加しました。

◆ 審議の参考とさせていただいた御意見

御意見の要旨	御意見に対する考え方
・二酸化炭素排出量「正味ゼロ」の英断に敬意を表したい。粛々と推進していただくことを強く希望する	二酸化炭素排出量「正味ゼロ」にむけては、徹底した省エネや再エネのさらなる拡大を図ることで、脱炭素型の暮らしや持続可能なエネルギー社会を実現することが重要と考えています。気候危機とも言える状況の下、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、覚悟を持って取組を推進する必要があります。
・ごみ捨て間隔の改善など、小さなところから環境が良くなっていると感じる	今後も京都市において、環境と調和した持続可能な社会をめざした取組を推進してまいります。

・会議が行われていた都市なのだから環境の改善をもっと全国に先駆けてアピールする必要がある	京都市では、これまでに、全国で初めて地球温暖化対策に特化した条例を制定するなど早くから地球温暖化対策を市政の中心に位置付け、市民・事業者等の皆様と共に、様々な取組が推進されてきました。 令和元年 5 月、気候非常事態とも言える状況の下、京都市長が日本の自治体の長として初めて、2050 年までの二酸化炭素排出量「正味ゼロ」を目指すことを表明しました。2050 年ゼロ宣言は全国 190 を超える自治体にまで広がっております。 今後、京都市において基本計画を具体化する中で、脱炭素型のくらしや持続可能なエネルギー社会の実現に向けて検討してまいります。
・団体や企業・事業者に関して環境対策に積極的な姿勢が認められる場合に京都市がその取組を評価する事業をしてはどうか	京都市では、温室効果ガスの削減実績等に優れた事業者を表彰する制度、事業ごみの減量及び再資源化への積極的な取組を顕彰する制度、また、分野を限定せず、生物多様性の保全等も加えた、広く環境保全に貢献する活動を実践している団体等を表彰する京都環境賞など、企業や団体の取組を評価する制度を設けております。今後、京都市において基本計画を具体化する中で、環境と調和した持続可能な社会の構築に向けて検討してまいります。

・地球温暖化対策として、市バス・地下鉄を完全無料化してはどうか	京都市では、温室効果ガス排出量削減に向け人と公共交通優先の歩くまち・京都に取り組んでおります。また、市バス・地下鉄事業については、新型コロナウイルス感染症の影響により、かつてないほど危機的な経営状況に直面している中、働き方の変化も踏まえた持続可能な事業運営を行う必要があります。今後、京都市において基本計画を具体化する中で、脱炭素型のくらしや持続可能なエネルギー社会の実現に向けて検討してまいります。
・ごみのカラス対策を	カラス等の鳥類や風雨などによるごみの散乱被害の防止のため、市が収集するごみ収集場所に、無償でカラスネットの貸出しを行なっています。区役所・支所のエコまちステーション又はまち美化事務所にお問い合わせください。
・牛乳パック回収の日をつくり、古紙回収と一緒に牛乳パックも回収できるように	牛乳パックについては、拠点回収として、区役所・支所内のエコまちステーションなどで回収しているほか、スーパー等にも店頭回収していただいています。施策 3（2）においても、家庭ごみについては、京都のまちの強みである学区単位の活動、自治会・町内会などの地域力を生かした地域密着型の資源物回収の取組を進めると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、分別・リサイクルの徹底に向けて検討してまいります。

・ごみ出しの日の道路が汚い	京都市では、ごみ集積場所の散乱ごみについて、収集の際にできる限り掃除等が行われております。しかし、交通停滞等の交通上の制約もあることから、散乱したごみの全てを掃除することができない場合もございます。そのため、細かなごみの片付けなど、ごみ集積場所の管理については、京都市からその集積場所を利用している住民の皆様をお願いをされているところです。
・地域ごとに、ごみ収集車が来る時間を固定してほしい	ごみの収集時間については、道路工事や交通渋滞などの道路状況や天候、排出量等により、ごみ収集時間を明確にお示しすることは難しいのが現状です。家庭ごみについては、京都市において、午前8時までに出していただき順次回収しております。 また、カラス等の鳥類や風雨などによるごみの散乱被害の防止のため、市が収集するごみ収集場所に無償でカラスネットの貸出しを行なっていますので、区役所・支所のエコまちステーション又はまち美化事務所にお問い合わせください。
・電池を近くの電気屋で回収するシステムにしてはどうか	電池については、拠点回収として、区役所・支所内のエコまちステーションのほか、京都市内の協力店（約 200 店舗）などでも回収しています。推進施策 3 (2) においても、家庭ごみについては、京都のまちの強みである学区単位の活動、自治会・町内会などの地域力を生かした地域密着型の資源物回収の取組を進めると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、分別・リサイクルの徹底に向けて検討してまいります。

・太陽光パネルの規制（防災、景観、水源保全）、パーム油等悪影響の大きな燃料禁止等の施策推進を	京都市では、景観区域内における太陽光パネルの設置に当たり、景観の運用基準を定めており、所定の手続が必要とされております。また、パーム油の活用については、国際的な議論も踏まえ、慎重に判断すべきと考えております。
・長期的(2050 年まで)な未来を視野に入れるのはよいことだと考えるが、本「京プラン 2025」の対象期間である「今後 5 年間」のめざす到達点は切り分けて示してほしい	みんなでめざす 2025 年の姿 1 において、2025 年（今後 5 年間）のめざす姿を記載しています。
・地球温暖化を緩やかにするための取組をまちなかで感じない	みんなでめざす 2025 年の姿 1 において、2050 年までの二酸化炭素排出量「正味ゼロ」に向けた地球環境の保全と経済復興との両立をめざすことがオール京都で共有され、省エネルギーの徹底と再生可能エネルギーのさらなる普及拡大、社会・経済システムの変革やライフスタイルの転換、産学公連携によるイノベーションが進んでいるとともに、気候変動の影響への適応の取組が推進されていると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、脱炭素型のくらしや持続可能なエネルギー社会の実現に向けて検討してまいります。
・温室効果ガスの量を減らしてほしい	推進施策 1 において、徹底した省エネルギーの推進や再生可能エネルギーのさらなる普及拡大、環境に配慮したライフスタイルの定着を着実に進めることを記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、脱炭素型のくらしや持続可能なエネルギー社会の実現に向けて検討してまいります。

・事業者が環境に配慮した設備投資に前向きに取り組めるよう，補助金等の周知を重視してほしい	推進施策 1(1)において，市民や事業者による省エネルギーの取組を一層推進すると記載しており，今後，京都市において，基本計画を具体化する中で，徹底した省エネルギーの推進に向けて検討してまいります。
・車利用者を減らし，自転車利用を促進する等，CO2 の削減に取り組んでほしい	推進施策 1(1)において，人と公共交通優先の「歩くまち・京都」の取組の下，公共交通利用をより一層促進すると記載しております。 また，推進施策 1(3)において，家庭やコミュニティにおける環境に配慮したくらしの実践や市民ぐるみ・地域ぐるみでの環境保全活動が，さらに根付くような社会環境をつくり，市民の環境活動支援などの取組を推進すると記載しております。今後，京都市において基本計画を具体化する中で，公共交通利用の促進や環境に配慮したライフスタイルの定着に向けて検討してまいります。
・杉や桧の間伐材を利用してエネルギー発電をしてはどうか ・太陽光発電や風力発電などで電気をつくってはどうか	推進施策 1(2)において，地域の未活用エネルギーを最大限活用して再生可能エネルギーの市内生産を促進すると記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，再生可能エネルギーのさらなる普及拡大に向けて検討してまいります。
・都会，まちなかでもできる小さな太陽光発電，太陽熱温水器，雨水(トイレ)の利用を促進する助成制度の導入を期待する	推進施策 1(2)において，地域の未活用エネルギーを最大限活用して再生可能エネルギーの市内生産を促進すると記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，再生可能エネルギーのさらなる普及拡大に向けて検討してまいります。

・社会，家庭生活の変化があっても，CO2 排出削減に向け，市民一人一人が節電，食，買い物の地産地消，小包などの再配達をどうなくすか，といったことに取り組むことが必要	推進施策 1(3)において，家庭やコミュニティにおける環境に配慮したくらしの実践や市民ぐるみ・地域ぐるみでの環境保全活動が，さらに根付くような社会環境をつくり，市民の環境活動支援などの取組を推進すると記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，環境に配慮したライフスタイルの定着に向けて検討してまいります。
・今ある自然をできるだけこわさず守っていききたいと思う ・動植物を大事にしてほしい ・森里海(川)を一体と捉えて，自然の恵み豊かな京都を目指すべき ・CO2 正味ゼロを目指すのは良いが，もっと森林・河川・水田・水路の生物多様性の保全にも同じくらい力を入れるべき	推進施策 2(1)において，市民，事業者，行政等のさまざまな主体が生物多様性の恩恵や必要性を理解し，保全・回復に向けて行動できるよう，それぞれが市民生活や事業活動の一部として取り組むための施策を進めていくと記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，生物多様性豊かな自然環境の保全・回復に向けて検討してまいります。
・野生鳥獣対策や外来種対策，生息地保全についての内容が推進施策欄に記載されていない。施策推進欄に記載のある「市民・事業者等の意識改革」を行うだけでは不十分と思う	推進施策 2(1)において，これからの時代になった「人と自然のかかわり」の構築を進めると記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，生物多様性豊かな自然環境の保全・回復に向けて検討してまいります。
・環境共生をめざすのであれば，里山の保全・再生が急務	推進施策 2(1)において，日常生活において，衣食住のさまざまな面で環境を意識し，里山から離れた人も里山の保全活動に参加するといったような，これからの時代になった「人と自然のかかわり」の構築を進めると記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，生物多様性豊かな自然環境の保全・回復に向けて検討してまいります。

・美しいまちを維持してほしい	推進施策 2(2)において、さまざまな主体の協力により、まちの美化・緑化活動等をはじめ市民に身近な公園整備等による自然環境や生活環境の保全を積極的に推進すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、生活環境の保全に向けて検討してまいります。
・川の水がきれいであるようにしてほしい	推進施策 2(2)に、水質等について市内各所で測定し、維持されることが望ましい基準を満たしているか監視するとともに、市民や事業者の理解を深めるための取組等を進めると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、生活環境の保全に向けて検討してまいります。
●ポイ捨てがなくなしてほしい ・景観を守るためにごみ箱の設置や花を置いてはどうか ・観光地以外もきれいにしてほしい ・ごみ箱の設置、花を置くことでごみを出さない ・ごみを散らかさないまちになってほしい	推進施策 2 (2), 3 (2) において、さまざまな主体の協働により、まちの美化・緑化活動等をはじめ、自然環境や生活環境の保全を積極的に推進していくことや、分別ルールをより一層浸透させることで、市民の分別・リサイクルを徹底すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、生活環境の保全やごみの出ない循環型社会の構築に向けて検討してまいります。
・道路交通による騒音や振動といった身近な問題にも目を向けた取組を盛り込んでほしい	推進施策 2 (2) において、大気、水質等について市内各所で測定し、維持されることが望ましい基準を満たしているか監視するとともに、市民や事業者の理解を深めるための取組等を進めると記載しており、この中で騒音や振動についても、測定しております。今後、京都市において基本計画を具体化する中で、生活環境の保全に向けて検討してまいります。

・ 室外機が臭いので、歩道側につけないでほしい ・ 車などが排出するガスの量を規制してほしい ・ 工事音の抑制のためグレーの幕の防音能力を高めてほしい	推進施策 2 (2) において、市民や事業者の理解を深めるための取組等を進めることにより市民の健康を守り、安心・安全な生活環境の保全に努めると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、生活環境の保全に向けて検討してまいります。
・ 夜はなるべく静かにするまちになってほしい	推進施策 2 (2) において、大気、水質等について市内各所で測定し、維持されることが望ましい基準を満たしているか監視するとともに、市民や事業者の理解を深めるための取組等を進めると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、生活環境の保全に向けて検討してまいります。
・ 福岡市にならい、ごみ収集を夜間・民間収集にすべき ・ ごみ回収の時間を夜にしてほしい	推進施策 3 において、ごみの出ない循環型社会の構築について記載しており、ごみ回収の時間等については、京都市において収集コスト、騒音等を考慮して検討してまいります。
・ ものを大切にする意識を持って少しでもゴミを出さない心がけが必要だと思う	推進施策 3 (1) において、市民においては、「すぐにごみになるものを家庭にもち込まない」、「ものを大切にする」くらしへの転換、事業者においては、「すぐにごみになるものをつくらない、提供しない」事業活動への転換を促していく、また推進施策 3(2)において、市民事業者等と協働し、徹底した分別によるリサイクルを推進すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、ごみの出ない循環型社会の構築に向けて検討してまいります。

・市主催でフリーマーケット等を開催してはどうか	推進施策 3 (1) において、市民・事業者等と連携し、2R を積極的に推進すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、さらなる 2R の推進に向けて検討してまいります。
・プラスチックごみ=パッケージ(包装)のさらなる研究促進，大学・企業への研究促進助成，現状の日常生活でのプラスチックパッケージ減量促進を	推進施策 3 (1) において、世界的な問題である食品ロスや使い捨てプラスチック等のごみを中心に、市民・事業者等と連携し、生産、販売及び消費の各段階での 2R を積極的に推進するとともに、新たにリニューアブルも推進すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、さらなる 2R の推進及びリニューアブルへのチャレンジに向けて検討してまいります。
・もう少しこまめにゴミ箱の回収をしてほしい	推進施策 3(1)において、市民においては、「すぐにごみになるものを家庭にもち込まない」、「ものを大切にする」くらしへの転換、事業者においては、「すぐにごみになるものをつくらない、提供しない」事業活動への転換を促していくことを記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、さらなる 2R の推進及びリニューアブルへのチャレンジに向けて検討してまいります。
・貧困により、満足な食事が出来ない人達(特に子ども)が居る中、食品ロスで廃棄される前の物を活用する事でごみ削減を	推進施策 3 (1) において、世界的な問題である食品ロスや使い捨てプラスチック等のごみを中心に、市民・事業者等と連携し、生産、販売及び消費の各段階での 2R を積極的に推進すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、食品ロス削減の取組の推進に向けて検討してまいります。

・ごみの量が多い。ポイ捨てが多い。一人一人の意識づけが大事	推進施策 3 (1), 3 (2) において、市民においては、「すぐにごみになるものを家庭にもち込まない」、「ものを大切にする」くらしへの転換、事業者においては、「すぐにごみになるものをつくらない、提供しない」事業活動への転換を促していくことや、市民事業者等と協働し、徹底した分別によるリサイクルを推進すること、「持続可能で満足度の高い国際文化観光都市」の特性を踏まえたまちの美化や分別・リサイクルの取組を推進すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、ごみの出ない循環型社会の構築に向けて検討してまいります。
・レジ袋有料化は効果ないので、やめてもらうかわりペットボトルの店頭回収を推進してはどうか	レジ袋有料化は国の法律により義務付けられているものであり、使い捨てプラスチック削減の象徴的な取組として効果的な施策と考えます。ペットボトルの店頭回収については、推進施策 3(2)において、市民・事業者等と協働し、徹底した分別によるリサイクルを推進すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、分別・リサイクルの徹底に向けて検討してまいります。
・段ボールなどの資源の回収場所がわからない	推進施策 3 (2) において、家庭ごみについて、京都のまちの強みである学区単位の活動、自治会・町内会などの地域力を生かした地域密着型の資源物回収の取組を進め、分別ルールをより一層浸透させることで、市民の分別・リサイクルを徹底すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、分別・リサイクルの徹底に向けて検討してまいります。

・京都市のリサイクル率は全国でも低い。数値目標をつくり，市民に徹底したほうがよいのではないか ・リサイクルの回収率が低すぎる	推進施策 3 (2) において，市民・事業者等と協働し，徹底した分別によるリサイクルを推進すると記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，分別・リサイクルの徹底に向けて検討してまいります。
●ポイ捨てが多いので，まちなかにごみ箱を設置してほしい ・ごみ箱がある場所のマップを作成する ・美しいまちを維持してほしい	推進施策 3 (2) において，「持続可能で満足度の高い国際文化観光都市」の特性を踏まえたまちの美化や分別・リサイクルの取組を推進すると記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，ごみの出ない循環型社会の構築に向けて検討してまいります。
・ごみの分別をもっと厳しく ・家の近くの自動販売機のごみ箱に家庭ごみ（洗剤やビール瓶等）をいれている人をなんとかしてほしい	推進施策 3 (2) において，分別ルールをより一層浸透させることで，市民の分別・リサイクルを徹底すると記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，分別・リサイクルの徹底に向けて検討してまいります。
・コンポスト利用者への補助で環境保護推進を進めてほしい	推進施策 3 (2) において，徹底した分別によるリサイクルを徹底すると記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，分別・リサイクルの徹底に向けて検討してまいります。
・市民が，ごみの処理過程等を知れば，ごみの分別や減量につながれると思う。また，これまでの減量効果も分かりやすく伝えてもらえると，さらなる減量意欲につながるのでは	推進施策 4 において，京エコロジーセンター及び南部クリーンセンター環境学習施設「さすてな京都」を環境教育・学習の中核施設とし，ごみ減量等について学べる機会の充実を図ると記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，環境と調和した持続可能な社会を構築する担い手が育つまちの実現に向けて検討してまいります。

・夏暑い	近年の猛暑は，地球温暖化によるものであると言われております。 その原因となる二酸化炭素の排出量を，2050 年までに「正味ゼロ」とすることを基本方針として，徹底した省エネや再エネのさらなる拡大を図り，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，脱炭素社会の実現に向けて検討してまいります。
●温室効果ガス実質ゼロを，国をあげて取り組んでいるのに，なぜ京都市だけ CO2 正味ゼロなのか。市民が戸惑うだけなので国に合わせるべき	IPCC（気候変動に関する政府間パネル）の 1.5℃特別報告書の国の翻訳において，気温上昇を 1.5℃以下に抑えられる CO2 の正味排出量が 2050 年前後にゼロに達する（もの）と記載されていることや，温室効果ガス排出量の約 90%を二酸化炭素が占めており，これを削減することが重要であることから，京都市では，二酸化炭素排出量「正味ゼロ」という表現を使用しています。
・東海道新幹線の高架付近の住宅の固有振動数を変え，柱と壁の補強作業や防音対策をしてほしい	新幹線における騒音について，環境基準を超えている場合は，京都市等において JR 東海等の関係者に対策要請等を行ってまいります。
・公衆トイレがきれいになってほしい	環境政策局が所管する公衆トイレについては，平成 27 年度から令和元年度にかけて，リニューアル事業を実施し，清潔感の向上等を図っております。 今後も，京都市において清掃等によりトイレ環境の維持に努めてまいります。
・公衆トイレに洋式がないので改善してほしい	環境政策局が所管する公衆トイレについては，平成 27 年度から令和元年度にかけて，リニューアル事業を実施し，全て洋式便器にしています。

●車やバイクで騒音を出している人をもっと取り締まってほしい	京都市においては、騒音規制法に基づき、騒音対策に取り組んでおりますが、本件のような事案に対しては同法による規制等がありません。 御提案の内容については、京都府警察において検討されるべきものと考えます。
●ごみ回収における指定ごみ袋(有料)のシステムは廃止すべき	家庭ごみ有料指定袋制は、ごみの排出量に応じて処理手数料を市民に負担していただくことで、ごみへの関心を高め、ごみ減量、分別・リサイクルをより一層促進するとともに、費用負担の公平化を図るものです。

人権・男女共同参画

◆ 審議の参考とさせていただいた御意見

御意見の要旨	御意見に対する考え方
・2025年のめざす姿に女性の活躍に関する項目を加えるべき	京都市においても、社会における女性の活躍は重要であると考えており、推進施策5に女性の就業継続、能力開発、積極的な登用等に率先して取り組む企業の先進事例を他の企業へ波及・浸透させるとともに、男性が家庭生活等に主体的に参画する機運の醸成や環境づくり、子どもを安心して生み育てられる環境の整備などの取組を進めると記載しております。 また、みんなでめざす2025年の姿2,4には、推進施策の取組を進め、女性の社会での活躍が広がったことで実現されるまちの姿を記載しております。

・ジェンダーの問題は「いきいきと活動できる」に集約されているのかもしれないが、この問題を解消していく施策をもっと言葉としても明らかにし、推進してほしい	御指摘の「いきいきと活動できる」という表現については、女性も含めすべての市民が就労だけでなく様々な活動をいきいきとできる場所と機会を見つけられるという意味を込めています。今後、京都市において基本計画を具体化する中で、ジェンダー問題の解消に向け検討してまいります。
・「男女間等におけるあらゆる暴力の根絶」という表現は男女二元論になっているので、男女含むあらゆる性別の人が対象になるように修正してほしい	多様な性の在り方も踏まえ、「男女間等における」としており、御意見の趣旨に合致するものと考えます。
●多様性を認め、みんなで支え合える社会になってほしい ・「ダイバーシティ」を容認する社会環境の確立こそ重要かつ必要な政策である	推進施策 1 において、くらしのなかに人権を大切にし、尊重し合う習慣が根付いた人権文化を構築するために、障害者差別解消法、ヘイトスピーチ解消法、部落差別解消法をはじめとする法制度の整備等を踏まえ、人権尊重の理念をあらゆる行政分野の基調として、行政分野それぞれを連動させながら取組を進めていくと記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、すべての人の人権を尊重する人権文化の構築に向けて検討してまいります。
・性的少数者の生きづらさを解消するまちづくりについて明言してほしい ・LGBT に対する理解は広がりつつあるが性的マイノリティは他にもあるので、そういうのが関係ないという SOGI の考えを広めてほしい ・制服の男女の表記について行政レベルで変更してほしい	推進施策 1 において、くらしのなかに人権を大切にし、尊重し合う習慣が根付いた人権文化を構築するために、障害者差別解消法、ヘイトスピーチ解消法、部落差別解消法をはじめとする法制度の整備等を踏まえ、人権尊重の理念をあらゆる行政分野の基調として、行政分野それぞれを連動させながら取組を進めていくと記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、すべての人の人権を尊重する人権文化の構築に向けて検討してまいります。

・概ね素案どおりでよいが、洛中在住者の特定地域に対する差別感情の打破による精神風土の改善がないと空文化する	推進施策 1 において、くらしのなかに人権を大切にし、尊重し合う習慣が根付いた人権文化を構築するために、障害者差別解消法、ヘイトスピーチ解消法、部落差別解消法をはじめとする法制度の整備等を踏まえ、人権尊重の理念をあらゆる行政分野の基調として、行政分野それぞれを連動させながら取組を進めていくと記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、すべての人の人権を尊重する人権文化の構築に向けて検討してまいります。
・公共交通で車いすの人を一般市民も手助けするような雰囲気を作りたい	推進施策 2 において、市民、市民団体・事業者等、行政が互いに連携し、人権に対する関心をもち、人権意識をより高められるよう、さまざまな教育・啓発活動を進めるとともに、市民等の主体的な取組に対する支援を行うと記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、人権尊重の理念を主体的な行動につなげる取組の推進に向けて検討してまいります。
・ワーク・ライフ・バランスの徹底が必要	推進施策 5 において、長時間労働の解消やテレワーク等のオンライン活用などによる働く人のニーズやライフスタイルに合わせた多様で柔軟な働き方の促進、女性の就業継続、能力開発、積極的な登用等に率先して取り組む企業の先進事例を他の企業へ波及・浸透させるとともに、男性が家事・育児・介護等の家庭生活や地域活動等に主体的に参画する気運の醸成や環境づくり、子どもを安心して生み育てられる環境の整備などの取組を進めると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、真のワーク・ライフ・バランスの推進に向けて検討してまいります。

・子どもを安心して育てられる環境づくりの基本には女性の働く環境のサポート強化が重要 ・キャリアと子育てとの両立の軸を探る、産後のキャリアコンサルティングの実施が重要	推進施策 5 において、多様で柔軟な働き方の促進，女性の就業環境等に率先して取り組む企業の先進事例を他の企業へ波及・浸透させるとともに，男性が家事・育児・介護等の家庭生活や地域活動等に主体的に参画する気運の醸成や環境づくり，子どもを安心して生み育てられる環境の整備などの取組を進めると記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，誰もが仕事と家庭生活を両立し，地域活動や社会貢献活動にも積極的に参加する真のワーク・ライフ・バランスの推進に向けて検討してまいります。
・男女共同参画，まだこんなことを行政がわざわざ言わなければならないのかと思う。コロナ禍で割を食ったのは小さい子どもがいるお母さん。男性の育休より，在宅勤務や早く帰れるようにする方がいい。育児中に限らず，誰もがそうできる体制にならないといけないと思う	推進施策 5 において，長時間労働の解消やテレワーク等のオンライン活用などによる働く人のニーズやライフスタイルに合わせた多様で柔軟な働き方の促進等に率先して取り組む企業の先進事例を他の企業へ波及・浸透させるとともに，男性が家事・育児・介護等の家庭生活や地域活動等に主体的に参画する気運の醸成や環境づくり，子どもを安心して生み育てられる環境の整備などの取組を進めると記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，真のワーク・ライフ・バランスの推進に向けて検討してまいります。
●渋谷区などのように，パートナーシップ制度を導入してほしい	京都市では，令和 2 年 9 月からパートナーシップ宣誓制度を開始し，互いを人生のパートナーとして，日常の生活において相互に協力し合うことを市長に宣誓された，双方又はいずれか一方が性的少数者であるお二人に，受領証等を交付しています。

市民生活とコミュニティ

◆ 答申案に反映させていただいた御意見

御意見の要旨	御意見に対する考え方
・移住政策一辺倒ではなく、Uターン、孫ターンの促進も手がけていただきたい	推進施策２にUターン等を含めた移住促進の観点を追加しました。

◆ 審議の参考とさせていただいた御意見

御意見の要旨	御意見に対する考え方
・老人が集まって若者とコミュニケーションする場がほしい	みんなでめざす 2025 年の姿 1 において、誰もが気軽に参加できる居場所があり、従来からの積極的な日頃の声かけなどによる顔の見える関係づくりを進めると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、誰もが気軽に参加できる居場所がある社会に向けて検討してまいります。
・京都ならではの自治力を前提としたまちづくりは今後も必要だと思うが、市政協力的（下請け的）な仕事のうちいくつかは事業所等に委託するなど、自治力が持続可能になるように施策転換が必要	みんなでめざす 2025 年の姿 1 において、人と人とがつながり、安心して過ごすことができていることをめざすと記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、多様な地域コミュニティの活性化に向けて検討してまいります。

・様々な主体による自主的な取組の推進により市民一人ひとりのコミュニティの幅が広がる半面、暮らしの舞台である足元の地域（生活圏の範囲）への関心が相対的に希薄となり、地域力が低下しつつある地域もある。暮らしの基盤である地域のコミュニティの推進に注力する必要があるのではないか ・住民同士の繋がりが希薄になりつつあるのが気になる ・昔のような近所づきあいがへってマンションの増加とともに人間関係がうすれています。旧小学区のネットワークを強化するべき	推進施策 1 において、住民相互のつながりを強めるとともに、転入者・若者等の自治会・町内会への加入や働いている地域に根差した活動を一層促進すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、誰もが地域活動に参加しやすくなるきっかけ・しくみづくりに向けて検討してまいります。
・高齢化で町内会の役員のなり手が減っており、悩んでいる ・自治会の会員が年々減少しており、今後の自治会活動は頭の痛い問題である ・学区、町内自治への参加，協力を京都では義務と位置付けてほしい	推進施策 1 において、誰もが地域活動に参加しやすくなるきっかけ・しくみづくりを支援すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、多様な地域コミュニティの活性化に向けて検討してまいります。
・京都の外から来て一人住まいという人でも、地域の取組に入っていけるきっかけがあると良い ・地域活動について、どうやって入ったらよいか分からない。そして、一度入ったら義務化しないかという恐怖感がある。入口の紹介と、気軽に入れて、かつ、いつでもやめてもいいんだよ、というお試しの仕組みは考えられないか	推進施策 1 において、誰もが地域活動に参加しやすくなるきっかけ・しくみづくりを支援すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、多様な地域コミュニティの活性化に向けて検討してまいります。
・あいさつをするまちになってほしい ・色んな人に自分から進んであいさつをする、地域の行事になるべく参加するまちになってほしい ・あいさつをする人に優しく、うるさくないまちになってほしい	推進施策 1 において、日頃からのあいさつの励行や魅力ある行事の開催、ICT の活用等により、住民相互のつながりを強めると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、人と人がつながり、安心してくらすことができるまちに向けて検討してまいります。

・様々な地域課題の当事者やそれらの支援者による小さな活動が生活圏レベルで多発することでセーフティネットを形成することになる。地域団体、地域企業、市民活動団体などの信頼のおける団体だけがコミュニティ連携の中心となるのではなく、同時多発型の小さな活動を、行政が部局を超えて促進することが必要ではないか。各分野のコミュニティの醸成につながる取組も、市民生活とコミュニティの施策として、連携して促進されることを願う ・左京区のコミュニティスペース「くらしごと五右衛門」のような若い世代が集う拠点が増えていけば良い	推進施策 2 において、地域課題に取り組む多様なコミュニティの活性化に向けて、地域における担い手育成や新たなつながりづくり、円滑な組織運営のために行う取組などに対して、ICT ツールの導入サポートやまちづくりアドバイザーによる支援などを行うと記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、地域の多様なコミュニティの活性化に向けた支援に向けて検討してまいります。
・京都の自然、田舎暮らし、農業などに関する情報発信を支援することで、京都北部の活性化を狙えるはず	推進施策 2 において、北部山間地域を、将来へと引き継いでいくため、U ターン等を含めた移住促進に向けた取組や北部山間かがやき隊員との協働による地域活性化を進めると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、地域の多様なコミュニティの活性化に向けた支援に向けて検討してまいります。
●多様性を認め、みんなで支え合える社会になってほしい ・各地域における住民主体のまちづくりが一層重要になってくる。財政状況が厳しいなか、地域住民が一層主体性を持って支え合えるようにする仕掛けが重要	推進施策 1, 2 において、住民相互のつながりを強めることや、地域の多様なコミュニティ活性化に向けた支援について記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、誰もがつながり、支え合う、多様な地域コミュニティの活性化に向けて検討してまいります。

・町内会はあっても様々な課題に対して連携して解決に取り組むような組織ではない	推進施策 3 において、NPO をはじめとする市民活動団体と地域団体がお互いのノウハウや強みを発揮し、両者が連携して地域の課題解決に取り組めるよう、さらなる連携のしくみづくりを行うとともに、地域企業や大学等と地域団体との連携が一層深まるよう取組を進めると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、市民活動団体等と地域団体との連携を深める取組の推進に向けて検討してまいります。
・地域コミュニティというとき、どうしても自治会、町内会のイメージに引っ張られがちだが、自治会員がパラレルキャリア的に他の地域団体やNPOに取り込まれて活躍していくという転換が必要。特定組織による人材の独占ではなく、シェアリングこそ必要	推進施策において、誰もが地域活動に参加しやすくなるきっかけ・しくみづくりのほか、担い手育成や新たなつながりづくり、市民活動団体と地域団体の連携を深める取組の推進等と記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、多様なコミュニティの活性化に向けて検討してまいります。
・地域コミュニティの活性化に向けて、もう少し具体的にどうするか、メリット・デメリットはどうか、はっきりした内容で知らせてほしい	今後、この基本計画に掲げた方向性の下、京都市において基本計画を具体化する中で、予測困難な社会経済情勢に対して、柔軟かつ機動的に対応するため、精査を行いながら具体的な推進事業を定めてまいります。

市民生活の安全

◆ 審議の参考とさせていただいた御意見

御意見の要旨	御意見に対する考え方
・事故や事件が少ないまちになってほしい	推進施策 1 において、犯罪抑止のための環境づくりや交通事故防止のための取組の推進について記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、生活安全の推進に向けて検討してまいります。

●路上喫煙が多いので改善してほしい ●路上喫煙等禁止区域を広げてほしい ●路上喫煙者に対する過料を上げてはどうか ●路上喫煙対策として喫煙所を設置してほしい ●たばこのポイ捨て等，マナー向上が必要 ●イギリスの投票灰皿を参考にした灰皿を設置してほしい ●受動喫煙につながる灰皿は撤去してほしい ・路上喫煙をもっと取り締まってほしい ・路上喫煙等禁止区域を分かりやすいようにすることや，周知スピーカーの設置等の対策が必要ではないか ・バス停で喫煙しているので，禁煙の周知や禁止のPRをうまくしてほしい	推進施策 1(1)において，路上喫煙などの迷惑行為の禁止のための適切な対策を講じていくと記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，すべての人が安心して安全にらせるよりよい地域共生社会の実現に向けて検討してまいります。
・詐欺のメールや電話の撲滅のため，市民からの通報を受け付けるインターネットサイトを立ち上げ，詐欺の発信元のメールアドレス，電話番号などの公表や，通信事業者への指導をしてはどうか	推進施策 1(1)において，特殊詐欺被害を防止するための取組を強化するなど，個々の被害への対策をきめ細かに実施すると記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，特殊詐欺被害の防止に向けて検討してまいります。
・不審者に対するパトロールを増やしてほしい	推進施策 1(2)において，地域住民同士で行う防犯パトロール活動などの取組を促進すると記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，すべての人が安心して安全にらせるよりよい地域共生社会の実現に向けて検討してまいります。
・市民生活の安全のためには，地域住民の目が光る地域づくりが大切	推進施策 1(2)において，身近な地域の目を増やし，「見せる防犯」を拡大すると記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，生活安全の推進に向けて検討してまいります。

・防犯カメラの数を増やすといった、防犯面の強化をしてほしい	推進施策 1(1)において、犯罪抑止のための環境づくりに取り組むこと、推進施策 1(2)において、地域住民同士で行う防犯パトロール活動だけでなく、玄関先への防犯標語の掲示やセンサーライトの設置など、犯罪企図者に「この地域には入りにくい」と思わせるような取組を促進し、身近な地域の目を増やし、「見せる防犯」を拡大すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、すべての人が安心して安全に暮らせるまちに向けて検討してまいります。
・車の事故がなくなってほしい	推進施策 1(3)において、子どもから高齢者まで、市民一人一人が交通ルールを遵守し、正しい交通マナーを実践する交通事故のない安心・安全なまちづくりに取り組むと記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、交通事故防止のための取組の推進に向けて検討してまいります。
・車の人が歩行者優先をしてくれず危ないので、対策を検討してもらいたい ・タクシーなどの運転が荒くて危ないので、どうにかしてほしい ・信号を守らない人がいるが、交通安全を意識してほしい ・歩きスマホが気になる	推進施策 1(3)において、市民、事業者等の交通安全に関する知識の普及及び意識の高揚を図るため、京都市と京都府警察、地域の交通安全活動団体が緊密に連携しながら、普及啓発活動をはじめとする交通安全施策を推進し、子どもから高齢者まで、市民一人一人が交通ルールを遵守し、正しい交通マナーを実践する交通事故のない安心・安全なまちづくりに取り組むと記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、交通事故防止のための取組の推進に向けて検討してまいります。

・交通マナーを守らない人が多いので、小さい道や通路の横断歩道をなくしてほしい	京都市においては、市民、事業者、警察、行政のパートナーシップの下、交通安全知識を広く普及し、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けることにより、交通事故のない、すべての人が安心・安全で、健やかに暮らせる地域づくりに取り組んでおります。 御提案いただいた横断歩道については、横断歩行者数や交通量などを総合的に判断して公安委員会が設置するものです。交通事故の多発等を防止し、安全かつ円滑・快適な交通を確保するため、京都府公安委員会において検討されるべきものと考えます。
・大通りの信号が少ないので、増やしてほしい ・信号が多すぎて不便なので、短い距離間の信号はなくしてほしい	京都市においては、市民、事業者、警察、行政のパートナーシップの下、交通安全知識を広く普及し、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けることにより、交通事故のない、すべての人が安心・安全で、健やかに暮らせる地域づくりに取り組んでおります。 御提案いただいた信号の数については、京都府公安委員会が事前に交通量、交通事故の発生状況、交差点の形状等を調査・分析するとともに、他の対策により代替が可能か否かを考慮した上で、真に必要性の高い場所を選び、設置するものです。交通事故の多発等を防止し、安全かつ円滑・快適な交通を確保するため、京都府公安委員会において検討されるべきものと考えます。

・横断歩道が横断しにくいので、信号を設置してほしい	京都市においては、市民、事業者、警察、行政のパートナーシップの下、交通安全知識を広く普及し、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けることにより、交通事故のない、すべての人が安心・安全で、健やかに暮らせる地域づくりに取り組んでおります。 御提案いただいた信号の設置については、京都府公安委員会が事前に交通量、交通事故の発生状況、交差点の形状等を調査・分析するとともに、他の対策により代替が可能か否かを考慮した上で、真に必要性の高い場所を選び、設置するものです。交通事故の多発等を防止し、安全かつ円滑・快適な交通を確保するため、京都府公安委員会において検討されるべきものと考えます。
・赤信号の時間が長すぎるため、緑のときに速度を上げて無理に渡ろうとする車が事故を起こすことがあるのではないか。信号の時間間隔を工夫してはどうか ・信号が2つある箇所、連携が悪い。赤信号になるギリギリで通行するため、スピードを出している車が多いので改善してほしい	京都市においては、市民、事業者、警察、行政のパートナーシップの下、交通安全知識を広く普及し、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けることにより、交通事故のない、すべての人が安心・安全で、健やかに暮らせる地域づくりに取り組んでおります。 御提案いただいた信号の時間については、京都府公安委員会が横断歩行者数や交通量などを総合的に判断して公安委員会が決定するものです。交通事故の多発等を防止し、安全かつ円滑・快適な交通を確保するため、京都府公安委員会において検討されるべきものと考えます。

・歩行者専用の信号の点滅時間が短く渡り切れない場合があるので、大通りの信号は点滅時間を長くしてはどうか ・信号の点滅の時間を長くしてほしい	京都市においては、市民、事業者、警察、行政のパートナーシップの下、交通安全知識を広く普及し、交通ルールへの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けることにより、交通事故のない、すべての人が安心・安全で、健やかに暮らせる地域づくりに取り組んでおります。 御提案いただいた信号の点滅時間については、京都府公安委員会が横断歩行者数や交通量などを総合的に判断して決定するものです。交通事故の多発等を防止し、安全かつ円滑・快適な交通を確保するため、京都府公安委員会において検討されるべきものと考えます。
●自転車の通行の妨げとなるため、路上駐車取締りを強化してほしい ・違法駐車が多いので、駐車監視員を増やすなどして、取締りを強化してほしい	京都市においては、市民、事業者、警察、行政のパートナーシップの下、交通安全知識を広く普及し、交通ルールへの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けることにより、交通事故のない、すべての人が安心・安全で、健やかに暮らせる地域づくりに取り組んでおります。 御提案いただいた路上駐車取締りについては、京都府公安委員会において、実施しているものであり、その強化についても京都府公安委員会で検討されるべきものと考えます。
・醍醐警察署の新設による負担軽減が必要	御提案の内容については、京都府警察において検討されるべきものと考えます。

文化

◆ 審議の参考とさせていただいた御意見

御意見の要旨	御意見に対する考え方
・京都文化の革新のための取組を期待している ・歴史と革新のまちであってほしい。そして、それを全国に波及させてほしい	キャッチフレーズにおいて、京都の「伝統と革新」の精神に基づき蓄積してきた有形無形の文化を継承、活用、創造し続けると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、「世界の文化首都・京都」の実現に向けて検討してまいります。
・5年後の京都は、文化が増えて発展してほしい ・日本の文化を残すまちになってほしい	基本方針において、市民の生活に息づくくらしの文化や、伝統文化から現代芸術まで幅広い文化、有形無形の文化遺産をはじめとする多様な文化を、新しい生活スタイルに合わせて維持、継承、活用しつつ、創造的に発展させていくため、持続可能な文化施策を展開すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、有形無形の文化を継承・活用・創造し続ける「世界の文化首都・京都」の実現に向けて検討してまいります。
・和をもっと強調してほしい	基本方針において、市民の生活に息づくくらしの文化や、伝統文化から現代芸術まで幅広い文化、有形無形の文化遺産をはじめとする多様な文化を、新しい生活スタイルに合わせて維持、継承、活用しつつ、創造的に発展させていくため、持続可能な文化施策を展開すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、有形無形の文化を継承・活用・創造し続ける「世界の文化首都・京都」の実現に向けて検討してまいります。

・生活文化を受け継げるまちであってほしい ・町内の地蔵盆をこれからも続けてほしい	推進施策 1(1)において、すべての人が、伝統文化から現代芸術まで幅広い文化、くらしの文化に触れる機会を増やし、京都の伝統文化から現代芸術、くらしの文化、それを支える匠のわざなどへの理解を深めることや、新たな表現や発表・鑑賞の方法も模索しながら、新しい生活スタイルに適応した文化のあり方を追求し、多様な文化を発展的に継承していくことを記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、誰もが文化に触れる機会の創出による多様な文化の継承に向けて検討してまいります。
・京都の伝統や文化に、新しく移住してきた人が、年齢、性別、出身関係なく触れることができるまちになってほしい ・観光客や地元の人が、伝統的なもの（着物など）に触れる機会を作るべき ・学校と連携するなどして着物に触れる機会が多くなればいい ・伝統技術や芸能にもっと触れられる機会を増やしてほしい ・自発的に動かないと京都の文化に触れる機会がないので、機会をもっと作ってほしい ・四条通地下道で恒常的に文化作品を展示してはどうか ・地域の文化のイベントを充実してほしい ・歴史や文化に子どもが触れやすいような仕掛け（割引やイベントなど）がもっとほしい	推進施策 1(1)において、すべての人が、伝統文化から現代芸術まで幅広い文化、くらしの文化に触れる機会を増やすと記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、誰もが文化に触れる機会の創出による多様な文化の継承に向けて検討してまいります。

・地元の人が着物を着ようと思える文化の醸成が必要 ・暮らしの文化を実践することが必須。基本的な暮らしの文化をマニュアル化し、誰でも短期間で習熟できるようにする必要がある ・京都の文化をもっと広めるために、学校で着物や茶道、華道などの授業を毎年開催するなどして、幼い頃から文化に触れあい、日常の一部になるようにしてはどうか ・着物を着る機会を増やすために、学校で着付けの授業を増やすほか、学生や着物を着ることに興味がある人をターゲットにイベントを開くとよいと思う。また、着物を着る機会が減っているのはお茶会が減っているからだという話を聞いたので、その機会を増やし、そのような場所で京都の華道の良さなどを広める講義などもできるとよい	推進施策 1(1)において、すべての人が、伝統文化から現代芸術まで幅広い文化、くらしの文化に触れる機会を増やし、理解を深めることや、発展的に継承していくことを記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、誰もが文化に触れる機会の創出による多様な文化の継承に向けて検討してまいります。
・伝統と現代の共存 ・価値ある伝統や芸術文化や建造物を残していくために時代に沿ったアップグレードをしてほしい	推進施策 1(1)において、すべての人が、伝統文化から現代芸術まで幅広い文化、くらしの文化に触れる機会を増やし、京都の伝統文化から現代芸術、くらしの文化、それを支える匠のわざなどへの理解を深めることや、新たな表現や発表・鑑賞の方法も模索しながら、新しい生活スタイルに適応した文化のあり方を追求し、多様な文化を発展的に継承していくことを記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、誰もが文化に触れる機会の創出による多様な文化の継承に向けて検討してまいります。

・京都のテーマとして、歴史遺産を大切に真ん中に据えた都市戦略を進めるとよい	推進施策 2(1)において、あらゆる政策分野と文化を融合させ、戦略的に事業を展開と記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、文化を基軸とした政策融合による社会的・経済的価値の創出に向けて検討してまいります。
・経済力をつける、売ってもらうことは大切だが、質の高い、良いもの、人のところをひきつけることができるクオリティのものには、おのずからところがよってきて、経済力もついていくのではないか	推進施策 2(1)において、あらゆる政策分野と文化を融合させ、戦略的に事業を展開することで、新たに社会的・経済的価値を生み出し、文化と経済の好循環の創出、日本の文化 GDP の拡大への貢献等につなげていくと記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、文化による社会、経済の活性化に向けて検討してまいります。
・文化庁との連携を明記してはどうか	推進施策 2(2)において、新・文化庁と連携し、多彩な取組を展開することで、京都市の施策の効果を全国に波及させ、文化による地方創生のモデル都市になることをめざすと記載しており御意見の趣旨に合致するものと考えます。
・芸術・文化の発信はより多く、主に海外に向けて積極的に行っていただきたい ・京都の文化を国内外にアピールできる取組の強化を期待しています	推進施策 2(2)において、新・文化庁と連携し、多彩な取組を展開することで、京都市の施策の効果を全国に波及させ、文化による地方創生のモデル都市になることをめざすとともに、今後の国内外の文化交流の回復と新たな展開を見据えて、京都から世界に向けて京都・日本文化の魅力を発信し続けていくと記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、京都・日本の魅力の発信に向けて検討してまいります。

・国際文化交流できる場面が少ないので、機会を設けてほしい	推進施策 2(2)において、今後の国内外の文化交流の回復と新たな展開を見据えて、京都から世界に向けて京都・日本文化の魅力を発信し続けていくと記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、国内外の文化交流の促進に向けて検討してまいります。
・文化等の京都の魅力発信を進めてほしい	推進施策 2(2)において、京都から世界に向けて京都・日本文化の魅力を発信し続けていくと記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、京都・日本の魅力の発信に向けて検討してまいります。
・環境と文化を融合させた取組を発信してほしい	推進施策 2(1)において、京都へ移転する新・文化庁と連携し、環境等、あらゆる政策分野と文化を融合させた事業を展開すること、推進施策 2(2)において、京都市の施策の効果を全国に波及させることを記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、文化を基軸とした政策融合による社会的・経済的価値の創出に向けて検討してまいります。
・京都文化遺産の活用に向け、建設的な協議を期待します	推進施策 3(1)において、京都文化遺産の所有者や技術保持者はもとより、多くの市民や大学、企業、行政等の関係者が、京都文化遺産に関する貴重な調査・研究の成果を情報共有するとともに、気軽に交流できるしくみや場を設けると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、日本の宝である京都文化遺産の継承に向けて検討してまいります。

・京都文化遺産に関するあらゆる資料のデジタル化を推進すべき	推進施策 3(1)において、京都文化遺産に関する貴重な調査・研究の成果を情報共有するとともに、関係者が有するさまざまな技術の向上や豊かな市民の暮らしにつなげていくことでその価値を未来に伝えていくと記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、京都文化遺産の価値を未来に伝える取組の推進に向けて検討してまいります。
●文化遺産周辺の景観を守ってほしい	推進施策 3(3)において、文化遺産とその周辺環境の一体的な保全など、文化財保護政策と景観まちづくり政策との融合を図り、地域との連携を深めながら、京都の奥深い歴史を伝える有形無形の文化遺産を大切にしたまちづくりを進めると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、文化遺産を大切にしたまちづくりの推進に向けて検討してまいります。
・二条城の堀の藻が景観を悪くしているので改善してほしい	推進施策 3(3)において、文化遺産とその周辺環境の一体的な保全を進めると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、文化遺産を大切にするまちづくりの推進に向けて検討してまいります。
・日本庭園の特性を生かしたまちづくりを推進することこそ、文化首都・京都を実現する大きな手立て。分かり易い表現で具体的な施策を打ち出してほしい	推進施策 3(3)において、文化財保護政策と景観まちづくり政策の融合を図り、京都の奥深い歴史を伝える有形無形の文化遺産を大切にしたまちづくりを進めると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、「世界の文化首都・京都」の実現に向けて検討してまいります。

・企業が文化支援をする際に、京都市からも補助が出る仕組みを検討してほしい	推進施策 4(1)において、文化芸術活動を継続・発展させ、京都の文化を未来につないでいくためのネットワークをつくと記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、文化芸術活動を継続・発展させていくためのしくみの構築に向けて検討してまいります。
・文化の担い手の養成を行政がやってくれないのはなぜなのか	推進施策 4(2)において、京都が有する豊かな文化資源を生かし、家庭、学校、地域社会、その他のさまざまな場において、文化についての学びを推進するとともに、より多くの子ども・若者が優れたほんものの文化に触れる機会を充実し、文化に対する感性を磨き、表現力を高め、多角的な思考力を養うことで、次世代の文化の担い手・支え手の育成につなげていくと記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、次世代の文化の担い手・支え手の育成に向けて検討してまいります。
・府民（市民）は寺社仏閣の入場料等を無料に	推進施策 1(1)において、すべての人が、伝統文化から現代芸術まで幅広い文化、くらしの文化に触れる機会を増やすとともに、推進施策 4(2)において、京都が有する豊かな文化資源を生かし、文化についての学びを推進すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、誰もが文化に触れる機会の創出による多様な文化の継承と次世代の文化の担い手・支え手の育成に向けて検討してまいります。

・コロナ禍のなか、文化関連の情報発信を充実することがより一層重要。インターネットや SNS，動画サイト等の活用や，文化財を保護できる人材の育成，スキルをもった学芸員確保にも取り組んでほしい	推進施策 2(2)において，国内外の文化交流の促進と京都・日本の魅力を発信すること，推進施策 4(2)において，次世代の文化の担い手・支え手を育成することを記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，有形無形の文化を継承，活用，創造し続ける「世界の文化首都・京都」の実現に向けて検討してまいります。
・インバウンドの力を借りず京都の文化や伝統に力を入れて，その方面に進む若い人の生活を守ってほしい ・伝統産業などの産業支援も大切ですが，学術・文化を支える人への投資ももっと考慮してほしい	推進施策 4(1)において，文化芸術活動を継続・発展させ，京都の文化を未来につないでいくためのネットワークをつくること，推進施策 4(2)において，次世代の文化の担い手・支え手を育成することを記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，文化芸術活動の継承・発展させていくための仕組みの構築に向けて検討してまいります。
・まちとしての求心力を高めるために，受け継いだ伝統文化だけでなく，新たな文化の発信に適した場所だという魅力を創っていくという理念を強く打ち出したい	推進施策 4(3)において，京都のまち全体を文化の活動の場としてとらえ，京都へ全面的に移転する新・文化庁や，京都駅東部に移転する京都市立芸術大学をはじめとした大学，文化芸術関係団体等との連携の下，京都市の文化芸術拠点の機能を充実するとともに，さまざまな文化関係施設を生かして，京都の文化の継承・創造・発信を支援していくと記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，文化芸術活動を継続・発展させていくためのしくみの構築に向けて検討してまいります。
●コンサートホールがほしい	推進施策 4(3)において，京都市の文化芸術拠点（ロームシアター京都，京都コンサートホール等）の機能を充実すると記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，文化の継承・創造・発信に向けて検討してまいります。

・市立の大きな美術館，博物館の別館を伏見区・山科区・南区に建ててはどうか ・市立の大きな美術館，博物館が京都駅より北に集中しているので，南部にもこうした施設を建てることはできないか	推進施策 4(3)において，京都市の文化芸術拠点（京都市京セラ美術館等）の機能を充実すると記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，文化の継承・創造・発信に向けて検討してまいります。
・京都の歴史・文化を発信する市営の博物館の設置を	推進施策 4(3)において，さまざまな文化関係施設（博物館等）を生かして，京都の文化の継承・創造・発信を支援していくと記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，文化の継承・創造・発信に向けて検討してまいります。
・双京構想を進めるべき	キャッチフレーズにおいて，「世界の文化首都・京都」の実現をめざすことを掲げており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で推進してまいります。
・多様な文化を創造するということがよく分からない	市民の生活に息づくくらしの文化や，伝統文化から現代芸術まで幅広い文化，有形無形の文化遺産をはじめとする多様な文化を，新しい生活スタイルに合わせて維持，継承，活用しつつ，創造的に発展させていくことをめざしております。

スポーツ

◆ 審議の参考とさせていただいた御意見

御意見の要旨	御意見に対する考え方
・スポーツができる施設をもっと増やしてほしい ・無料で気軽に運動できる施設を作してほしい ・スポーツに打ち込む人たちが自主的な活動に取り組めるよう、スポーツ施設がほしい ・運動できる施設として、市立の小・中学校の体育館などが使えるようになると良い ・無料の体育館が少なく、高校生が利用できる場所が少ない ・大きな競技場がないので、整備してほしい	推進施策 1(1)において、スポーツ施設・設備について、整備を進めると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、スポーツが身近にある健康で心豊かなくらしの実現に向けて検討してまいります。
・市が所有するスポーツ施設の開放や、施設利用の申込みの簡略化を行ってほしい ・市のスポーツ施設を定期的に無料解放、もしくは安価で利用できるようにすることで、より多くの人がスポーツに関わることができるようになると思う ・西京極総合運動公園について、ごみ箱に入りきらないごみがたくさんと落ちているので、今よりもっと頻繁にごみの回収をしてほしい。また、カラスよけの対策もしてほしい	推進施策 1(1)において、スポーツ施設の運営については、安全・安心で良質なサービスの提供に努めると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、スポーツ施設の効果的・効率的な運営の推進に向けて検討してまいります。
・スポーツを行う機会を作るとともに、その機会を周知してほしい ・スポーツイベントの周知に当たって学校でのビラ配り等の宣伝を行う、イベントの参加数に応じた商品のプレゼントの実施、イベントの開催数を増やすなどの取組を	推進施策 1(3)において、誰もがスポーツに身近に触れ、生涯にわたってスポーツをみずから楽しむことができる機会をさらに増やすとともに、スポーツに関する幅広い情報を得やすいしくみづくりを進めると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、スポーツが身近にある健康で心豊かなくらしの実現に向けて検討してまいります。

・障害のある子どもたちも参加できる陸上教室を開催してほしい	推進施策 1(3)において、誰もがスポーツに身近に触れ、生涯にわたってスポーツをみずから楽しむことができる機会をさらに増やすと記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、スポーツが身近にある健康で心豊かなくらしの実現に向けて検討してまいります。
・少子高齢化の今、健康で心豊かな生活をするうえでスポーツが大切だが、スポーツを振興する担い手不足がある。誰もが協力して進められるような方策をお願いしたい	推進施策 2(1)において、地域や学校等でのスポーツ活動を支える担い手の育成・活動への支援について記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、スポーツを支える組織・担い手の育成に向けて検討してまいります。
・京都サンガの知名度を上げ、集客力を高めることで、スポーツを活性化して欲しい ・SNS による知名度向上や、学校でのワークショップ開催からプレーを身近に見ることにつなげるなど、京都ハンナリーズに興味を持ってもらうことで、スポーツを活性化して欲しい ・プロ野球球団を誘致してほしい	推進施策 3(3)において、地域密着型プロスポーツチームの振興を進めると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、スポーツによるまちの魅力の向上に向けて検討してまいります。

◆ 審議の参考とさせていただいた御意見

御意見の要旨	御意見に対する考え方
・個人・企業問わず意見交換や共創をする機会が増えればいいなと思う	みんなでめざす 2025 年の姿 4 において、起業家やクリエイティブな人々が国内外から京都に集まり、事業者や大学、学生、アーティスト等との交流・協働により、次々に新たなイノベーションが起こるエコシステムが形成され、世界に羽ばたく多種多様なスタートアップ企業や、社会課題を解決する企業が生まれるまちをめざすと記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、異分野との交流によるイノベーションの創出に向けて検討してまいります。
・地域コミュニティとしての商店街の振興	みんなでめざす 2025 年の姿 6 において、地域コミュニティの間でもある商店街が活性化することと記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、地域コミュニティとしての商店街の振興に向けて検討してまいります。
・「伝統産業、商業の振興」について、どうやって振興するのか、あるいはどうやって好循環をめざすのかが重要になる。市民だけでなく、民間の団体や企業と協議しながら政策を進める環境を整備することが重要ではないか	「市民と行政の役割分担と共汗」における行政の役割において、企業・事業者・大学と地域が協働できるよう、新産業の創出や地域企業の下支え等の施策を総合的かつ計画的に推進すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、地域経済の発展および市民生活の向上に向けて検討してまいります。

・長時間労働を食い止めるため、週３日休みを導入する等、働きやすくなる環境を整備してほしい	推進施策 1(2)において、多様な担い手が活躍できるよう、労働局、京都府、経済界との連携によって、オール京都で担い手の確保や雇用のミスマッチの解消、働き方改革、テレワークや副業などの新しい生活スタイルに対応するワークスタイルを推進しております。 御提案の週休３日制の導入については、国において検討すべきものと考えます。
・博士号取得者の企業における雇用を拡大してほしい	推進施策 1(2)において、女性や障害のある人、外国人等の多様な担い手が活躍できるよう、労働局、京都府、経済界との連携によって、オール京都で担い手の確保や雇用のミスマッチの解消を推進と記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、多様な担い手が活躍できる働き方の実現と雇用のミスマッチの解消に向けて検討してまいります。
・京都の企業の良さやどのように取組を行っているかをPRする	推進施策 1(2)において、オール京都で担い手の確保や雇用のミスマッチの解消などを推進し、若者から高齢者まで切れ目のない就労、定着支援を推進すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、多様な担い手が活躍できる働き方の実現に向けて検討してまいります。
・ジョブトレーナーを個人につけて、雇用のミスマッチをなくす工夫をしてもらいたい	推進施策 1(2)において、オール京都で担い手の確保や雇用のミスマッチの解消を推進すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、多様な担い手が活躍できる働き方の実現と雇用のミスマッチの解消に向けて検討してまいります。

・新しい働き方の定着や DX の推進により分散型居住を進めてほしい。それが中小企業と大企業の共存共栄モデルの構築につながる	推進施策 1(2)において、テレワークや副業などの新しい生活スタイルに対応するワークスタイルを推進すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、地域企業の持続的発展と地域企業を支える多様な担い手の活躍に向けて検討してまいります。
・ワーク・ライフ・バランスの徹底が必要 ・非正規雇用を日本で一番少ない都市にしたい	推進施策 1(2)において、労働局、京都府、経済界との連携によって、オール京都で担い手の確保や雇用のミスマッチの解消、働き方改革、テレワークや副業などの新しい生活スタイルに対応するワークスタイルを推進すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、多様な担い手が活躍できる働き方の実現に向けて検討してまいります。
・雇用を多く、働く場所を多く作ってほしい	推進施策 1(2)、2(2)において、オール京都で担い手の確保や雇用のミスマッチの解消や、企業立地促進施策の充実や事業用地の創出によって、市内企業の事業拡大や新たな企業の誘致を促進すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、企業の事業環境の整備について検討してまいります。
・京都市（府）に本社を有する企業の所得税、市府民税の大幅減額することで、多くの企業を誘致してはどうか	推進施策 2(2)において、企業立地促進施策の充実や事業用地の創出によって、新たな産業集積を生み出す事業環境を整備し、市内企業の事業拡大や新たな企業の誘致を促進することを記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、産業構造の強靱化に向けた企業の事業環境の整備に向けて検討してまいります。

・日本の誇るべき文化や精神，技術や産業を大切にしながらも，多様な国や文化とコラボしてまた新たな京都に進化して欲しい	推進施策 3(1)において，クリエイティブな人々の呼び込みや交流促進，支援機関等とのネットワークによってスタートアップ・エコシステムを構築すると記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，文化と経済の融合，異分野との交流によるイノベーションの創出に向けて検討してまいります。
・京都市桂イノベーションセンターを更に発展させることが，スタートアップ拠点都市として重要。ウィズコロナであるからこそ，密にならない郊外に活路を求めることが，未来に向けて重要になる	推進施策 3(1)において，京都の経済団体が一堂に会する京都経済センターを核として，地域企業，アーティスト，学生等との交流を促進するとともに，大学や産業支援機関，インキュベーション施設，アクセラレーター，金融機関等とのネットワークによって，スタートアップ・エコシステムを構築すると記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，世界に羽ばたく企業が生まれる世界有数のスタートアップ拠点都市の構築に向けて検討してまいります。
・伝統や歴史を大切にしながら，若者中心にイノベーションが盛んに起こっていて，それを市民みんなが把握できるようになってほしい	推進施策 3(2)において，持続可能なビジネスモデルを京都から世界に発信するとともに，革新的な技術やサービスの提供などにより，ウィズコロナ・ポストコロナをはじめとする人類共通の課題を解決するソーシャル・イノベーションを推進すると記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，世界に羽ばたく企業が生まれる世界有数のスタートアップ拠点都市の構築に向けて検討してまいります。

・伝統産業と町並みを守って、世界に誇れる、京都であり続けたい	推進施策 4(1)において、伝統産業を着実に次世代に継承、発展させていくため、業界団体を通じた仕事づくりや若手職人の育成を支援するとともに、文化・アート等との融合による新たな価値の創造、観光客が「ほんまもん」を体験できる場の提供、海外販路の開拓等、伝統産業製品の需要喚起策を展開すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、伝統産業の魅力的な産業としての継承・発展に向けて検討してまいります。
・職人の思いを通訳を入れて Live 配信する取組を後押ししてもらいたい	推進施策 4(1)において、伝統産業を着実に次世代に継承、発展させていくため、海外販路の開拓等、伝統産業製品の需要喚起策を展開すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、伝統産業の魅力的な産業としての継承・発展に向けて検討してまいります。
・着物等の伝統産業は衰退の一途。今の時代にあったものに変換しないと生きる道はないと思う	推進施策 4(1)において、伝統産業を着実に次世代に継承、発展させていくため、業界団体を通じた仕事づくりや若手職人の育成を支援するとともに、文化・アート等との融合による新たな価値の創造、観光客が「ほんまもん」を体験できる場の提供、海外販路の開拓等、伝統産業製品の需要喚起策を展開し、出荷額の増加につなげると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、日本の文化を支える伝統産業の魅力的な産業としての継承・発展に向けて検討してまいります。

・伝統産業従事者健保年金創設により安心して就労可能な環境を構築してほしい	推進施策 4(1)において、伝統産業を着実に次世代に継承、発展させていくため、業界団体を通じた仕事づくりや若手職人の育成を支援するとともに、文化・アート等との融合による新たな価値の創造、観光客が「ほんまもん」を体験できる場の提供、海外販路の開拓等、伝統産業製品の需要喚起策を展開し、出荷額の増加につなげると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、日本の文化を支える伝統産業の魅力的な産業としての継承・発展に向けて検討してまいります。
・観光客や地元の人が伝統的なもの(着物など)に触れる機会を、場所やイベントなどを通して作るべき ・茶道体験や着物で観光地をめぐる企画や、着物を着る機会を増やしてほしい ・伝統技術や芸能にもっと触れられる機会を増やしてほしい	推進施策 4(1)において、伝統産業を着実に次世代に継承、発展させていくため、業界団体を通じた仕事づくりや若手職人の育成を支援するとともに、文化・アート等との融合による新たな価値の創造、観光客が「ほんまもん」を体験できる場の提供、海外販路の開拓等、伝統産業製品の需要喚起策を展開すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、伝統産業の魅力的な産業としての継承・発展に向けて検討してまいります。
●伝統技術を次世代に伝える取組を期待している ・後継者(伝統工芸)育成のため、事業者(生産者、販売者)行政が討論しあい、戦略を立てていくべき ・インバウンドのちからを借りず京都の文化や伝統にちからをいれてその方面に進む若い人の生活を守ってほしい ・伝統産業や伝統工芸が生き残るため、次の世代を育てることを目的に、人と人とのマッチングが増えてほしい	推進施策 4(1)において、伝統産業を着実に次世代に継承、発展させていくため、業界団体を通じた仕事づくりや若手職人の育成を支援すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、伝統産業の魅力的な産業としての継承・発展に向けて検討してまいります。

・地域企業(伝統産業)を支援する ・伝統産業等の補助金政策においても、府市協調で、従来より充実してほしい ・2025年までに伝統工芸の脆弱な基盤を強くするため、ふれあい館などを活用して、清水焼の魅力を若い人へ発信するとともに、他の分野の伝統工芸の後継者育成に力を入れてほしい	推進施策 4(1)において、伝統産業を着実に次世代に継承、発展させていくため、業界団体を通じた仕事づくりや若手職人の育成を支援するなど、伝統産業製品の需要喚起策を展開すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化の中で、伝統産業の魅力的な産業としての継承・発展に向けて検討してまいります。
・SNSの京都市専用アカウントをつくり、PRしてはどうか ・ふるさと納税の返礼品の種類を増やして特産品の認知度を高める	推進施策 4(1)において、伝統産業を着実に次世代に継承、発展させていくため、業界団体を通じた仕事づくりや若手職人の育成を支援等、伝統産業製品の需要喚起策を展開し、出荷額の増加につなげると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化の中で、伝統産業の魅力的な産業としての継承・発展に向けて検討してまいります。
●スーパーが少なく住みにくい ・お年寄り等のためにスーパーマーケットを住まいの近くにしたり、駐車場を増やしてほしい ・大学の周りに百貨店やコンビニが少ない ・シャッター街を若者の集客を目的としたインスタ映えのカフェや本などを置いたりラックスできるカフェにする ・安全、安心な生鮮食品等を供給するには、顔の見える業者が必要だと思う ・気軽に入れるお店がほしい	推進施策 4(2)において、安心・安全・快適で持続可能な商業環境の創出をめざし、地域特性・資源を最大限に生かした商業エリア・商店街の活性化や、商いしやすいしくみづくりを推進すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化の中で、持続可能な商業環境の創出に向けて検討してまいります。

・コンビニでも買えないもの（服、野菜）などを扱うお店をもっと増やしてほしい ・お店のノンアルコールの消毒液を増やしてほしい	推進施策 4(2)において、安心・安全・快適で持続可能な商業環境の創出をめざし、地域特性・資源を最大限に生かした商業エリア・商店街の活性化や、次代を担う商業者及び後継者の育成、キャッシュレス等の消費者の利便性向上に対応した経営支援策等を展開するとともに、商いしやすいしくみづくりを推進すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、商いによるにぎわいと持続可能な商業環境の創出に向けて検討してまいります。
・京都の観光モデルなどの商業に力を入れてほしい	推進施策 4(2)において、商いによるにぎわいと持続可能な商業環境の創出と記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、地域と文化を支える伝統産業、商業の振興に向けて検討してまいります。
・京都が誇るお茶などの高級特産品生産業者に対し、さらなる補助金が必要	推進施策 5（1）において、京の食文化のさらなる発展のため、産地への支援等の取組を推進すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、京の食文化の継承・発展に向けて検討してまいります。
・地域固有の食文化を大切にできるよう、伝える人材を育成、応援してほしい ・食文化と同様、食の安全、食からつくる健康も大事だと思うので、ぜひ「食」の京都をもっと推進してほしい ・京の食文化を子どもたちが感じることを大事にしたい	推進施策 5（1）において、京の食文化を次世代へ継承するとともに、さらなる発展のため、食育の推進、産地への支援等の取組を推進と記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、京の食文化の継承・発展に向けて検討してまいります。

・京都市財政が厳しいことから、巨額の費用を要する事業に厳しい目が注がれるのも無理はないが、第一市場の再整備は当初の計画どおりやり切ることが肝心。現在整備中の水産棟に引き続き、耐震基準を満たしていない青果棟の全面建て替えを遅滞なく進めていただきたい	推進施策 5(2)において、施設整備とともに、取引をはじめとした市場業務の ICT（情報通信技術）化の推進等を通じた中央卸売市場の機能強化を図ることにより、将来にわたって、生産者を守り、市民に安全・安心な生鮮食料品等を安定的に供給するとともに、輸出の拡大に取り組むことや、災害時には食料供給拠点としての役割を果たしていくことを記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、安全・安心な生鮮食料品等の安定的な供給に向けて検討してまいります。
---	---

観光

◆ 答申案に反映させていただいた御意見

御意見の要旨	御意見に対する考え方
・観光客と市民の調和を図ってほしい ・観光と居住の両方で魅力的に思ってもらえる街になってほしい ・観光客よりもまずは地域に住んでいる市民が快適に暮らせるかどうかを第一に考えてもらいたい ・観光は大切だと思うが、市民のことをもとめてほしい ・観光客の人と京都の人とが一緒に暮らせるまちになってほしい ・訪問者と地域住民が共存できるまちになってほしい ・オーバートーリズムをしっかりと調査してほしい。人は来るが住みにくいまちになりつつあった	基本方針に市民生活と観光との調和の観点を追加しました。

・観光業が市民生活を豊かにしている視点が明記されていないが、観光業が市民にメリットがあることを記載してほしい	基本方針に将来にわたり京都が発展する好循環の構築の観点を追加しました。 なお、推進施策 1(2)において、観光と伝統産業・伝統文化、農林業、食文化等との連携を強化して、食や朝・夜観光等の情報発信強化、地場産業や商店街等のインバウンド対応の強化を図るほか、観光事業者における域内調達の推進などにより、観光の効果を地域経済へ一層波及させると記載しております。
・アフターコロナは、地域資源を食いつぶさず、地域にお金が回り、市民の所得が増え、結果として市の税収が上がる「賢い観光政策」にしてほしい	基本方針に将来にわたり京都が発展する好循環の構築の観点を追加しました。
・なぜ DMO とのみ連携するのか。他により安価で、より成果の高い仕事ができる団体・企業があっても連携する気がないのではないか	京都観光の振興には、日本版 DMO として国が認定した京都市域で唯一の公益社団法人京都市観光協会（DMO KYOTO）との連携がまずは重要であると考えますが、御指摘のとおり、観光関連業界全体と連携することも不可欠であることから、基本方針において、京都市 DMO はもとより、観光関連業界とも連携していく観点を追加しました。
・安全・安心とあわせて観光と景観を維持してほしい	みんなでめざす 2025 年の姿 1 に景観の観点を追加しました。
・様々な宗教の人が食事できるようなメニューにする ・小さい子どもと一緒に観光しにくい	みんなでめざす 2025 年の姿 2 にあらゆる人が快適に観光できる受入環境の充実の観点を追加しました。なお、推進施策 2 (1) には、快適な受入環境の整備について記載しております。
・外国人だけでなく、日本国民もたくさんみかけるまちになってほしい ・コロナが収束して色々な人が観光客として京都に来れたらいい	みんなでめざす 2025 年の姿 2 にあらゆる人が快適に観光できる受入環境の充実の観点を、推進施策 4 に特定市場に偏らない誘客の多角化の観点を追加しました。

・市民の役割として、「京都の文化発信」や「京都の良さを理解してもらう」という内容を盛り込めないか	市民自身も京都を楽しんでいただく観光客の一員であるという観点のもと、市民と行政の役割分担と共汗における観光客の役割に、京都の魅力を発信することを追加しました。
・京都を訪れる修学旅行生、外国人、観光客だけでなく市民も楽しむことができる施設がほしい ・市民が京都市内を観光することで、京都の良さをを感じる	御意見を踏まえて、推進施策 1(1)に市民が京都の魅力により多く触れる機会づくりに努める観点を追加しました。
・京都の観光モデルなどの商業に力を入れてほしい ・充実した観光政策による波及効果の実現を	推進施策 3 に観光関連ビジネスの活性化の観点を追加しました。

◆ 審議の参考とさせていただいた御意見

御意見の要旨	御意見に対する考え方
・観光客マナーの啓発アニメを制作や啓発動画、穴場スポットの宣伝を行ってはどうか ・モラルのない観光客が不快なので、観光できるエリアを制限したり、舞妓さんにボディガードをつけてはどうか ・観光客による公共交通機関の混雑や一部のマナーの悪い方の行動を改善するため、監視の目を強化し、罰金を厳しく行使してほしい ・外国人観光客が、四条通りなどの狭い道で座ってタバコを吸っていたり、ごみを当たり前のように捨てたりして危ないので国によってのルールの違いは分かるけれど監視の目が必要 ・観光客のマナーに任せるのではなく、ポイ捨てや不法侵入については取り締まりを強化してほしい ・観光客は京都に住むように観光したいと感じているが、中心繁華街にそれがないので住居エリアに侵入している。そのための対策が必要	推進施策 1 (1) において、新たに策定した観光事業者・観光客等が意識・実践すべき行動の基準の普及について記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、市民生活と調和した観光のさらなる推進に向けて検討してまいります。 なお、計画案については、上記の基準を「京都観光行動基準（京都観光モラル）」として、記載を修正いたしました。

・駅周辺に観光客が寄り集まったり、ツアー客の集合場所として使用したりするのをやめてほしい	推進施策 1 (1) において、新たに策定した観光事業者・観光客等が意識・実践すべき行動の基準の普及について記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、市民生活と調和した観光のさらなる推進に向けて検討してまいります。 なお、計画案については、上記の基準を「京都観光行動基準（京都観光モラル）」として、記載を修正いたしました。
・観光客の過剰な呼び入れはやめてほしい ・観光客が多すぎる ・行き過ぎた観光地化をやめてほしい ・外国人観光客の節度ある受入態勢が必要 ・特にインバウンドに依存した観光から脱却すべき ・日本国内からの観光客誘致に注力する。外国、特に、観光公害を招く国からの観光客数は一定の制限を設けてはどうか ・観光客が景観を乱している	推進施策 1 (1) において、新たに策定した観光事業者・観光客等が意識・実践すべき行動の基準の普及をはじめ、時期・時間・場所の分散化の取組等による一部の観光地・市バスにおける混雑緩和、文化や習慣の違いによる外国人観光客のマナー問題への対策の強化等に取り組み、市民生活と調和した観光を強力に推進すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、市民生活と調和した観光のさらなる推進に向けて検討してまいります。 なお、計画案については、上記の基準を「京都観光行動基準（京都観光モラル）」として記載を修正しました。

・もう二度と観光公害は御免。市バスも満員で市民が乗れないような事態は避けるべきで市民専用バスを設けるとか、京都はもっと威厳を持つべき	推進施策 1 (1) において、新たに策定した観光事業者・観光客等が意識・実践すべき行動の基準の普及をはじめ、時期・時間・場所の分散化の取組等による一部の観光地・市バスにおける混雑緩和、文化や習慣の違いによる外国人観光客のマナー問題への対策の強化等に取り組み、市民生活と調和した観光を強力に推進すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、市民生活と調和した観光のさらなる推進に向けて検討してまいります。 なお、計画案については、上記の基準を「京都観光行動基準（京都観光モラル）」として記載を修正しました。
●観光バスと市民が生活で使うバスを分けてほしい ・有名観光地を通る市バス路線を拡充してほしい ・市バス全路線で前払いを取り入れるとともに、観光客用の路線を開拓してはどうか ・コロナ禍以前は観光客の方々が多く、バスや電車等の公共交通機関の混雑が激しかったので、増発等で対応してほしい ・停留所にあまり停まらないバスを増やしてほしい	推進施策 1 (1) において時期・時間・場所の分散化の取組等による一部の観光地・市バスにおける混雑緩和に取り組むと記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、市民生活と調和した観光のさらなる推進に向けて検討してまいります。
●バスの混雑を解消してほしい ・バスの混雑緩和のために歩くきっかけを提供してはどうか ・観光客の方が使われるワンデイパスで一駅でもせっかくだから乗ってしまおうという考えからの混雑もあるかと思う。少しでも歩いてみようという気持ちが生まれる工夫をしてはどうか	推進施策 1 (1) において時期・時間・場所の分散化の取組等による一部の観光地・市バスにおける混雑緩和に取り組むと記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、市民生活と調和した観光のさらなる推進に向けて検討してまいります。

・現在連絡のとれない宿泊施設の外国人オーナーが多すぎる。在日以外の外国人には京都の土地は売らない法的手段を	推進施策 1 (1) において、新たに策定した観光事業者・観光客等が意識・実践すべき行動の基準の普及について記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、市民生活と調和した観光のさらなる推進に向けて検討してまいります。 なお、計画案については、上記の基準を「京都観光行動基準（京都観光モラル）」として、記載を修正いたしました。
・春秋は観光客が多いので、夏冬の集客力を高めるイベントを開催してほしい	推進施策 1 (1) において時期・時間・場所の分散化の取組等による一部の観光地・市バスにおける混雑緩和に取り組むと記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、市民生活と調和した観光のさらなる推進に向けて検討してまいります。
・寺社仏閣等の京都の財産を静かに観光できる環境が必要	推進施策 1 (1) において時期・時間・場所の分散化の取組等による一部の観光地・市バスにおける混雑緩和に取り組むと記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、市民生活と調和した観光のさらなる推進に向けて検討してまいります。
・風紀を乱さない程度に夜も賑わいがあるとよい	推進施策 1 (1) において時期・時間・場所の分散化の取組等による一部の観光地・市バスにおける混雑緩和に取り組むと記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、市民生活の豊かさの向上に向けて検討してまいります。

・府民（市民）は寺社仏閣の入場料等を無料にしてほしい ・京都に住む方々はあまり観光していないことを感じます。市内に住む人のための、寺社仏閣の入園料の年間パスポートを作れば、市内に住む方々も楽しんで行くような気がします。パスポート料は高齢者の市バス定期券くらいでいかがでしょうか ・京都市民のみ、観光スポットへの入場料を割引して欲しい	推進施策 1（1）において、市民が京都の魅力により多く触れる機会づくりに努める観点を新たに記載し、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、市民が京都の良さを実感できる観光に向けて検討してまいります。御提案の内容については、まずは各寺社仏閣等において検討されるべきものと考えます。
・観光にお金を使うのであれば、市民に還元すべき	推進施策 1（2）において、観光事業者の域内調達などを進め、観光の効果を地域経済へ一層波及させることと記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、地域経済の活性化に向けて検討してまいります。
・一定規模以上のホテルに対して、伝統工芸品の活用、伝統文化の支援等をしてほしい	推進施策 1（2）において、観光事業者の域内調達などを進め、観光の効果を地域経済へ一層波及させることと記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、地域経済の活性化に向けて検討してまいります。
・興味深いものが沢山あるので、そこをもっと観光地として府外の人たちに伝えたら、今まで以上に京都は活気ある町になると思う	推進施策 2（1）において、新たな京都観光の魅力の充実、観光資源の磨き上げなど、伝統文化をはじめとする京都の奥深い「ほんまもん」に触れる機会を拡充すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、京都観光の質の向上に向けて検討してまいります。

・「京都市文化めぐりアプリ」を開発し、観光地を巡るスタンプラリー機能を実装して、スタンプ数に応じて割引する仕組みを検討してほしい	推進施策 2 (1) において、新たな京都観光の魅力の充実、観光資源の磨き上げなど、伝統文化をはじめとする京都の奥深い「ほんまもん」に触れる機会を拡充すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、京都観光の質の向上に向けて検討してまいります。
・観光客や地元の人が伝統的なもの(着物など)に触れる機会を、場所やイベントなどを通して作るべき ・京都市の名産等について、海外の人向けだけでなく、もっと日本人（さらには地元の人間）が行きたくなるようにしてほしい ・コンビニに京都らしい物を置いて、観光客が身近に京都を感じられるようにしてほしい ・和菓子の魅力を発信してほしい	推進施策 2 (1) において、新たな京都観光の魅力の充実、観光資源の磨き上げなど、伝統文化をはじめとする京都の奥深い「ほんまもん」に触れる機会を拡充することで、滞在の長期化による宿泊観光を促すとともに、伝統文化や伝統産業の継承につなげると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、京都観光の質の向上に向けて検討してまいります。
・京都市を優雅な観光地にしてほしい ・観光地をつくってほしい ・観光庁が推奨する着地型観光を広めてほしい ・京都版ディズニーランドを作ってほしい	推進施策 2 (1) において、新たな京都観光の魅力の充実、観光資源の磨き上げなど、伝統文化をはじめとする京都の奥深い「ほんまもん」に触れる機会を拡充すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、京都観光の質の向上に向けて検討してまいります。
●フリーWi-Fi が多くなると良い ●フリーWi-Fi の回線が弱く、安全面も不安な面が多いため改善が必要	推進施策 2 (2) において、ICT（情報通信技術）をはじめとした先端技術の活用等による受入環境の整備を一層推進すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、快適な受入環境の整備に向けて検討してまいります。

●外国人向けの看板やポスターなどを増やしてほしい ・海外からの観光客が多いので、地名や番地などに、ふりがなをふっていくようにしてほしい。交差点に東西南北の表示なども増やしてほしい	推進施策 2 (2) において、すべての観光客が快適に京都観光の魅力を堪能し、高い満足を感じ、感動していただけるよう、ユニバーサルツーリズムのさらなる推進や、ICT（情報通信技術）をはじめとした先端技術の活用等による受入環境の整備を一層推進すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、快適な受入環境の整備に向けて検討してまいります。
・京都市内の表示から外国語を一切排除するのが一番。京都アプリをインストールしてもらえば、英語・北京語・台湾語・韓国語・アラビア語・タイ語・・・世界中の国の言葉で情報を提供できる	推進施策 2 (2) において、すべての観光客が快適に京都観光の魅力を堪能し、高い満足を感じ、感動していただけるよう、ユニバーサルツーリズムのさらなる推進や、ICT（情報通信技術）をはじめとした先端技術の活用等による受入環境の整備を一層推進すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、快適な受入環境の整備に向けて検討してまいります。
・お寺などで都度お金を取られるので、1 度で払い終われるようにしてほしい	推進施策 2 (2) において、ICT（情報通信技術）をはじめとした先端技術の活用等による受入環境の整備を一層推進すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、快適な受入環境の整備に向けて検討してまいります。 なお、御提案の内容については、まずは各観光施設等において検討されるべきものと考えます。

・観光地にベンチが少ない	推進施策 2 (2) おいて、すべての観光客が快適に京都観光の魅力を堪能し、高い満足を感じ、感動していただけるよう、ユニバーサルツーリズムのさらなる推進等を図ると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、快適な受入環境の整備に向けて検討してまいります。
・市バスの路線が多くて使いづらいので、観光客が一目で見て分かるようなシステムを作ってほしい	推進施策 2 (2) において、すべての観光客が快適に京都観光の魅力を堪能し、高い満足を感じ、感動していただけるよう、ユニバーサルツーリズムのさらなる推進や、ICT（情報通信技術）をはじめとした先端技術の活用等による受入環境の整備を一層推進すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、快適な受入環境の整備に向けて検討してまいります。
・観光客によるバスの混雑を緩和するため、電車や徒歩といったバス以外の移動手段を、観光客にわかりやすく伝えることで、観光客が電車や徒歩を利用して神社やお寺に行くように変えてはどうか	推進施策 2 (2) において ICT（情報通信技術）をはじめとした先端技術の活用等による受入環境の整備を一層推進すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、快適な受入環境の整備を検討してまいります。
・SNS を利用して飲食店や観光地、ホテル等を情報発信してはどうか ・“和”を取り入れた京都らしい SNS 映えスポットを増やしてはどうか ・京都の観光アプリを普及すべき ・京都の良い所として、昔の建物と現代の技術が結び付けられているものが多い点があげられる。SNS をさらに活用し PR することで観光客の集客が見込めるのではないかな。京都の行事を YouTube で同時に配信するなどすると世界中、日本中の人達に京都の良さを知ってもらえる	推進施策 2 (3) において、京都観光オフィシャルサイトや海外情報拠点を中心に、国内外からの観光客に、エリア別、朝・夜観光、文化体験などのより奥深い京都の魅力を紹介するとともに、マナー情報も発信し、京都観光の満足度を高めていくと記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、国内外への効果的な情報発信を検討してまいります。

・コロナ対策では、観光地の入場制限等で対策してほしい	推進施策 4 において、危機管理体制の強化に努めるとともに、市民と観光客双方にとって安全な環境を整え、安心して京都の魅力を満喫いただける取組を進めると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、安心・安全で持続可能な観光の実現に向けて検討してまいります。
・京都駅構内の分かりやすい案内図や地図がほしい	推進施策 2 (2) において、ICT (情報通信技術) をはじめとした先端技術の活用等による受入環境の整備を一層推進すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、快適な受入環境の整備に向けて検討してまいります。 なお、御提案の内容については、まずは JR 西日本において検討されるべきものと考えます。
・ホテルいらない ・ホテル建設を規制してほしい ・増え過ぎたホテルを住宅に転用してはどうか	京都市では、昨年 11 月に、計画されている宿泊施設も含めると数としては基本的に満たされているとの認識を示し、「市民の安心・安全と地域文化の継承を重要視しない宿泊施設の参入お断り」を宣言し、これに伴う取組として、より一層市民生活との調和を求めるための手続の充実と、安心・安全で利用しやすくより質の高い施設にさせていただくためのバリアフリーのさらなる充実等の取組を進めているところです。
・仁和寺の前にホテルを建設するのは、見苦しいので止めてほしい	当ホテルは民間の企業が民間の土地に計画しているものであり、周辺景観と調和した施設を目指し、検討が進められています。引き続き、京都市において、京都市上質宿泊施設誘致制度や都市計画関係の手続の中で審査を進めているところです。

農林業

◆ 答申案に反映させていただいた御意見

御意見の要旨	御意見に対する考え方
・内水面漁業の取組の記載がないので追加すべき	現状・課題及び推進施策 4 (1) に水産資源や川の恵みの文言を追加しました。

◆ 審議の参考とさせていただいた御意見

御意見の要旨	御意見に対する考え方
・食を支える産業に重点を置き，食糧自給率の向上，地産地消，農業教室，農福連携，里山コミュニティの再建，貸農園等で家庭菜園，学校での食育や生ゴミたい肥作り等で自然の循環を体感出来る教育などと省エネと地域循環型経済を進め，すべての人が自然で安全な食にアクセス出来る事が必要	みんなでめざす 2025 年の姿 3 において，良好な農山村環境や生物多様性を保全することにより，京都の豊かな食文化や伝統産業等が守り伝えられていることや，環境に配慮した農作物の栽培や，福祉，教育，まちづくり等との分野横断的な連携等により，農林業が環境や社会に貢献することをめざすと記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，農林業が環境や社会に貢献するまちづくりに向けて検討してまいります。
・専業農家への助成金を ・林業を復活させてほしい	推進施策 1(1)において，消費者の生活スタイルや需要の変化に対応する付加価値の高い農林産物の生産拡大に向けた支援を行うとともに，農地の集積や森林施業の大規模集約化により，農林業の生産性・収益性を高めるための取組を進めると記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，農業経営の安定と向上に向けて検討してまいります。
・里山にある材料などの資源を活用した地域づくりを進めてほしい	推進施策 1 (1) において，農山村が有する地域資源や空間などを活用したビジネスの創出を促進すると記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，魅力ある農林業の構築に向けて検討してまいります。

・大学等と連携し，中山間地域，主要産業の研究開発を考えるなどしてみては	推進施策 1(1)において，農商工や産学公連携による従来の発想に捉われない新商品開発や 6 次産業化への支援を行うと記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，魅力ある農林業の構築に向けて検討してまいります。
・ビルの屋上に畑を作るなど，もっと自給自足を進めてほしい	推進施策 1(2)において，市内の農林産物を市内で消費し支える地産地消の取組を強化すると記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，地産地消の推進に向けて検討してまいります。
・河川の管理～茅～茅刈り～茅ふき屋根～夏涼しい～景観は里地里山にふさわしい～エネルギー問題～過そ地～年寄の小さな労働～耕作放棄地の活用～林業の活性化にもつながる ・市内の木材の利用がより一層進むよう，取組を進めていただきたい ・近郊の農業を活性化させてほしい ・SGDS 持続可能な森林林業を目指す中，生産～販売～施行までしっかりと管理をしてほしい	推進施策 1(2)において，市民に対して，市内産農林産物の魅力や市内産木材の利用の促進に向けた情報発信を行い，市内の農林産物を市内で消費し支える地産地消の取組を強化するとともに，京都の歴史・風土・文化を生かして市外に向けた付加価値の高い農林産物の販路を拡大することをめざすと記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，地産地消と販路拡大の推進に向けて検討してまいります。
・林業を守り，治水を進めるには，受刑者や留学生を動員して森を取り戻す活動が必要 ・森林組合の人員が少ないので，次の担い手の確保が必要	推進施策 1(3)において，ICT やロボット技術を活用した機械や設備の導入支援など，あらゆる担い手が参入しやすい就労環境の整備により，新規就農者に加え，定年帰農者，企業や障害者福祉施設の参入等，多様な担い手を創出すると記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，産業として魅力ある農林業の構築と担い手の育成に向けて検討してまいります。

・ 建築だけでなく環境，防災に貢献する林業を広めたい	推進施策 2(2)において，森林所有者による適切な森林管理や，自然災害による倒木等の跡地再生等への支援を通じて，災害に強い森づくりを進めると記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，災害や環境変化への高い対応能力を備えた農林業の推進に向けて検討してまいります。
・ 京やさいのさらなる普及を	推進施策 3(2)において，ユネスコ無形文化遺産「和食」，世界文化遺産「古都京都の文化財」をはじめとする京都の伝統文化を支える京野菜や北山杉等の農林産物の生産継承と持続的な供給に加え，ブランド力向上に努めると記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，都市の魅力を高める農業の推進に向けて検討してまいります。
● 学校教育において農林業を体験する機会を増やしてはどうか ・ 木に関心がもてるようなゲームや体験学習をしてほしい	推進施策 4(1)において，学校教育や生涯学習の場を活用し，市民が農産物や川の恵み，木材・森林のもつ心地良さ等に触れ，農林業の魅力や大切さを学び，理解する機会を創出すると記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，農林業を通じた市民の学び・育ちの場の創出に向けて検討してまいります。
・ 都市部と農村部をつなぎ，行き来が増えたらよいと思う	推進施策 4(2)において，多様な指定管理施設の利用を促進し，市民が農業や森林・林業に触れる機会を創出するとともに，農林業を支える市民ボランティアやNPO，企業，社寺との連携を強化すると記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，市民と連携した農地・森林の保全に向けて検討してまいります。

・農林業は農林漁業もしくは農林水産業と書くべきではないか	これまでから農林行政の中で内水面漁業振興を図ってきた政策上の位置付け及び経過等に照らして、総合的に判断し、「農林業」及び「農林産物」という表現に統一しています。
------------------------------	--

大学

◆ 審議の参考とさせていただいた御意見

御意見の要旨	御意見に対する考え方
・学生のまち・京都が好き	今後も、京都市において世界に誇る「大学のまち」、「学生のまち」であり続けられるよう取組を推進してまいります。
・大学の授業の一環で行っている京都の文化を支える取組を広げてほしい	推進施策 1 において、文化芸術都市としての利点を生かした京都ならではのフィールドにおける新たな単位互換科目の開設などについて記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、京都で学ぶ魅力の向上について検討してまいります。
・学生が大学進学の際に他府県に流出しないための魅力的な学びがあってほしい	推進施策 1 において、文化芸術都市としての利点を生かした京都ならではのフィールドにおける新たな単位互換科目の開設などについて記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、京都で学ぶ魅力の向上に向けて検討してまいります。
・学校キャンパスが京都市域外へ流出しないよう総合的な政策を望む	推進施策 1 において、大学施設整備の支援・誘導を行うと記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、京都で学ぶ魅力の向上に向けて検討してまいります。
・大学コンソーシアム京都の授業等の中に「サービ斯拉ーニング」を取り入れ、「施設で働く」ことを学習として実施してはどうか	推進施策 1 において、新たな単位互換科目の開設などについて記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、京都で学ぶ魅力の向上について検討してまいります。

・国立大学運営費交付金を 2004 年の金額まで戻し、研究者の雇用環境を改善してほしい	推進施策 1 において、中小規模大学をはじめとする大学の特色化・機能強化の支援を行うと記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、京都で学ぶ魅力の向上に向けて検討してまいります。
・少しでも、学費を安くしてほしい ・私立高校・大学の学費の無償化など、金銭的不安を抱える学生にも高度な教育環境を少ない負担で提供してほしい ・大学の学費を無償化してほしい	推進施策 1 において、安心して学べる環境の充実について記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、京都で学ぶ魅力の向上に向けて検討してまいります。
・大学の分野では、大学の無償化やコロナ等の異常事態時における生活保障等を実施してほしい。貧困やひとり親家庭など経済的な事情がある高校生向けの支援等も必要である	推進施策 1 において、安心して学べる環境の充実について記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、京都で学ぶ魅力の向上に向けて検討してまいります。
・京都駅付近はスーパーが周りになくて自炊をする学生には不便。民宿の食堂などがあれば一般開放し、安い値段で提供できるような市や府が補助をするとよいと思う	推進施策 1 において、安心して安全に学べる環境の充実について記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、学生への支援に向けて検討してまいります。
・地方出身の学生と住人の交流が増えたらいい	推進施策 3 において、学生の主体的活動の充実に向けた支援を行うこと、また、地域活動への学生の参画の促進等により学びの機会の充実を図ることを記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、大学の枠を超えた学生の活動の推進に向けて検討してまいります。

・学生が移動販売を行い、京都に貢献するということもよいのでは	推進施策 3 において、学生の主体的活動の充実に向けた支援を行うこと、また、地域活動への学生の参画の促進等により学びの機会の充実を図ることを記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、大学の枠を超えた学生の活動の推進に向けて検討してまいります。
・大学の町・京都をアピールするため京都のまちづくりに貢献した大学生を称えて表彰する制度を新設してほしい	推進施策 3 において、学生の主体的活動の充実に向けた支援を行うと記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、大学の枠を超えた学生の活動の推進に向けて検討してまいります。
・大学と京都市の連携では、学生視点で京都市との関わりを持てる機会の増加や、SNSでの京都市の活動を発信などをしてはどうか	推進施策 3 において、学生の主体的活動の充実に向けた支援を行うこと、また、地域活動への学生の参画の促進、学生が京都の文化や魅力とふれあう環境づくり等により学びの機会の充実を図ることを記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、大学の枠を超えた学生の活動の推進に向けて検討してまいります。
・大学生と京都市がかかわりやすいように大学もサポートしてほしい	推進施策 3 において、学生の主体的活動の充実に向けた支援を行うと記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、大学の枠を超えた学生の活動の推進に向けて検討してまいります。

・「大学のまち京都」の維持発展の魅力強化策として、交通・移動・見学等の学生割引又は無料化を促すべき ・例えば学生証の提示で割引があるなど学生へのバックアップがあるとよい	推進施策 3 において、学生の主体的活動の充実に向けた支援を行うこと、また、地域活動への学生の参画の促進、学生が京都の文化や魅力とふれあう環境づくり等により学びの機会の充実を図ることを記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、大学の枠を超えた学生の活動の推進に向けて検討してまいります。
・「大学のまち」、「学生のまち」をめざしていくのであれば、自治体側がもっと干渉していくべきだと思う。コロナによる経済不況の際に学生にもう少し支援をしても良いのではないか	推進施策 3 において、学生の成長と京都のまちの活性化の双方につながるよう、学生の主体的活動の充実に向けた支援を行うと記載しております。なお、新型コロナウイルス感染症により経済的な影響を受けた学生への支援については、全国の学生に関わる重大な課題であるため、国において統一的に対応されることが重要であり、必要な要望を行ってまいります。
・京都の企業が京都の学生を優遇したインターンシップを実施すると京都の企業の魅力を知ることができ、就職も京都でいたいという学生が増えると思う ・京都の学生用に京都の企業のインターンシップ枠を設けるというのは賛成である ・大企業が多いがインターンシップになかなか行くことができないので、京都の大学生が優遇される制度があれば良いのではないか	推進施策 4 において、京都の地域企業と連携したインターンシップの充実やあらゆる機会を活用した地域企業の魅力発信に取り組み、地域企業への就職など京都の将来の担い手の育成・確保を進めると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、学生の社会進出の支援に向けて検討してまいります。

・地域企業と大学生のマッチング機会を増やすとともに、大学生に対する起業意識を植え付ける活動が必要 ・京都の大学・専門学校の就職を京都で出来るような誘導を京都市がバックアップするようにしてほしい	推進施策 4 において、京都の地域企業と連携したインターンシップの充実やあらゆる機会を活用した地域企業の魅力発信に取り組み、地域企業への就職など京都の将来の担い手の育成・確保を進めると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、学生の社会進出の支援に向けて検討してまいります。
・学生が残りたくなるまちに	推進施策 4 において、京都の地域企業と連携したインターンシップの充実やあらゆる機会を活用した地域企業の魅力発信に取り組み、地域企業への就職など京都の将来の担い手の育成・確保を進めると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、学生の社会進出の支援に向けて検討してまいります。
・大学を一般市民に開放して学びの場を提供してはどうか	推進施策 5 において、人生 100 年時代を見据えた、千年の真理や多様性を学べる京都ならではの生涯学習・リカレント教育を推進すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、大学との連携による京都の経済・文化・地域の活性化に向けて検討してまいります。
・大学生を経由して京都の良さを広げることは効率的なことでは	推進施策 6 において、「大学のまち京都・学生のまち京都」の中高生・保護者等への PR や学生による魅力発信を行い、地元京都の高校生を含む、国内外からの多様な学生の呼び込みにつなげると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、国内外への魅力発信の強化に向けて検討してまいります。

・大学が多い＝学生の町，とするのではなく，コンソーシアムなど学生にとってのメリットがあることを発信すべき	推進施策 6 において，「大学のまち京都・学生のまち京都」の中高生・保護者等への PR や学生による魅力発信を行い，地元京都の高校生を含む，国内外からの多様な学生の呼び込みにつなげると記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，国内外への魅力発信の強化に向けて検討してまいります。
・大学の講義について，コロナの新たな感染者がほとんど出なくなるまで，全てオンライン形式にするべき	京都府において，通学，対面授業による教育活動等の再開に当たり，大学等における総合的な感染防止対策を実施するため，大学等の再開に向けた感染症拡大予防のためのガイドラインが策定され，京都市においても学生への周知・徹底をお願いしてきたところです。 なお，推進施策 1 において，安心・安全に学べる環境の充実について記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，大学の機能強化や施設整備に対する支援に向け，検討してまいります。
・学生にも給付金がほしい ・コロナでバイトにあまり入れていないため，給付金がほしい	新型コロナウイルス感染症により経済的な影響を受けた学生への支援については，全国の学生に関わる重大な課題であるため，国において統一的に対応されることが重要であり，国に対して必要な要望を行ってまいります。

国際

◆ 答申案に反映させていただいた御意見

御意見の要旨	御意見に対する考え方
・国際的な人々という表現に対して、違和感がある	国際的な人々を多種多様な人々に修正しました。

◆ 審議の参考とさせていただいた御意見

御意見の要旨	御意見に対する考え方
・もっとグローバルな地域になってほしい	基本方針において、世界中から多種多様な人々を積極的に受け入れ、さまざまな交流を通して新しい価値を創造する世界の都市「KYOTO」をめざすと記載しており、御意見の趣旨に合致するものと考えます。
・京都にしかない魅力を強く押し出してほしい ・京都の良い所として、昔の建物と現代の技術が結び付けられているものが多いという点があげられる。SNSをさらに活用しPRすることで観光客の集客が見込めるのではないか。京都で行われる行事をYouTubeで同時に配信するなどすると、世界中、日本中の人達に京都の良さを知ってもらえる	推進施策 1 において、京都の魅力を広く世界に発信することを記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、世界中の人々が集まるまちづくりの実現に向けて検討してまいります。
・外国の学校と交流できるネットワークを作ってほしい	推進施策 2 において、さまざまな外国籍の人々と市民の交流を増やす等、異文化に対する関心と理解を深めるための学習や交流の機会の充実を図ると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、市民主体の国際交流の推進に向けて検討してまいります。

・国際交流は海外との交流だけではなく、京都市内に住んでいる外国人市民と外国とつながりを持つ市民との交流も含まれていることを明確にしていきたい	推進施策 2 において、さまざまな外国籍の人々と市民の交流を増やす等、異文化に対する関心と理解を深めるための学習や交流の機会の充実を図ると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、市民主体の国際交流の推進に向けて検討してまいります。
・国際文化交流できる場面が少ない	推進施策 2 において、さまざまな外国籍の人々と市民の交流を増やす等、異文化に対する関心と理解を深めるための学習や交流の機会の充実を図ると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、市民主体の国際交流の推進に向けて検討してまいります。
・外国人が生活する上で障害となっている言葉や制度の壁などを減らし、住みやすい環境整備を行うことも必要ではないか	推進施策 3 において、多言語による情報提供・相談事業などのコミュニケーション支援、文化・言語の相違に配慮した福祉・保健・医療、防災対策等の生活支援の取組を行うと記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、異なる文化的背景等の多様性が活かされるまちづくりに向けて検討してまいります。
・まちづくりに関する情報もぜひ多言語や、やさしい日本語で発信してほしい ・対応言語が少ない	推進施策 3 において、多言語による情報提供・相談事業などのコミュニケーション支援、文化・言語の相違に配慮した福祉・保健・医療、防災対策等の生活支援の取組を行うと記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、異なる文化的背景等の多様性が活かされるまちづくりに向けて検討してまいります。

・住民登録の際など、日本語ができる市民と同じような情報を、多言語ややさしい日本語で対応してほしい。日本語が十分にできない新しい市民用の多言語ウェルカムパックを用意してほしい。また、行政には、支援団体や当事者団体とのつながりを強くしていただきたい	推進施策 3 において、多言語による情報提供・相談事業などのコミュニケーション支援、文化・言語の相違に配慮した福祉・保健・医療、防災対策等の生活支援の取組を行うと記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、異なる文化的背景等の多様性が活かされるまちづくりに向けて検討してまいります。
・外国にルーツを持つ人が日本語教育を受けることができる場所が限られているのでニーズを把握してほしい	推進施策 3 において、コミュニケーション支援や生活支援、多文化を尊重する意識啓発や交流等を実施することを記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、異なる文化的背景や考え方、価値観等の多様性を生かしたまちづくりの推進に向けて検討してまいります。
・政策分野の題名を「国際・多文化共生」という題名へ変えていただきたい	政策の体系は市全体の総合的な政策体系を示すものであり、対外的な分かりやすさとともに、行政としての使いやすさを両立するため、各部局の分野別計画の基本となるよう、一定、京都市の行政組織をベースにしたものとしています。

子ども・若者支援

◆ 審議の参考とさせていただいた御意見

御意見の要旨	御意見に対する考え方
・子どもたちが生き生きと成長できる京都であってほしい	みんなでめざす 2025 年の姿 2 において、若者が多様な可能性の下、主体的に未来を切り拓いていくことができるまちをめざすと記載しており、御意見の趣旨に合致すると考えます。

・出産への選択肢を広げてほしい。日本古来からの産婆技術は、守られるべき伝統であり、全国の模範となってこの技術を守り、新たな助産師に受け継ぐ手助けに取り組んでほしい	推進施策 1(1)において、子どもが健やかに成長できるよう、妊娠期からきめ細かく、切れ目のない支援を行うと記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、安心して妊娠・出産・子育てできる環境づくりに向けて検討してまいります。
・子どもに対する施設の充実として、守山市のように子どもクリニックや小児科に対するバックアップをすべき	推進施策 1(1)において、医療機関をはじめとした関係機関と連携を図りながら、母親が安心して妊娠・出産し、子どものいのちを大切に育めるよう、また、子どもが健やかに成長できるよう、妊娠期からきめ細かく、切れ目のない支援を行うと記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、安心して子育てできる環境づくりに向けて検討してまいります。
・学童う歯対策事業の現状維持かさらなる充実を希望する	推進施策 1(1)において、医療機関をはじめとした関係機関と連携を図りながら、子どものいのちを大切に育めるよう、また、子どもが健やかに成長できるよう、妊娠期からきめ細かく、切れ目のない支援を行うと記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、安心して子育てできる環境づくりに向けて検討してまいります。
・子どもが出来ない最大の理由は、教育費。教育費の心配が無いように補填すれば子どもは増えると思うので、就学児童、未就学児童のいる家庭に対して手当を支給するなどの支援をすべき	推進施策 1(1)において、子どもが健やかに成長できるよう、妊娠期からきめ細かく、切れ目のない支援を行うと記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、安心して妊娠・出産・子育てできる環境づくりに向けて検討してまいります。

・子育て支援医療助成制度について、子どもを持つ家庭の半数が子どもの医療費，薬代に負担を感じているとのことであり，もっと負担を減らしてほしい ・子ども医療費が高いので月の上限を 500 円にしてほしい ・15 歳未満の子どもたちへの治療費や入院費用を免除してほしい ・高校生からも医療費を助成してほしい	推進施策 1(1)において，医療機関をはじめとした関係機関と連携を図りながら，子どものいのちを大切に育めるよう，また，子どもが健やかに成長できるよう，妊娠期からきめ細かく，切れ目のない支援を行うと記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，安心して子育てできる環境づくりに向けて検討してまいります。
・産前産後のママを支える仕組み作りを進めてほしい。産前産後ケア提供者とママをつなぐ仕組みを作り社会で子育てを支えていく機運を作りたい	推進施策 1(1)，3(1)において，医療機関をはじめとした関係機関と連携を図りながら，母親が安心して妊娠・出産し，子どものいのちを大切に育めるよう，また，子どもが健やかに成長できるよう，相談支援や家庭訪問等を展開する等，妊娠期からきめ細かく，切れ目のない支援を行うこと，「子どもを共に育む京都市民憲章」の理念の下，子ども・若者を社会の宝として社会全体で大切に育む「はぐくみ文化」をさらに普及・深化させることを記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，安心して妊娠・出産・子育てできる環境づくりに向けて検討してまいります。
・保育時間，曜日(夜間，休日)を充実してほしい	推進施策 1(2)において，多様な子育て支援事業や保育の担い手確保など，幼児教育・保育の質と量の両面において充実を図ると記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，質の高い幼児教育・保育の提供に向けて検討してまいります。

・子どもを産んでも働けるよう保育の保障をお願いしたい	推進施策 1(2)において、多様な子育て支援事業や保育の担い手確保など、幼児教育・保育の質と量の両面において充実を図ると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、質の高い幼児教育・保育の提供に向けて検討してまいります。
・安全に保育を行うために保育士を増やしてほしい ・保育士(正規)を増やし、一人一人を丁寧にみられるようにしてほしい ・もっと保育士の数を増やすとともに、保育士の手当てや給料を増やしてほしい	推進施策 1(2)において、多様な子育て支援事業や保育の担い手確保など、幼児教育・保育の質と量の両面において充実を図ると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、質の高い幼児教育・保育の提供に向けて検討してまいります。
・どの子どもも同じように保育を受けられ、保護者が安心して預けられる福祉施設になるよう、子ども一人あたりの面積や保育士の数、保育士の処遇改善も含めて、保育制度の改善を検討していただきたい	推進施策 1(2)において、多様な子育て支援事業や保育の担い手確保など、幼児教育・保育の質と量の両面において充実を図ると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、質の高い幼児教育・保育の提供に向けて検討してまいります。
・保育士の配置基準の見直し、少人数クラスを実現してほしい。医療・福祉・教育分野は、もうかる分野ではないので、自治体が責任をもって守ってほしい	推進施策 1(2)において、多様な子育て支援事業や保育の担い手確保など、幼児教育・保育の質と量の両面において充実を図ると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、質の高い幼児教育・保育の提供に向けて検討してまいります。
・子育て世代への経済的な支援はまったく不十分であり、保育園の環境整備、保育士の待遇改善など、必要な施策を遅滞なく進めてもらいたい。	推進施策 1(2)において、多様な子育て支援事業や保育の担い手確保など、幼児教育・保育の質と量の両面において充実を図ると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、質の高い幼児教育・保育の提供に向けて検討してまいります。

・認定保育ママ制度を整えてほしい	推進施策 1(2)において、多様な子育て支援事業や保育の担い手確保など、幼児教育・保育の質と量の両面において充実を図ると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、質の高い幼児教育・保育の提供に向けて検討してまいります。
・人口減少が見込まれ、出産率が低いことに対する対策が無いように思います。第一子目にかかる保育料を減らし、第2子を産める環境にある家庭をサポートする必要がある	推進施策 1(2)において、多様な子育て支援事業や保育の担い手確保など、幼児教育・保育の質と量の両面において充実を図ると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、質の高い幼児教育・保育の提供に向けて検討してまいります。
・保育所待機児童の完全ゼロ化を実現してほしい	推進施策 1(2)において、多様な子育て支援事業や保育の担い手確保など、幼児教育・保育の質と量の両面において充実を図ると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、質の高い幼児教育・保育の提供に向けて検討してまいります。
・公立保育所の民間委託はやめてほしい	推進施策 1(2)において、多様な子育て支援事業や保育の担い手確保など、幼児教育・保育の質と量の両面において充実を図ると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、質の高い幼児教育・保育の提供に向けて検討してまいります。
・小学校区ごとに保育所・児童館を設置してほしい	推進施策 1(2)、1(3)において、幼児教育・保育の質と量の両面において充実を図ること、児童館などの居場所機能の確保・充実を図ることを記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、子どもが大切に育まれ、希望をもって育ち合うことができるまちづくりに向けて検討してまいります。

●子どもが遊べる場所がもっとたくさんあると良い ・室内の赤ちゃんが遊べる場所は、とても少ない。赤ちゃんと安心して遊びにいける場所をぜひつくってほしい	推進施策 1(3)において、身近な地域における親子が利用できる居場所機能の確保・充実を図っていくと記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化することで、子どもが大切に育まれ、希望をもって育ち合うことができるまちづくりに向けて検討してまいります。
・学童施設を充実してほしい。子どもにとって健康で文化的空間になるよう充実させてほしい	推進施策 1(3)において、児童館や青少年活動センターなどをはじめ、子ども・若者が気軽に相談でき、安心して過ごせる居場所機能の確保・充実を図ると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化することで、子ども・若者への支援に向けて検討してまいります。
・スポーツができる京都青少年活動センターを増やしてほしい	推進施策 1(3)において、青少年活動センターなどをはじめ、子ども・若者が気軽に相談でき、安心して過ごせる居場所機能の確保・充実を図ると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化することで、子ども・若者への支援に向けて検討してまいります。
・若者支援や居場所づくりを行っている団体や施設がない区域にも支援活動が可能な施設を置くことがより多くの支援につながるのではないかと	推進施策 1(3)において、関係機関との連携の下、児童館や青少年活動センターなどをはじめ、子ども・若者が気軽に相談でき、安心して過ごせる居場所機能の確保・充実を図ることを記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化することで、子育て家庭や子ども・若者の孤立防止に向けて検討してまいります。

・居場所も含め、もっと全体で子どもを育てる意識を、施策に反映させるべき	推進施策 1(3), 3(1)において、子ども・若者が気軽に相談でき、安心して過ごせる居場所機能の確保・充実を図っていくこと、「子どもを共に育む京都市民憲章」の理念の下、子ども・若者を社会の宝として社会全体で大切に育む「はぐくみ文化」をさらに普及・深化させることを記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、京都ならではの「はぐくみ文化」が息づくまちづくりに向けて検討してまいります。
・子ども達を虐待から守るために、もっと行政に権限を持たせて強制的に保護することが必要	推進施策 2(2)において、地域との密接な連携の下、児童虐待の根絶に向けた取組を推進すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、「子どもの最善の利益」を実現するため、児童虐待等への対策に向けて検討してまいります。
・難病を抱える子どもたちへの対策を充実してほしい	推進施策 2(3)において、障害や疾病等で支援が必要な子どもが特性や状況に応じた適切な支援を受けられるよう、関係機関との連携を図りながら、身近な地域で必要な支援等を利用できるしくみづくりや、子どもの成長に応じた相談と適切な施策や教育が受けられる体制づくりを推進すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、支援が必要な子どもやその保護者への支援に向けて検討してまいります。

・病気や障害を持つ子どもたち，その親たち向けのイベントを開催してはどうか	推進施策 2(3)において，障害や疾病等で支援が必要な子どもの保護者が気軽に相談できるよう，関係機関との連携を図りながら，身近な地域で必要な支援等を利用できるしくみづくりや，子どもの成長に応じた相談と適切な施策や教育が受けられる体制づくりを推進すると記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，支援が必要な子どもやその保護者への支援に向けて検討してまいります。
・小さな子にやさしく	推進施策 3(1)において，「子どもを共に育む京都市民憲章」の理念の下，子ども・若者を社会の宝として社会全体で大切に育む「はぐくみ文化」をさらに普及・深化させると記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，京都ならではの「はぐくみ文化」が息づくまちづくりに向けて検討してまいります。
・「子どもを共に育む京都市民憲章」について，政策分野 12 子ども・若者支援に位置づけた方がよいのではないか	推進施策 3(1)において，「子どもを共に育む京都市民憲章」の理念の下，子ども・若者を社会の宝として社会全体で大切に育む「はぐくみ文化」をさらに普及・深化させることを記載しており，御意見の趣旨に合致するものと考えます。
・学校教育だけでなく，施策として，インターナショナルスクールや通信制学校の子どもたちも含めた中高生をどう京都市のまちづくりにつなげるか，検討すべき	推進施策 3(2)において，子ども・若者が地域社会のなかで，社会を形成する主体として，試行錯誤を繰り返しながらみずからの力を伸ばしていけるよう，地域活動や社会体験などの社会とつながる機会の提供を通じて，やりがいや楽しさを実感してもらい，子ども・若者の自己成長を促進すると記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，京都ならではの「はぐくみ文化」が息づくまちづくりに向けて検討してまいります。

・信用できる人に保育所の迎えを頼んだり、預かってもらったりしてもらおうなど、地域で子どもを育てていくための制度を作ってほしい	推進施策 3(3)において、市民ぐるみ・地域ぐるみによる地域の見守り活動や、子どもの通学路や移動路の安心・安全の確保等、子ども・若者とその家庭を支援する取組を社会全体で引き続き推進すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、社会全体で子ども・若者を支援するネットワークの強化に向けて検討してまいります。
--	---

障害者福祉

◆ 審議の参考とさせていただいた御意見

御意見の要旨	御意見に対する考え方
・障害者福祉のキャッチフレーズに全ての人が違いを認め合いとあるが違いという表現がすごく差別的で嫌悪感を覚える。違うのではなくみんな一緒だということが大事なのではないか	「はぐくみ支え合うまち・京都ほほえみプラン」において、共生社会の実現に向け、現行計画を踏襲し、一層の定着・深化を進めるため「障害のあるひともないひと、すべてのひとが違いを認め合い、支え合うまちづくりを推進する」を基本方針として掲げており、これを踏襲しております。
・障害のある人、グループホームにいる人がどんな人か、地域の人にもっと知ってもらえる環境づくりを	推進施策 1(1)において、障害や障害のある人に対する正しい理解と認識を深め、すべての市民がお互いに個人の尊厳を重んじる意識の向上を図ることができるよう、学校教育や障害者週間等のさまざまな機会を利用した啓発や広報活動、学習機会の充実を図ると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、個人の尊厳を重んじる市民意識の向上に向けて検討してまいります。

・施設における虐待防止のために、施設職員の倫理の徹底や、事業所の管理・監督体制の十分な指導を実施してほしい	推進施策 1(1)において、障害のある人の正当な権利や尊厳が守られ、すべての人を包み込むまちづくりを推進していくために、行政と関係機関、団体の適切な役割分担の下で、障害者虐待の防止等に取り組んでいくと記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、個人の尊厳を重んじる市民意識の向上と権利擁護の推進に向けて検討してまいります。
・障害のある人本人や家族が速やかに身近に必要な相談が可能となる体制にしていきたい	推進施策 1(2)において、障害のある人が地域で自立した生活を営むことができるよう、総合的かつ専門性が確保された相談体制の充実を図ると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、相談支援の推進に向けて検討してまいります。
・ガイドヘルパーなどの資格を取れる研修があるが、行われる回数が少ないように思う。専門として学べる大学（専門学校を含む）全てで行うべきだと思う	推進施策 2 において、ヘルパー派遣等の在宅生活を支援する障害福祉サービスの拡充について記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、地域で自立して生活できるしくみづくりに向けて検討してまいります。

・グループホーム等の福祉施設を増やしてほしい ・障害のある人の暮らしの場として、グループホームの建設を後押ししてほしい。空き家や公営住宅（URを含む）を積極的に活用する施策を展開してほしい ・施設コンフリクトに行政としてより積極的な介入・対応をして課題解決を図ってほしい ・支援学校を卒業後、通所施設に通いながら独り立ちするに当たり、医療と専門的な知識を持つ相談員と場所の提供や、重度の障害があっても地域で穏やかで居心地の良い生活を送り、生涯を迎えられるグループホームの提供をお願いしたい ・生活介護事業所を市内に設置しようとする と土地と建物確保の困難性など、費用面だけではない課題が挙がる。市内中心部など はいつまでも必要な事業所を設置することができない	推進施策 2 において、グループホーム等の居住の場及び日中に通所して活動できる場の確保に取り組むことを記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、地域で自立して生活できるしくみづくりに向けて検討してまいります。
・障害のある人の親が、高齢化してもなお介護の担い手となっている現状を少しでも軽減する視点を持ち、施策に反映させてほしい ・総合支援学校卒業後の支援の流れを作してほしい。一人暮らしをしていくうえで、お金の管理が難しいと感じているため、気軽に相談できるような施設を作してほしい。一人暮らしのハードルは高いので、まずは、グループホームに行き、その後、家を探すという流れができればありがたい。また、グループホームの数をもっと増やしてほしい	推進施策 2 において、ヘルパー派遣等の在宅生活を支援する障害福祉サービスの拡充やグループホーム等の居住の場及び日中に通所して活動できる場の確保に取り組むことを記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、地域で自立して生活できるしくみづくりに向けて検討してまいります。

・重い障害のある人や医療的ケアの人に対応できるショートステイの充実など、緊急時の対応を確実にしてほしい	推進施策 2 において、安心して地域でくらすため、重症心身障害や強度行動障害のある人、医療的ケアが必要な人等への支援をはじめ、多様なニーズにきめ細かに対応できる障害福祉サービス等の充実を図ることを記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、地域で自立して生活できるしくみづくりに向けて検討してまいります。
・障害のある人がどう暮らすかを自らの意思のもとで選び取れることを保障するとともに、その暮らし方を全面的にバックアップするための施策を推進してほしい	推進施策 2, 3 において、障害のある人が地域で自立して生活できるしくみづくりや生きがいをもてるまちづくりについて記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、障害のある人もない人も、すべての人が尊重し合い、地域社会のなかで、お互いに認め合い、支え合い安心してくらするまちづくりに向けて検討してまいります。
・総合支援学校の卒業生の進路先確保が喫緊の課題である ・総合支援学校で提供される就業先情報に自分が働きたいと思えるものがない ・総合支援学校の生徒と企業とのマッチング、インターンの受入等を実施してほしい ・障害のある人が独立採算で生活できるよう、特に発達障害に対しては「支援」の枠に閉じ込めない体制が急務 ・今後、障害のある人もない人も、同じ職場で働くことが当たり前になる社会を見据え、多くの事業所の理解を進めるための研修や啓発活動、障害のある人が働きやすくなるための休憩室や多目的トイレの設置のための助成制度が必要	推進施策 3(2)において、障害のある人が自己の職業能力を発揮でき、多様な働き方を選択できるよう、ライフステージに合わせた切れ目のない支援が提供できる環境を整備するとともに、障害のある人がもつ就労における障害特性等に対する理解や合理的配慮に留意しつつ、ともに働くことが社会に普及し、定着するように、企業に対して理解の促進を図ると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、障害のある人の就労支援の推進に向けて検討してまいります。

・バリアフリーな駅を作ってほしい ・バリアフリー化していない建物が多いので、改善していくべき ・ベビーカー、車いすでの移動が楽になるようにしてほしい ・多機能トイレにユニバーサルベッドを義務付けてほしい	推進施策 4(1)において、多くの人が利用する建築物等を整備する際には、すべての人にとって安心かつ安全で利用しやすくすると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、障害のある人が安心して生活できる社会環境の整備に向けて検討してまいります。
・障害のある人の医療を担うセンター的機能をもつ病院を京都市内に設置するとともに、障害のある市民が利用出来る医療機関を地域の中に増やしてほしい。	推進施策 4 (2) において、障害に対する適切な保健医療の充実について記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、障害のある人が安心して生活できる社会環境の整備に向けて検討してまいります。

地域福祉

◆ 審議の参考とさせていただいた御意見

御意見の要旨	御意見に対する考え方
・災害が起こったときに福祉施設が対応できるよう、人員配置を良くするほか、自家発電設備を配置してはどうか	推進施策 1(3)において、運営訓練の実施等により、福祉避難所の円滑な運営の確保に取り組むとともに、地域における見守り活動の促進、重度障害者等の個別避難計画の作成等を通じて、災害時の要配慮者の視点に立った取組の充実を図り、要配慮者を含めた市民のいのちとくらしを守る取組を進めると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、災害時の要配慮者への支援の充実に向けて検討してまいります。

・ひきこもりの人への支援に当たっては、個々に寄り添ったカウンセリングに重点を置いてほしい ・区役所でもひきこもりなどについて気軽に相談できるようにし、当事者とその家族を支援する必要がある ・ひきこもりの人の居場所づくりやカウンセリングなどのサポートを行うに当たっては、まずはハードルを下げたあげることが重要。具体的にはデジタル要素を使った方法や参加方法の簡略化が必要 ・デジタルツールを導入したひきこもりの人への支援方法を検討してほしい ・ひきこもり支援を担う団体や担当者が変わると相談しづらくなる可能性があるので、支援情報の引継ぎが課題	推進施策 2(1)において、ひきこもり等の課題を抱える世帯への支援に当たっては、当事者やその家族に寄り添った、切れ目のない支援に取り組むと記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、地域生活における多様な課題への対応の推進に向けて検討してまいります。
・ひきこもりの人が長期インターンをいくつも経験できるような仕組みが必要である	推進施策 2(1)において、ひきこもり状態にある人の就業への支援に取り組むと記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、地域生活における多様な課題への対応の推進に向けて検討してまいります。
・ひきこもり支援施設について年齢制限を設けているのはいかなものか。対象者が不安を感じ、相談を敬遠してしまうのではない	京都市では、これまで年齢によって 2 箇所に分かれていた窓口を再編し、令和 2 年 9 月 1 日から、全年齢型の窓口を設置するなど、年齢を問わず誰もが相談しやすい支援体制を運用しています。
・刑期を終え、罪を反省し、更生しようとする人を受け入れることに協力する事業所の雇用主と当事者の支援のほか、市民からの差別をなくすことも必要	推進施策 2(1)において、犯罪をし、罪を償った人等が、地域社会において孤立することなく、市民と地域の理解と協力を得て、再び社会を構成する一員として円滑に復帰することができるよう、犯罪に戻らない、犯罪に戻さない取組を推進すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、地域生活における多様な課題への対応の推進に向けて検討してまいります。

・ホームレスの人に施設を作ってあげるべき	推進施策 2(2)において、必要な人に必要な保護を実施することを基本として、しっかりとセーフティネットを構築し、市民生活を守っていくと記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、生活困窮者等の自立支援の促進に向けて検討してまいります。
--	--

健康長寿

◆ 審議の参考とさせていただいた御意見

御意見の要旨	御意見に対する考え方
・みんなでめざす 2025 年の姿 1 に「市民が主役となり」とあるが、「主権者である市民が」とすべきではないか	自身の健康づくりについては、行政主導により取り組むものではなく、市民が主体的に取り組むものです。これを的確に表す言葉として「主役」としております。
・誰もが自分自身のお口でしっかりと食事ができ、健康で栄養豊かで笑顔のある食生活を送る内容を盛り込んでほしい	みんなでめざす 2025 年の姿 2 において、口腔機能の向上等の介護予防の取組や、社会参加を通じて元気な高齢者が増加していると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、高齢者が元気に社会に参加し、働き手やさまざまな地域活動の担い手として活躍している社会に向けて検討してまいります。
・脱たばこ社会に向けて、禁煙推進、受動喫煙防止に力を入れてほしい ・コンビニ等の敷地内の喫煙所について、灰皿が設置されているだけで、受動喫煙対策ができていないので、改善してほしい	推進施策 1(1)において、あらゆる場面での受動喫煙防止対策を徹底すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、市民の健康づくりを支える環境づくりの推進に向けて検討してまいります。

・人生 100 年を見据えた口腔機能維持づくりの推進を盛り込んでほしい	推進施策 1(2)において、生涯にわたって、しっかりと噛んで食べ、健やかで心豊かに笑顔で過ごすことができるよう、歯と口の健康づくりの取組を推進すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、生涯を通じた歯と口の健康づくりの推進に向けて検討してまいります。
・京都市では歯周病重症化対策を行っているが、これは糖尿病の重症化を予防し、透析患者を減少させるためには非常に有効。もっと積極的に行えば、健康づくりに直結するのではないか。歯周病健診受診率の向上をお願いしたい	推進施策 1(2)において、生涯にわたって、しっかりと噛んで食べ、健やかで心豊かに笑顔で過ごすことができるよう、歯と口の健康づくりの取組を推進すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、生涯を通じた歯と口の健康づくりの推進に向けて検討してまいります。
・歯医者さんの料金を高校生まで無料にしてほしい	推進施策 1(2)において、胎児期（妊娠期）から高齢期までのライフステージや配慮が必要な人の特性に応じた歯と口の健康づくりの取組を推進すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、生涯を通じた歯と口の健康づくりの推進に向けて検討してまいります。
・高齢者が多くなるので、孤立せずイキイキ生活できるよう、交流の場を多く作ってほしい ・認知症予防として、生きがいをもつ仕組みや場づくりが必要	推進施策 2(2)において、高齢者が、地域活動、文化芸術活動、スポーツ、レクリエーション等を通じて、いつまでも健康で生きがいをもって過ごしていただけるよう、地域の身近な居場所づくりや、すこやかクラブ京都（京都市老人クラブ連合会）で取り組んでいるボランティア活動の推進など、高齢者の多様な社会参加の促進に向けた取組を進めると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、高齢者の社会参加の促進に向けて検討してまいります。

・高齢者が元気に社会参加し、活躍するためにも高齢乗車証の改悪はやめるべき ・高齢者が社会に参加し、地域活動等の担い手として活躍できる環境の構築に当たり、敬老乗車証は廃止しないでほしい ・敬老乗車証を IC 化し、金額制限つきで市内全ての公共交通に適用させ、節度ある流動を ・敬老乗車証は IC 化で利用実態をガラス張りにしたうえで、金額制限と市内全電車バス適用を行い、免許返納促進も目指してほしい	推進施策 2(2)において、高齢者の多様な社会参加の促進に向けた取組を進めると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、高齢者の社会参加の促進及び働き手や地域活動の担い手として活躍できる社会の構築に向けて検討してまいります。
・地域包括ケアとして、ケアマネージャーを中心に医師・看護師・薬剤師・ヘルパー等がチームとして機能しつつあるがまだまだ不十分。京都市を中心に各医療従事者の縦・横の連携を強化するため、定期的な連絡会議や勉強会の実施、人員の確保・育成と、これらに伴う各団体への支援・補助を含めた京都市の予算確保が緊急の課題	推進施策 3(2)において、地域ケア会議の開催を通じて、高齢者支援の個別ケースについて検討を行うことを起点として、医療や介護をはじめとする多職種の専門職や関係機関とのネットワークの構築を図り、地域課題を共有し、地域における支援体制の充実を図ること、医療と介護の両方を必要とする高齢者が住み慣れた地域でその人らしい生活を続けるための円滑な支援を実施できるよう、在宅医療・介護関係者の連携支援に取り組むことを記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、切れ目ない医療・介護・生活支援サービスの提供体制の強化に向けて検討してまいります。
・介護職員の立場や労働条件の改善、通所・在宅での介護技術の向上を図ることが、利用者の生活の質の向上につながる ・福祉・介護で働く人の報酬増を図り、人材が確保しやすいようにしてほしい	推進施策 3(3)において、国と連携した介護職員の処遇改善や、担い手確保について記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、介護サービス等の充実に向けて検討してまいります。

・高齢者向け施設が圧倒的に不足しているので増加が必要	推進施策 3(3)において、在宅での生活が困難になった要介護者を支える施設・居住系サービスの充実など、必要な介護サービスの供給量の確保を行うと記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、介護サービス等の充実に向けて検討してまいります。
・要介護 1・2 の利用者を介護サービスから切り離すのではなく、必要に応じた支援を行うことが介護予防につながり、健康長寿のまちづくりが実現する	推進施策 3(2)において、地域ケア会議の開催を通じて、高齢者支援の個別ケースについて検討を行うことを起点として、医療や介護をはじめとする多職種の専門職や関係機関とのネットワークの構築を図り、地域課題を共有し、地域における支援体制の充実を図ると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、地域包括ケアシステムの深化・推進に向けて検討してまいります。
・高齢者の医療負担を増やさないといけない状態だと思います ・医療費負担の増加に対し、全員 3 割負担（所得により 4 割負担）とする	医療費などの社会福祉関連経費の増加は京都市の厳しい財政の一因であり、このことを踏まえた持続可能な行財政の確立が必要と考えております。一方、御提案の後期高齢者医療制度における自己負担の割合については、高齢者の医療の確保に関する法律において定められており、国において検討されるべきものと考えます。

保健衛生・医療

◆ 答申案に反映させていただいた御意見

御意見の要旨	御意見に対する考え方
・人と動物の共生社会の実現に向け、飼い主の取組だけでは無く、不適切な繁殖や販売も視野に入れた施策の立案を希望する	推進施策 4 に動物取扱事業者の社会的責任の徹底の観点を追加しました。

◆ 審議の参考とさせていただいた御意見

御意見の要旨	御意見に対する考え方
・グローバル時代に対応できる保健体制を充実してほしい	推進施策 1(2)において、切れ目なく過不足もない医療サービスの提供体制の確保を図ることや医療サービスの質の向上に取り組むことを記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、医療サービスの充実に向けて検討してまいります。
・緊急時（コロナ、消防、病院など）の多言語サポートがまだ不十分だと思う	推進施策 1 (2), 2 において、あらゆる医療ニーズに対応し、誰もが安心して受けられる質の高い医療サービスを提供すること、健康危機事案に対する総合的な対応力の強化を進めることを記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で健康危機管理の推進に向けて検討してまいります。
・寝台列車や観光バスをコロナ用の病室として移動させ、大阪市等の病室不足等に充ててはどうか	推進施策 2 において、市内の医療機関等と連携を図り、必要な検査体制の確保、医療体制の充実のほか、医療物資・機材の確保や備蓄など、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努めると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、健康危機管理の推進に向けて検討してまいります。
・コロナに対し、市民が自然免疫を高める活動を ・コロナに対し、各人が行える最も有効な手当が忘れられている ・コロナを乗り越えられるよう、手洗い、マスク、うがい等に加え、各々の自然免疫力を高めることが大切	推進施策 2 において、市民みずからが健康危機事案に対応できる知識を身につけられるよう、市民や関係団体に対して、健康危機事案の発生状況や予防対策について、迅速かつ適切な情報発信を行うと記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、健康危機管理の推進に向けて検討してまいります。

・新型コロナ対策として抗菌加工をしていることなどをお知らせしては	推進施策 2 において、健康危機事業への予防対策について適切な情報発信を行うと記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、健康危機管理の推進に向けて検討してまいります。
・銭湯の普及を進めてほしい	推進施策 3(2)において、公衆浴場等の市民生活に密着した生活衛生業施設における衛生的なサービスの提供とその利用を促進すると記載しており、御意見の趣旨に合致するものと考えます。
・旅行者の追跡ができていない民泊はやめて、対面で管理ができる旅館、ホテルにしてほしい	推進施策 3(2)において、違法民泊に対してはその根絶に向けた取組を進めることや、市民の生活環境に十分配慮した宿泊施設の適正な運営の確保を図ることを記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、市民の生活環境を守るための衛生対策の推進に向けて取り組んでまいります。
・中京区に野良ネコが多いので、対策を講じてほしい ・公園の砂場（特に竹間）で、ふん尿の臭いがする	推進施策 4 において、動物への思いやりや正しいかかわり方など動物愛護意識の向上とともに、動物がそのいのちを終えるまで適切に飼育管理するための普及啓発を行い、不適切な動物の取扱いに起因する人への迷惑行為の防止や生活環境の保全を図ると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、人と動物との共生社会の推進に向けて検討してまいります。
・ペットの散歩時間、場所を統一してほしい	京都市においては、動物と関わる方のマナー意識を向上させるため、これまでから地域ぐるみでの啓発活動等に取り組んでおります。今後、京都市において基本計画を具体化する中で、人と動物との共生社会の推進に向けて検討してまいります。

・動物の殺処分 0 のため、生体販売を禁止する ・人口過密都市での犬との共生には犬税（月 1,000 円程度）の形で応分の負担をすることもやむを得ないのではないか ・公園にガリガリに痩せた猫がいて、エサをあげることもできないので、動物愛護支援施設などをつくり、助けてほしい	今後、京都市において基本計画を具体化の中で、人と動物との共生社会の推進に向けて検討してまいります。
--	--

学校教育

◆ 答申案に反映させていただいた御意見

御意見の要旨	御意見に対する考え方
・総合支援学校の生徒と企業とのマッチング・インターンの受入等を実施してほしい ・総合支援学校の卒業生の進路先確保が喫緊の課題である ・総合支援学校で提供される就業先情報に自分が働きたいと思えるものがない	推進施策 2（5）に一人一人に応じたきめ細やかな教育の推進や卒業後の進路先の確保に必要な指導支援，教育環境の充実を図ることを追加しました。

◆ 審議の参考とさせていただいた御意見

御意見の要旨	御意見に対する考え方
学校から京都市会を見に行く機会がほしい	京都市議会において、子ども議場見学が行われていますので、見学を希望される場合は学校に御相談ください。

・観光をメインにした、日本の文化首都を目指し、その担い手なる子ども、若者の教育、育成を中心にした行政を希望する	みんなでめざす 2025 年の姿 2 において、京都ならではの伝統文化教育や環境教育、食育、生き方探究教育、健康教育、ICT 教育、英語教育等、京都の文化力・市民力等を最大限に生かした学びを通して、子どもたちが伝統と文化の本質を学びとり、変化の激しい環境のなかでも、多様な他者と協働し、社会的課題の解決に寄与するなど、持続可能な社会の担い手としてあらゆる場面で活躍しているまちをめざすと記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、持続可能な社会の担い手の育成に向けて検討してまいります。
・2025 年のめざすべき姿には「AI や ICT などの技術を高度に活用できる人材を育てる」という項目を加えるべき	みんなでめざす 2025 年の姿 2 において、ICT 教育等、京都の文化力・市民力等を最大限に生かした学びを通して、多様な他者と協働し、社会的課題の解決に寄与するなど、持続可能な社会の担い手としてあらゆる場面で活躍しているまちとなっていると記載しており、御意見の趣旨に合致するものと考えます。
・大学生や日本語を習得している外国人留学生をボランティアとして学校に派遣してはどうか	推進施策 1 (1) において、家庭・地域のボランティアをはじめとする学校教育への参画を促進すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、開かれた学校づくりと市民ぐるみ・地域ぐるみの教育の推進に向けて検討してまいります。
・部活動にない種目の大会に学校から出場するとき、クラブチームのコーチなど、外部の人の引率も可能にしてほしい	推進施策 1(1)において、家庭・地域のボランティアをはじめとする学校教育への参画を促進すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、開かれた学校づくりの推進と市民ぐるみ・地域ぐるみの教育の推進に向けて検討してまいります。

・京都市の学校と連携するなどして着物にふれる機会が多くなればいい ・きものを着る機会を増やすために京都府の学校の授業で着付けの授業を増やしてはどうか。また、お茶会に触れ合える機会が増えるような場所を増やし、そこで京都の華道の良さなどを広める講義などができるとよい ・京都の文化をもっと広めるために、京都市内の学校で着物や茶道、華道などの授業を毎年開催するなどして、幼い頃から文化に触れあい、日常の一部になるような政策をしてほしい	推進施策 1(2)において、京都ならではの文化の継承・発展に向けた伝統文化教育など、子どもたちのさまざまな学びや体験交流の場を充実させると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、京都の文化力・市民力を生かした学校教育の推進に向けて検討してまいります。
・大学だけでなく、若者支援団体とも連携して高校生くらいの年代の人にも三大祭への参加してもらうなど、文化を支える取組を経験してほしい	推進施策 1(2)において、大学や産業界、NP0 等による学校教育への参画を進め、京都ならではの文化の継承・発展に向けた伝統文化教育など、子どもたちのさまざまな学びや体験交流の場を充実させると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、京都の文化力・市民力を生かした学校教育の推進に向けて検討してまいります。
・教育で農林業を身近に体験できる機会を設けてほしい ・農林業の衰退を食い止めるために、学校教育に農林業の体験を入れる ・林間学習の強化や田植え体験を全ての学校で取り入れてはどうか	推進施策 1(2)において、環境教育、食育、生き方探究教育など、子どもたちのさまざまな学びや体験交流の場を充実させると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、京都の文化力・市民力を生かした学校教育の推進に向けて検討してまいります。
・木に関心がもてるようなゲームや体験学習をしてほしい（林間学習の強化）	推進施策 1(2)において、環境教育、食育、生き方探究教育など、子どもたちのさまざまな学びや体験交流の場を充実させると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、京都の文化力・市民力を生かした学校教育の推進に向けて検討してまいります。

・企業と連携した学習や、留学生との交流といった学習が高校から行えると、次世代の若者の育成につながると思う	推進施策 1(2)において、次世代育成に向け、大学や産業界、NPO 等による学校教育への参画を進め、京都ならではの文化の継承・発展に向けた伝統文化教育や環境教育、食育、生き方探究教育、健康教育、ICT 教育、英語教育など、子どもたちのさまざまな学びや体験交流の場を充実させると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、京都の文化力・市民力を生かした学校教育の推進に向けて検討してまいります。
・将来の職業について考えるときに、もっと色々な職業について情報を得られたり体験できるようにしてほしい	推進施策 1(2)において、子どもたちのさまざまな学びや体験交流の場を充実させると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、京都の文化力・市民力を生かした学校教育の推進に向けて検討してまいります。
・学校教育において動物と触れ合える機会を充実させてほしい	推進施策 1(2)において、子どもたちのさまざまな学びや体験交流の場を充実させると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、京都の文化力・市民力を生かした学校教育の推進に向けて検討してまいります。
・小学校低学年から英語に触れる教育をしてほしい ・日本人生徒の英語力も足りておらず全体的にグローバル教育がなされていない	推進施策 1(2)において、環境教育、食育、生き方探究教育など、子どもたちのさまざまな学びや体験交流の場を充実させると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、京都の文化力・市民力を生かした学校教育の推進に向けて検討してまいります。

・総合支援学校でも職場体験をさせてほしい。見学ではなく、あくまで作業等の体験を中心にしてほしい	推進施策 1(2)において、子どもたちのさまざまな学びや体験交流の場を充実させること、推進施策 2(5)で一人一人に応じたきめ細かな教育を推進するために必要な指導・支援，教育環境の充実を図ることを記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，子どもたちの「生きる力」を育む学校教育の推進に向けて検討してまいります。
・市役所から総合支援学校の先生に文化や観光の情報提供してほしい。支援学校の子どもたちに出前授業や生活に関わるお金の話，情報セキュリティの話をしてほしい	推進施策 1(2)において，次世代育成に向け，大学や産業界，NPO 等による学校教育への参画を進め，京都ならではの文化の継承・発展に向けた伝統文化教育や生き方探究教育，ICT 教育など，子どもたちのさまざまな学びや体験交流の場を充実させること，推進施策 2(5)において，インクルーシブ教育の理念に基づく，一人一人に応じたきめ細かな教育を推進するために必要な指導・支援，教育環境の充実を図ることを記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，子どもたちの「生きる力」を育む学校教育の推進に向けて検討してまいります。
・学校に漫画を置いてほしい	推進施策 2(1)において，学習指導要領の趣旨を踏まえ，子どもたちが社会の変化を前向きに受け止め，他者と協働しながら主体的に行動することで豊かな人生を送ることができるよう「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をバランスよく育む教育を推進すると記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，「生きる力」を育む学校教育の推進に向けて検討してまいります。

・ 温かいご飯，おかずは温かく，冷たいものは冷たく，おいしく栄養価が高い，食材の地産地消にこだわる給食こそが最高の食育なのではないか ・ 中学校はみんなで温かい給食を食べられるようにしてほしい。京都の地産地消で，ふるさとの味を子どもたちの給食にしてほしい ・ 中学校での完全給食を実施してほしい	推進施策 2(1)において，学習指導要領の趣旨を踏まえ，子どもたちが社会の変化を前向きに受け止め，他者と協働しながら主体的に行動することで豊かな人生を送ることができるよう「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をバランスよく育む教育を推進すると記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，「生きる力」を育む学校教育の推進に向けて検討してまいります。
・ 夏休みが短すぎると思う ・ 夏休みの長さについて少し伸ばしてほしい	推進施策 2(1)において，学習指導要領の趣旨を踏まえ，子どもたちが社会の変化を前向きに受け止め，他者と協働しながら主体的に行動することで豊かな人生を送ることができるよう「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をバランスよく育む教育を推進すると記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，「生きる力」を育む学校教育の推進に向けて検討してまいります。
・ 内申点は受験に採用せず，当日点だけで決定すべき ・ 中学の内申制度の不公平さがあるので，改善してほしい	推進施策 2(1)において，学習指導要領の趣旨を踏まえ，子どもたちが社会の変化を前向きに受け止め，他者と協働しながら主体的に行動することで豊かな人生を送ることができるよう「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をバランスよく育む教育を推進すると記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，「生きる力」を育む学校教育の推進に向けて検討してまいります。

・子どもの教育に格差が生じないようにしてほしい	推進施策 2(1), 2(4)において、学習指導要領の趣旨を踏まえ、子どもたちが社会の変化を前向きに受け止め、他者と協働しながら主体的に行動することで豊かな人生を送ることができるよう「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をバランスよく育む教育を推進すること、家庭の経済状況や生まれ育った環境等にかかわらず、子どもたち一人一人が「確かな学力」を身につけることができるよう学習保障を図ることを記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、「生きる力」を育む学校教育の推進に向けて検討してまいります。
・他人を助けることをしたい。教育の中にボランティア、人助けといった要素を取り入れてほしい	推進施策 2(2)において、生まれ育った地域や文化への誇りを培い、多様な文化や価値観を尊重する態度を育成するとともに、グローバルな視点で課題を発見・解決し、新たな価値を創造できる持続可能な社会の担い手を育むと記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、子どもたちの「生きる力」を育む教育の推進に向けて検討してまいります。
・未来を生きるこどもたち（特に小学校以上）に多様な価値観を持ってもらえる、経験や教育を行ってほしい	推進施策 2（2）において、生まれ育った地域や文化への誇りを培い、多様な文化や価値観を尊重する態度を育成するとともに、グローバルな視点で課題を発見・解決し、新たな価値を創造できる持続可能な社会の担い手を育むと記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、子どもたちの「生きる力」を育む教育の推進に向けて検討してまいります。

・小・中学生にも京都の成長の担い手としての意識づけを行ってほしい	推進施策 2(2)において、生まれ育った地域や文化への誇りを培い、多様な文化や価値観を尊重する態度を育成するとともに、グローバルな視点で課題を発見・解決し、新たな価値を創造できる持続可能な社会の担い手を育むと記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、子どもたちの「生きる力」を育む教育の推進に向けて検討してまいります。
・世界に視座を広げられる人材が増えないといけない。そのために、外から学びを取り入れることや外へ出ていくことのサポートを行ってほしい。その人材がまた京都へ戻ってきて、力を発揮できることを願っている	推進施策 2(2)において、生まれ育った地域や文化への誇りを培い、多様な文化や価値観を尊重する態度を育成するとともに、グローバルな視点で課題を発見・解決し、新たな価値を創造できる持続可能な社会の担い手を育むと記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、子どもたちの「生きる力」を育む教育の推進に向けて検討してまいります。
・学校教育だけでなく、施策として、インターナショナルスクールや通信制学校の子どもたちも含めた中高生をどう京都市のまちづくりにつなげるか、検討すべき	推進施策 2(2)において、生まれ育った地域や文化への誇りを培い、多様な文化や価値観を尊重する態度を育成するとともに、グローバルな視点で課題を発見・解決し、新たな価値を創造できる持続可能な社会の担い手を育むと記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、子どもたちの「生きる力」を育む教育の推進に向けて検討してまいります。

・市立高校への1人1台PC又はタブレットの配備をしてほしい ・高校で1人1台PCを所持する制度を導入してほしい	推進施策 2(3), 4(3)において、一人一台端末などのICT環境を活用しながら、継続した学びを確保すること、ICTを活用したグループ学習などで子どもたちの協働の学びの充実を図ることを記載するとともに、必要とされるICT環境の整備と効率的な維持管理を行うと記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、新しいニーズにこたえる特色ある学習環境づくりに向けて検討してまいります。
・ICT教育を推進してほしい ・ICTを活用した自宅学習や課外活動を促進してほしい ・タブレット等の使用をもっと推進し、教育現場のICT化を進めてほしい ・ペーパーレスを推進してほしい	推進施策 2(3), 4(3)において、一人一台端末などのICT環境を活用しながら、継続した学びを確保すること、ICTを活用したグループ学習などで子どもたちの協働の学びの充実を図ることを記載するとともに、必要とされるICT環境の整備と効率的な維持管理を行うと記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、新しいニーズにこたえる特色ある学習環境づくりに向けて検討してまいります。
・ICTは、十分な環境を整備した上で、使うための知識・技術の教育。使う者としての心がまえ(モラル等)の教育を、早期(小学校)からする。ICTの環境は、家庭でコンピュータ、ネットが使えない児童生徒が使いたいときに、使えるようにしてほしい	推進施策 2(3), 4(3)において、一人一台端末などのICT環境を活用しながら、継続した学びを確保すること、ICTを活用したグループ学習などで子どもたちの協働の学びの充実を図ることを記載するとともに、必要とされるICT環境の整備と効率的な維持管理を行うと記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、新しいニーズにこたえる特色ある学習環境づくりに向けて検討してまいります。

・ ICT を具体的にどう活用し、どのような効果を生むのか、もう少しこの点を考えてほしい	推進施策 2(3)、4(3)において、一人一台端末などの ICT 環境を活用しながら、継続した学びを確保すること、ICT を活用したグループ学習などで子どもたちの協働の学びの充実を図ることを記載するとともに、必要とされる ICT 環境の整備と効率的な維持管理を行うと記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、新しいニーズにこたえる特色ある学習環境づくりに向けて検討してまいります。
・ 1 人 1 台端末導入にあたっての対策(定期的な更新・買い替えなど)を検討するべき	推進施策 2(3)、4(3)において、一人一台端末などの ICT 環境を活用しながら、継続した学びを確保すること、ICT を活用したグループ学習などで子どもたちの協働の学びの充実を図ることを記載するとともに、必要とされる ICT 環境の整備と効率的な維持管理を行うと記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、新しいニーズにこたえる特色ある学習環境づくりに向けて検討してまいります。
・ ギガスクール構想など、ICT の活用が進んでいない。使える子には、まず使わせて、改善点を見直してより良い使い方を併せて考えるような取組を全員に配備することと同時並行で進めるべき	推進施策 2(3)、4(3)において、一人一台端末などの ICT 環境を活用しながら、継続した学びを確保すること、ICT を活用したグループ学習などで子どもたちの協働の学びの充実を図ることを記載するとともに、必要とされる ICT 環境の整備と効率的な維持管理を行うと記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、新しいニーズにこたえる特色ある学習環境づくりに向けて検討してまいります。

・全ての子どもたちに ICT 等によって平等に教育を受けられるようになってほしい	推進施策 2 (3), 4 (3) において, 一人一台端末などの ICT 環境を活用しながら, 継続した学びを確保すること, ICT を活用したグループ学習などで子どもたちの協働の学びの充実を図ることを記載するとともに, 必要とされる ICT 環境の整備と効率的な維持管理を行うと記載しており, 今後, 京都市において基本計画を具体化する中で, 新しいニーズにこたえる特色ある学習環境づくりに向けて検討してまいります。
・小学校の全学年で 30 人学級になるようにしてほしい ・少人数教育を増やしてほしい	推進施策 2(4)において, 子どもたち一人一人が「確かな学力」を身につけることができるよう学習保障を図ること, 多様なニーズや困りに丁寧かつ的確に応じた教育機会の提供を図ることを記載しており, 今後, 京都市において基本計画を具体化する中で, 子どもたち一人一人への学習保障をはじめとした多様なニーズにこたえる教育機会の提供の充実に向けて検討してまいります。
・学校でのいじめは暴力・犯罪と厳しく認識して貰い積極的な児相・警察介入を進めるべき	推進施策 2(4)において, いじめ・不登校等の未然防止・早期対応の強化を図るための教育相談体制の充実を図ると記載しており, 今後, 京都市において基本計画を具体化する中で, 多様なニーズ等に応じた教育の展開に向けて検討してまいります。
・いじめの未然防止と公平な対処を	推進施策 2(4)において, いじめ・不登校等の未然防止・早期対応の強化を図るための教育相談体制の充実を図ると記載しており, 今後, 京都市において基本計画を具体化する中で, 多様なニーズ等に応じた教育の展開に向けて検討してまいります。

・京都市在住の外国人が子どもに教育を受けさせるため、インターナショナルスクールの学費補助援助があると良い	推進施策 2(4)において、一層の増加が見込まれる外国人児童生徒等に対する日本語指導など、多様なニーズや困りに丁寧かつ的確に応じた教育機会の提供の充実を図ると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、子どもたち一人一人への学習保障をはじめとした多様なニーズにこたえる教育機会の提供の充実に向けて検討してまいります。
・私立高校・大学の学費の無償化など、金銭的不安を抱える学生にも高度な教育環境を少ない負担で提供してほしい	推進施策 2(4)において、家庭の経済状況や生まれ育った環境等にかかわらず、子どもたち一人一人が「確かな学力」を身につけることができるよう学習保障を図ると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、多様なニーズにこたえる教育機会の提供に向けて検討してまいります。
・塾・予備校の学費の補助をしてほしい。ほとんどの生徒が塾にいつている学校もある。教育格差を解消すべき	推進施策 2(4)において、家庭の経済状況や生まれ育った環境等に関わらず、子供たち一人一人が「確かな学力」を身につけることができるよう学習保障を図ると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、多様なニーズにこたえる教育機会の提供に向けて検討してまいります。
・日本語が話せず転入してきた外国人生徒へのサポートができていないのではないかと	推進施策 2(4)において、外国人児童生徒等に対する日本語指導など、多様なニーズや困りに丁寧かつ的確に応じた教育機会の提供の充実を図ると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、多様なニーズにこたえる教育機会の提供に向けて検討してまいります。

・教師を選択できるようにしてほしい	推進施策 2(4)、3(1)において、子どもたち一人一人が「確かな学力」を身につけることができるよう学習保障を図ると記載するとともに、熱意ある志高い教職員の養成、採用に取り組むこと、教職員としての資質・指導力の向上を図ることを記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、子どもたちの「生きる力」を育む教育の推進に向けて検討してまいります。
・通常の高校と総合支援学校での交流をもっと盛んにしてほしい	推進施策 2(5)において、インクルーシブ教育の理念に基づく、一人一人のニーズに応じたきめ細かな教育の推進や進路指導、教育環境の充実を図ると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、総合育成支援教育の充実に向け、検討してまいります。
・小児発達外来については実績もあり、設備等も整っているが、医療関係者でも桃陽総合支援学校の制度が認知されていないので、桃陽総合支援学校の認知度の向上に取り組んでほしい	推進施策 2(5)において、児童生徒の障害の重度化・重複化や多様化、医療的ケアが必要な子どもの増加などを踏まえ、インクルーシブ教育の理念に基づく、一人一人のニーズに応じたきめ細かな教育の推進や進路指導、教育環境の充実を図ると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、総合育成支援教育の充実に向けて検討してまいります。
・総合支援学校の小中のときから自立に向けた繋ぎ目のない支援をしてほしい	推進施策 2(5)において、児童生徒の障害の重度化・重複化や多様化、医療的ケアが必要な子どもの増加などを踏まえ、インクルーシブ教育の理念に基づく、一人一人のニーズに応じたきめ細かな教育の推進や進路指導、教育環境の充実を図ると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、総合育成支援教育の充実に向けて検討してまいります。

・医療的ケアのある児童の訪問学級について保護者がしっかりと離れられる体制，具体的には看護師の同行などの体制をとって頂きたい	推進施策 2(5)において，児童生徒の障害の重度化・重複化や多様化，医療的ケアが必要な子どもの増加などを踏まえ，インクルーシブ教育の理念に基づく，一人一人のニーズに応じたきめ細かな教育の推進や進路指導，教育環境の充実を図ると記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，総合育成支援教育の充実に向けて検討してまいります。
・通学バスに乗車できない医療的ケア児は看護師さんの付き添いのもと，介護タクシーでの通学ができるよう制度を整えてほしい	推進施策 2(5)において，児童生徒の障害の重度化・重複化や多様化，医療的ケアが必要な子どもの増加などを踏まえ，インクルーシブ教育の理念に基づく，一人一人のニーズに応じたきめ細かな教育の推進や進路指導，教育環境の充実を図ると記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，総合育成支援教育の充実に向けて検討してまいります。
・総合支援学校に在籍する生徒が，居住する地域の小・中学校に副次的な籍をもち，居住する地域とのつながりの維持・継続を図る副籍制度を導入してほしい	推進施策 2(5)において，児童生徒の障害の重度化・重複化や多様化，医療的ケアが必要な子どもの増加などを踏まえ，インクルーシブ教育の理念に基づく，一人一人のニーズに応じたきめ細かな教育の推進や進路指導，教育環境の充実を図ると記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，総合育成支援教育の充実に向けて検討してまいります。

・総合支援学校の生徒が増えており、教室が足りない。LD(発達障害)の教育が満員で入れない子どもたちがいるのを何とかしたい	推進施策 2(5)において、児童生徒の障害の重度化・重複化や多様化，医療的ケアが必要な子どもの増加などを踏まえ，インクルーシブ教育の理念に基づく，一人一人のニーズに応じたきめ細かな教育の推進や進路指導，教育環境の充実を図ると記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，総合育成支援教育の充実に向けて検討してまいります。
・北部にも病弱の生徒を受け容れる役割を果たす拠点がほしい	推進施策 2(5)において、児童生徒の障害の重度化・重複化や多様化，医療的ケアが必要な子どもの増加などを踏まえ，インクルーシブ教育の理念に基づく，一人一人のニーズに応じたきめ細かな教育の推進や進路指導，教育環境の充実を図ると記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，総合育成支援教育の充実に向けて検討してまいります。
●学びのクオリティを高めるために，高校への資金援助をしてほしい	推進施策 2(6)において，多様な学習ニーズにきめ細かく応じる教育活動や，探究型学習をはじめとした学習活動の充実など，新たな時代に対応しつつ子どもたちの能力を最大限引き出す学びを実現すると記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，魅力あふれる市立高校づくりに向けて検討してまいります。

・既存の高校の空き教室を活かし，全行政区に公立中高一貫コースを新設し志高い人材の底上げを	推進施策 2(6)において，多様な学習ニーズにきめ細かく応じる教育活動や，探究型学習をはじめとした学習活動の充実など，新たな時代に対応しつつ子どもたちの能力を最大限引き出す学びを実現する，魅力あふれる市立高校改革を進めると記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，子どもたちが夢と志をもって可能性に挑戦するために必要な力を育む教育の推進に向けて検討してまいります。
・教師はサポート役に徹してほしい	推進施策 3(1)において，熱意ある志高い教職員の養成，採用に取り組むとともに，各キャリアステージに応じた研修を体系的かつ効果的に実施し，教職員としての資質・指導力の向上を図ると記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，教職員の資質・指導力の向上に向けて検討してまいります。
●小学校，中学校の教師の質を上げるべき	推進施策 3(1)において，熱意ある志高い教職員の養成，採用に取り組むとともに，各キャリアステージに応じた研修を体系的かつ効果的に実施し，教職員としての資質・指導力の向上を図ると記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，教職員の資質・指導力の向上に向けて検討してまいります。
・正規教職員の大幅増員と非正規・非常勤教職員の正規化に取り組んでほしい	推進施策 3（1）において，熱意ある志高い教職員の養成，採用に取り組むと記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，教職員の採用に係る取組の推進に向けて検討してまいります。

・ 第三者的なスクールカウンセラー等の充実を求める	推進施策 3(2)において、外部やさまざまな専門分野のスタッフの配置拡大や家庭、地域のさらなる理解と参画・役割分担等を進めると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、教職員がいきいきと子どもと向き合うことができる環境づくりと教職の魅力の発信に向けて検討してまいります。
・ 小・中学校の環境整備の強化に取り組んでほしい	推進施策 4(1)において、学校・教育施設の長寿命化改修、防災・環境性能の向上、バリアフリー化を進めると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、誰もが安心・安全で快適に過ごせる学習環境の整備に向けて検討してまいります。
・ 京都市の学校のバリアフリー化、清掃を ・ エレベーターの設置等、校舎のバリアフリー化を一層推進してほしい	推進施策 4(1)において、学校・教育施設の長寿命化改修、防災・環境性能の向上、バリアフリー化を進めると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、誰もが安心・安全で快適に過ごせる学習環境の整備に向けて検討してまいります。
・ 隣接する桃陽病院を含めて桃陽総合支援学校の施設が老朽化しているため、改善してほしい	推進施策 4(1)において、学校・教育施設の長寿命化改修、防災・環境性能の向上、バリアフリー化を進めると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、誰もが安心・安全で快適に過ごせる学習環境の整備に向けて検討してまいります。
・ 市立高校の不具合が多い	推進施策 4(1)において、学校・教育施設の長寿命化改修、防災・環境性能の向上、バリアフリー化を進めると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、誰もが安心・安全で快適に過ごせる学習環境の整備に向けて検討してまいります。

・聴覚に障害のある生徒もいるので，防音設備のある部屋がほしい	推進施策 4(1)において，学校・教育施設の長寿命化改修，防災・環境性能の向上，バリアフリー化を進めると記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，誰もが安心・安全で快適に過ごせる学習環境の整備に向けて検討してまいります。
・グラウンドに冷水器を設置してほしい	推進施策 4(1)において，学校・教育施設の長寿命化改修，防災・環境性能の向上，バリアフリー化を進めると記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，誰もが安心・安全で快適に過ごせる学習環境の整備に向けて検討してまいります。
●学校のグラウンドが狭く，環境をきちんと整えてほしい	推進施策 4(1)において，学校・教育施設の長寿命化改修，防災・環境性能の向上，バリアフリー化を進めると記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，誰もが安心・安全で快適に過ごせる学習環境の整備に向けて検討してまいります。
・温水プールがほしい	推進施策 4(1)において，学校・教育施設の長寿命化改修，防災・環境性能の向上，バリアフリー化を進めると記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，誰もが安心・安全で快適に過ごせる学習環境の整備に向けて検討してまいります。

・学校前の道路に，安全のためにガードレールを設置してほしい	推進施策 4(2)において，通学路や幼稚園の園外活動等での安全確保に向け，関係機関と連携し，危険箇所について情報を共有し必要な対策を講じるとともに，見守り活動の実施など，ハード・ソフトの両面で通学路の安全対策を推進すると記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，通学路の安全対策に向けて検討してまいります。
・通学路がせまく，あぶない	推進施策 4(2)において，通学路や幼稚園の園外活動等での安全確保に向け，関係機関と連携し，危険箇所について情報を共有し必要な対策を講じるとともに，見守り活動の実施など，ハード・ソフトの両面で通学路の安全対策を推進すると記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，通学路の安全対策に向けて検討してまいります。
・不登校児童でもネットと繋いで授業を受けられるといい	推進施策 4(3)において，AI 等を活用した次代を見据えた教育を推進するため，必要とされる ICT 環境の整備と効率的な維持管理を行い，新しい学習環境づくりを進めると記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，ICT の整備など，新しい学習環境づくりに向けて検討してまいります。
・何よりも教員を教育に専念できる環境を整える必要があり，AI 導入などにより教育事務を効率化・合理化する必要がある	推進施策 4(3)において，AI 等を活用した次代を見据えた教育を推進するため，必要とされる ICT 環境の整備と効率的な維持管理を行い，新しい学習環境づくりを進めると記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，ICT の整備など，新しい学習環境づくりに向けて検討してまいります。

・持込 PC 機器（視力障害のため）で作成した課題を紙の用紙に書き直して提出しており，データで提出できるようにしたい	推進施策 4(3)において，AI 等を活用した次代を見据えた教育を推進するため，必要とされる ICT 環境の整備と効率的な維持管理を行い，新しい学習環境づくりを進めると記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，ICT の整備など，新しい学習環境づくりに向けて検討してまいります。
・授業用タブレットの教育アプリケーションソフトを充実させてほしい	推進施策 4(3)において，AI 等を活用した次代を見据えた教育を推進するため，必要とされる ICT 環境の整備と効率的な維持管理を行い，新しい学習環境づくりを進めると記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，ICT の整備など，新しい学習環境づくりに向けて検討してまいります。
・学校の Wi-Fi 環境の整備をしてほしい ・教室内で電波が繋がらないところがある	推進施策 4(3)において，AI 等を活用した次代を見据えた教育を推進するため，必要とされる ICT 環境の整備と効率的な維持管理を行い，新しい学習環境づくりを進めると記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，ICT の整備など，新しい学習環境づくりに向けて検討してまいります。
・高校のパソコンの動きが遅いので買い換えてほしい	推進施策 4(3)において，AI 等を活用した次代を見据えた教育を推進するため，必要とされる ICT 環境の整備と効率的な維持管理を行い，新しい学習環境づくりを進めると記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，ICT の整備など，新しい学習環境づくりに向けて検討してまいります。

・1人1台端末よりもWi-Fi整備で生徒自身のスマホを使った方が良いのでは	京都市においては、一人一台端末などのICT環境を活用しながら、継続した学びを確保していくことが重要であると考えており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、ICT環境を活用した教育の推進に向けて検討してまいります。
・部活動のOFFの日を市全体で決めてほしい	部活動は、スポーツや芸術文化、科学など、生徒が自分の興味や関心に応じて自主的、自発的に活動する中で、それぞれの個性や能力を伸ばしたり、社会性や人間性を育む様々な経験を積んだり、生涯の友人を得たりする教育活動の一つとして重要な役割を果たしています。今後、京都市において基本計画を具体化する中で、生徒にとっても、指導者にとっても、より安全で充実した活動となるよう検討してまいります。
・大阪府の私立高校の学費実質無償化を京都市も実施してほしい	京都市においては、私立学校の重要性を踏まえ、府市協調の下、私立学校等との一層の連携を図ることが重要と考えております。私立高等学校の授業料の無償化については、国や都道府県において設けられた制度であり、国や都道府県において検討されるべきものと考えます。
・高校の学費の無償化等による金銭的な援助等を通じて、母親の負担を減らすことが必要	京都市においては、多様な学習ニーズにきめ細かく応じる教育活動など、魅力あふれる市立高校改革を進めることが必要であると考えております。公立高等学校の授業料の無償化については、国において設けられた制度であり、国において検討されるべきものと考えます。
・保護者・教員に負担の多いPTA等余分な活動を軽減し学業に専念できる体制構築が急務	京都市においては、社会の宝である子どもたちを市民ぐるみ・地域ぐるみで育むため、PTA等の活動は必要と考えております。

・近くに中学校があっても遠い所に通学させられるうえに、自転車や公共交通機関を利用しての通学が禁じられていて中学生の負担が大きいので、中学校の校区を見直してほしい	京都市においては、中学校区の通学区域は、教育上適正な児童・生徒数の確保や学校施設の収容力、町界、道路、学校と地域のつながりや歴史的な諸条件を総合的に考慮して全市的視野に立ち設定しております。今後、基本計画を具体化する中でよりよい教育環境の実現に向けて検討を進めてまいります。
---	--

生涯学習

◆ 審議の参考とさせていただいた御意見

御意見の要旨	御意見に対する考え方
・生涯学習できる場を多く作ってほしい	みんなでめざす 2025 年の姿 1 において、京都市の各図書館や生涯学習総合センターなどの生涯学習施設の機能の充実や、さまざまな生涯学習関係団体との連携の拡充により、急速に変化する社会経済情勢の下でも多様な学びが提供され、市民が自身に適した学びを自由に選択し、継続して参加できるまちをめざすと記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、市民がまちのあらゆる場で学ぶことができるよう検討してまいります。
・市民が生涯学習を身近に感じ、気軽に参加できる講座や体験教室を増やしてほしい	推進施策 1(1)において、学ぶことの楽しさ、深さ、尊さを実感し、いつでも、どこでも、誰でも気軽に学ぶ機会を得られるよう、ICT の活用や、幅広い生涯学習関係団体との連携の拡充により、多様な学びを提供すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、誰もが学び続けることができるまちづくりに向けて検討してまいります。

・図書館での絵本の読み聞かせや、紙芝居の上演を行えば、絵本を読むきっかけにもなり、さらには、地域の子育て世代のつながりをつくることもできると思う	推進施策 1(3)において、子どもの発達段階に応じた切れ目のない読書活動の支援を、学校図書館や関係機関とも連携し、児童館、学童保育所や子ども文庫、PTA サークル、書店等も含めた幅広い団体等とも情報を共有しながら実施するなど、さらなる充実に向けた取組を進めると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、子どもの読書活動の推進に向けて検討してまいります。
・図書館に足を運び、親子が絵本に親しむきっかけづくりとして、絵本を買うための図書カードを配布してほしい	推進施策 1(3)において、子どもの発達段階に応じた切れ目のない読書活動の支援を、学校図書館や関係機関とも連携し、児童館、学童保育所や子ども文庫、PTA サークル、書店等も含めた幅広い団体等とも情報を共有しながら実施するなど、さらなる充実に向けた取組を進めると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、子どもの読書活動の推進に向けて検討してまいります。
・駅にある図書の返却ポストは、便利だけれど、北大路や烏丸、京都駅と南北に偏っていると思う。河原町駅周辺も大通りが多いので、ポストがあると便利	推進施策 1(3)において、市民の学びと交流の拠点として、すべての人が、いつでも気軽に利用できるような環境整備を進めると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、図書館機能の充実に向けて検討してまいります。
・図書館が狭く冷暖房のききがわるい。他の市の図書館と比べ蔵書の種類も少ない。椅子の数や机の数も少ない	推進施策 1(3)において、市民の学びと交流の拠点として、すべての人が、いつでも気軽に利用できるような環境整備を進めると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、図書館機能の充実に向けて検討してまいります。

・図書館でも自習ができるようにしてほしい ・図書館での自習を認めてほしい ・自習できる場所がもっとほしい。図書館でも自習禁止のところが多く困っている	推進施策 1(3)において、市民の学びと交流の拠点として、すべての人が、いつでも気軽に利用できるような環境整備を進めると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、図書館機能の充実に向けて検討してまいります。
・廃校や、使っていない時間の学校のグラウンドを地域に自由に開放してほしい ・少子化で統廃合になる学校の活用も、地域で活用できるようになってほしい ・学校統合で廃校となった小中学校跡地を公園として地域に開放してはどうか	推進施策 1(4)において、学区・地域の人が集う学校施設や区役所・支所などを中心に展開されている地域に根差した学びを活性化させるため、催し情報の発信などの支援を行うと記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、地域の人が集う学校施設の活用促進に向けて検討してまいります。
・市立の大きな美術館、博物館が京都駅より北に集中しているので、分散化を	推進施策 1(4)において、200 以上の博物館で組織する京都市内博物館施設連絡協議会との連携の下、博物館ネットワークの充実を図ることで、市民の生涯を通じた文化芸術活動の振興につながると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、多彩な生涯学習施設の活用促進に向けて検討してまいります。
・市立の大きな美術館博物館別館を伏見区・山科区・南区に建てるのはどうか	推進施策 1(4)において、200 以上の博物館で組織する京都市内博物館施設連絡協議会との連携の下、博物館ネットワークの充実を図ることで、市民の生涯を通じた文化芸術活動の振興につながると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、多彩な生涯学習施設の活用促進に向けて検討してまいります。

・生涯学習において、市民自身が自身の健康に対する理解を深め自ら進んで自身の健康をより良くすることができるような学習の施策があるほうがいい	推進施策 2(1)において、一人一人が学び続けることにより、みずからの地域や社会の課題を認識し、それらの課題の解決に主体的に取り組むまちづくりを進めると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、生涯学習の推進に向けて検討してまいります。
・町中で子どもが遊べていないから子どもの明るい声が聞こえてこないで聞こえるようにしてほしい	推進施策 3(2)において、放課後や休日、夏休み等における豊かな学びと育ちを市民ぐるみ・地域ぐるみで支えるさまざまな活動について、京都ならではの多彩な学習資源を最大限活用しながら拡大を図ると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、子どもを共に育む気運づくりに向けて検討してまいります。

◆ 審議の参考とさせていただいた御意見

御意見の要旨	御意見に対する考え方
・新型コロナウイルスの感染が広がる中，本人・家族・支援者ともに不安が絶えない。少しでも早く，より安心して過ごせる状況を実現していただきたい ・効果のあるコロナ対策を考えてほしい ・コロナがおさまってほしい	コロナ対策については，基本方針において，激甚化する自然災害はもとより，新型コロナウイルス感染症のような経験したことのない新たな感染症，大規模停電，原子力災害，テロ災害など，あらゆる危機から市民のいのち，くらしを守るため，市民，地域団体，事業者，行政等の多様な主体のそれぞれが的確な行動を取り，相互に連携・協働するしくみをより強固にするとともに，より効果的な情報伝達体制の構築，避難体制の整備，地域防災力のさらなる充実強化により，都市のレジリエンスを向上させ，危機にしなやかに強く対応できるまちをめざすと記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，コロナ対策のさらなる強化に向けて検討してまいります。

・コロナ禍を教訓に，感染症対策の「京都市ルール」を是非とも構築して頂きたい	コロナ対策については，基本方針において，激甚化する自然災害はもとより，新型コロナウイルス感染症のような経験したことのない新たな感染症，大規模停電，原子力災害，テロ災害など，あらゆる危機から市民のいのち，くらしを守るため，市民，地域団体，事業者，行政等の多様な主体のそれぞれが的確な行動を取り，相互に連携・協働するしくみをより強固にするとともに，より効果的な情報伝達体制の構築，避難体制の整備，地域防災力のさらなる充実強化により，都市のレジリエンスを向上させ，危機にしなやかに強く対応できるまちをめざすと記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，コロナ対策のさらなる強化に向けて検討してまいります。
・コロナ対策を，もっと行政に権限を持たせて強制的に対応すべき	コロナ対策については，基本方針において，激甚化する自然災害はもとより，新型コロナウイルス感染症のような経験したことのない新たな感染症，大規模停電，原子力災害，テロ災害など，あらゆる危機から市民のいのち，くらしを守るため，市民，地域団体，事業者，行政等の多様な主体のそれぞれが的確な行動を取り，相互に連携・協働するしくみをより強固にするとともに，より効果的な情報伝達体制の構築，避難体制の整備，地域防災力のさらなる充実強化により，都市のレジリエンスを向上させ，危機にしなやかに強く対応できるまちをめざすと記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，コロナ対策のさらなる強化に向けて検討してまいります。

・コロナウイルス関連の情報公開が遅すぎる。新規感染者などの情報が出るのが他の県や市と比べても本当に遅いので、改善してほしい	コロナ対策については、基本方針において、激甚化する自然災害はもとより、新型コロナウイルス感染症のような経験したことのない新たな感染症、大規模停電、原子力災害、テロ災害など、あらゆる危機から市民のいのち、くらしを守るため、市民、地域団体、事業者、行政等の多様な主体のそれぞれが的確な行動を取り、相互に連携・協働するしくみをより強固にするとともに、より効果的な情報伝達体制の構築、避難体制の整備、地域防災力のさらなる充実強化により、都市のレジリエンスを向上させ、危機にしなやかに強く対応できるまちをめざすと記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、コロナ対策のさらなる強化に向けて検討してまいります。
・防災関連の備蓄倉庫棟をまちなかにも設置してほしい	みんなでめざす 2025 年の姿 3 において、発災直後に真に備えておくべき公的備蓄物資を迅速かつ確実に供給できる体制の構築をめざすと記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、あらゆる危機にしなやかに強く対応できるまちに向けて検討してまいります。
・住民が確実に安心できる防災施策を構築してほしい	推進施策 1 において、自然災害や新たな感染症をはじめとするあらゆる危機に対応できるよう危機管理体制の充実を図り、ソフト・ハード両面からの総合的な対策を実施することにより、複雑多様化する危機に的確に対応すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、あらゆる危機からいのち・くらしを守る危機管理体制の強化に向けて検討してまいります。

・桂川は、大きく砂地が広がっていて、来年大雨が降ったら洪水の危険が増す。市民の暮らしと財産を守るために、防災は待ったなし。一回やって終わりではなく、市全域を目配りして、持続的に取り組んでほしい	推進施策 1 において、自然災害や新たな感染症をはじめとするあらゆる危機に対応できるよう危機管理体制の充実を図り、ソフト・ハード両面からの総合的な対策を実施することにより、複雑多様化する危機に的確に対応すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、あらゆる危機からいのち・くらしを守る危機管理体制の強化に向けて検討してまいります。 なお、桂川の掘削等については、河川の管理主体である国において検討されるべきものと考えております。
・避難所の点検と強化や被災後の復旧体制の強化をお願いしたい	推進施策 1 において、危機管理体制の充実を図ること、推進施策 3 において、避難所等の環境改善に取り組むことを記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、あらゆる危機からいのち・くらしを守る危機管理体制の強化に向けて検討してまいります。
・緊急時（コロナ・消防・病院など）についての多言語サポートがまだ不十分と思う	推進施策 2 において、危険箇所を示す各種ハザードマップやわかりやすいタイムライン等の活用により、日頃から情報共有、防災意識の向上を図り、自然災害等に備えると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、いざというときに備える防災情報の共有、情報伝達体制の構築に向けて検討してまいります。
・外国人向けの災害情報伝達アプリの制作やパンフレットへの多言語表示の避難経路の挟み込みなどを行うべき	推進施策 2 において、市民や観光客が必要な情報を確実に受け取り、的確な行動を取ることができるよう、効率的かつ効果的に情報を収集・集約・伝達する環境を構築すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、情報伝達体制の構築に向けて検討してまいります。

・災害時に備え，主な広域避難場所や学校に，太陽光発電設備及び蓄電設備の設置を行ってほしい	推進施策 3 において，必要な物資の備蓄や迅速かつ確実に供給できる体制の構築，新たな技術や資機材の導入等により，避難所等の環境改善を推進すると記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，避難支援体制の整備に向けて検討してまいります。
・風害，地震等災害が起こったときに早急に対応できるように，福祉施設の人員配置を良くするとともに，自家発電設備を配置し，災害時に稼働させるようにしてはどうか	推進施策 3 において，新たな技術や資機材の導入等により，避難所等の環境改善を推進すること，事業者，地域団体，行政等が連携・協働し，避難が必要な人が円滑に避難できる体制を構築することを記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，避難支援体制の整備に向けて検討してまいります。
・政策分野の 19 と 26 は分ける必要があるのでしょうか	現行の基本計画においては一体的に記載しておりましたが，東日本大震災や頻発する自然災害等を踏まえ，今後の防災・危機管理の取組を一層推進するため，政策分野「19 危機管理・防災・減災」を独立させたものです。 なお，これらの政策分野を融合した重点戦略として，「いのちとくらしを守り，都市の活力を支える「強靱なインフラ整備戦略」」を掲げており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，あらゆる危機にしなやかに対応し，市民のいのちとくらしを守る取組の推進に向けて検討してまいります。
・「1 時間当たり降水量について」の棒グラフ，「日常における防災意識に関する円グラフ」を京都市について調査したものに変えるべき	京都市について調査したものも含め，京都市の現状・課題やめざす姿を示すうえで適切なデータを検討した結果，現在のグラフを用いております。

歩くまち

◆ 答申案に反映させていただいた御意見

御意見の要旨	御意見に対する考え方
・撤去を強化する前に、自転車を放置してはいけない場所に放置させないというルール の周知の徹底をした方が良い	推進施策 5 に自転車利用のルール、マナーの徹底など、撤去、駐輪場整備以外の 放置自転車対策の観点を追加しました。

◆ 審議の参考とさせていただいた御意見

御意見の要旨	御意見に対する考え方
● バリアフリーを充実するべき。バスや歩道など車いすの方がもっと使いやすい環境を作るべき ● バリアフリーな駅を作ってほしい ・ ベビーカー、車いすでの移動が楽になるようにしてほしい ・ 駅周辺のバリアフリーを進めてほしい ・ 京都駅八条口と駅構内の移動については身体の不自由なものにとっては辛い ・ 公共交通機関の利便性・快適性の向上について、バリアフリーは進んでいるがまだまだ足りない。特に障害のある市民への市バス乗務員の対応について、車イスユーザーのことはもちろん、車イスを利用していない肢体不自由者・知的、視覚障害者もきちんとフォローしてほしい	推進施策 1 において、駅やバスターミナル等のバリアフリー化など、公共交通の利便性・快適性をさらに高めていく取組を実施すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、より便利で利用しやすい公共交通ネットワークの実現に向けて検討してまいります。
・ 交通の便は多く、移動するにあたって快適だと感じる反面、渋滞と混み具合で若干不便に感じることもある	推進施策 1 において、利便性や快適性を更に高めていく取組を実施することや、推進施策 2 において、クルマの流入抑制について記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、より便利で利用しやすい公共交通ネットワークの実現に向けて検討を進めてまいります。

●観光客の増加に伴いバスや電車が混雑して困っている。観光客専用車両を設けるなどの対策を講じてほしい ・バスの混雑状況を改善し、普段から利用する人たちにとって使いやすい交通機関にしてほしい	推進施策 1 において、公共交通の車内や歩行空間の混雑解消について記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、より便利で利用しやすい公共交通ネットワークの実現に向けて検討してまいります。
●バスを待つ人で歩道がいっぱいになってしまっているところも多くあるため、バスを待つためのスペースを確保してほしい ・バス停に少しでも屋根をつけてほしい	推進施策 1 において、公共交通の車内や歩行空間の混雑解消について記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、より便利で利用しやすい公共交通ネットワークの実現に向けて検討してまいります。
●「環状線構想」を、自動運転などの新交通システムなどで実現させてほしい	推進施策 1 において、国の強力な支援を得て、国土の均衡ある発展に資する広域ネットワークの形成や、市内周辺部及び近隣市を含めた創造的な都市圏の創出に向けて既存の交通ネットワークを縦横断的に結ぶ新たな環状ネットワークの検討を進めていくと記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で検討してまいります。
●バスの路線を増やしてほしい ●電車の路線を増やしてほしい ・京北まで地下鉄を延伸してほしい ・京都市内に路面電車（トラム）を走らせてほしい ・桃陽総合支援学校までのアクセスを改善してほしい ・堀川通に電車を走らせてほしい ・歩道を広げるより先に、京都市内中の交通網を整備してほしい ・公共交通体系のさらなる整理、利便性の向上、京都市内の基盤目道路の構造を活かした交通体系の構築を	推進施策 1 において、ニーズや特性に応じた公共交通の確保に向けて取り組むことを記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、より便利で利用しやすい公共交通ネットワークの実現に向けて検討してまいります。

●まちなか以外のバスの本数を増やしてほしい ●深夜のバスを走らせてほしい ●バスが遅れることが多いので、時間どおりに運行してほしい ・観光客が多く市バスがいつも混みあっている点や JR 京都駅や京都河原町駅間のアクセスがよくない点を改善してほしい ・バスの本数を増やしてほしい。特に下校時間。また、バスナビを増やしてほしい ・祇園から烏丸までピストン輸送の形のバス運行を行ってほしい ・公共交通機関の運行量を増やしてほしい ・地域によっては乗客が多い割にバスの本数が少ない。気持ちよく乗れるよう本数や時刻表を見直してほしい ・バスは時間どおりに来ない。もっと交通機関を充実させてもらいたい ・鉄道の多い路線では、混雑緩和のため、電車の本数を増やす、改札の数を増やすことでスムーズになるようにしてほしい。特に多い路線では臨時電車を走らせることで満員電車にすることで混雑避けることができると思う。 ・電車やバスの混雑やダイヤを改善してほしい	推進施策 1 において、利便性や快適性をさらに高めていく取組を実施することを記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、より便利で利用しやすい公共交通ネットワークの実現に向けて検討してまいります。
・コロナ禍以前は観光客の方々が多く、バスや電車等の公共交通機関の混雑が激しかったので、増発等で対応してほしい	推進施策 1 において、公共交通の車内や歩行空間の混雑解消について記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、より便利で利用しやすい公共交通ネットワークの実現に向けて検討してまいります。

●何番のバスに乗ればいいのか分かりにくい。 掲示板だけではなく、アプリなどを作っ どのバスに乗ればいいのか分かりやすくし てはどうか ・京都市バス，地下鉄をすべて網羅したアプ リ等があれば便利だと思う ・京都市のバスの乗り換えや乗り場が分か りにくいいため，アプリなどで簡単に検 索できるような仕組みがほしい ・京都市バスの無料アプリを作り，乗換案内 や時刻表，バス乗り場のわかりやすい誘 導などを行えるようにしてもらいたい ・WEB 上の地図でバス停をタップするとバ ス停の時刻等を表示，バスの位置情報 を示す機能を付加してほしい	京都市では，乗換えルートなどの経路 検索や乗換地点までの徒歩経路の表示， 時刻表の閲覧等ができる無料の「歩くま ち京都アプリ バス・鉄道の達人」を配 信しておりますので，御活用ください。
●バスの案内表示がわかりづらい ●バス停の位置がわかりにくい ・どのバスに乗ればどこに到着するのかが全 く分からない。もう少し誰がみても分か りやすくしてほしい ・バスの番号が複数あってわかりにくい ・バス停が複数箇所あってわかりにくい ・バス乗り場や番号が観光客には分かりづ らい ・バスの乗り換えやどこに着くか，どちら方 面に行くかなどが分かりづらい ・京都駅から四条間のアクセスが悪い。四 条のバス停の場所が分かりにくく，人 も多いため使いづらい ・観光名所ごとにバスの番号を変えてほ しい ・バスに乗った後，何系統に乗っているか が分からない ・バスの乗り方が分からない ・バスの系統が多くて難しい	推進施策 1 において，公共交通の利便 性・快適性をさらに高めていく取組を 実施すると記載しており，今後，京 都市において基本計画を具体化する 中で，より便利で利用しやすい公 共交通ネットワークの実現に向 けて検討してまいります。

・MaaS の活用を推進するとあるが、既存のバス、鉄道、シェアサイクル、電動バイク、駐輪場、駐車場、タクシーを定額で利用できるようにしてはどうか	推進施策 1 において、IoT や AI、自動運転などの新技術、移動や交通に関する新たな概念である MaaS の活用等の検討を進めると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、より便利で利用しやすい公共交通ネットワークの実現に向けて検討してまいります。
・京都駅周辺の公共交通が分かりにくい。また、渋滞回避に向け、電車の活用、バス会社同士の連携・効率化を図るべき ・イコカが使えないバスがあり、難しい	推進施策 1 において、駅やバスターミナル等の交通結節機能の分散化やバリアフリー化の推進に加え、交通事業者間の連携についても記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、より便利で利用しやすい公共交通ネットワークの実現に向けて検討してまいります。

・踏切が多すぎて人身事故が多発している京阪本線伏見区域は疏水を利用して地下化するとともに川端通を延伸してほしい ・嵐電の車両を増やすとともに複線化してほしい ・阪急電鉄の終点を祇園四条駅に延長して京阪との連絡口を作してほしい。または京都河原町駅と祇園四条駅の連絡通路を作してほしい ・都市規模に比して多すぎる交通事業者の整理による利用コストを低減してほしい ・ホームからの侵入や転落を防ぐための柵の設置を京阪にも促してほしい ・楽器が置けるぐらいの大きさのロッカーを設置してほしい ・観光客や通勤通学流動の分散と混雑緩和のために京阪神宮丸太町駅と JR 山科駅の特急停車は真剣に考えてもよいのでは ・阪急嵐山線の電車の本数を増やしてほしい ・JR 嵯峨野線の本数が少ないと思うので本数を増やしてほしい ・イベントがあるときに周辺の公共交通機関がこみすぎていて困っている。臨時エクスプレスバスを出す、もしくは、西京極駅に特急がとまるようにしてほしい ・電車を全て地下鉄にするべき	御提案いただいた内容につきまして、各事業者において検討されるべき内容と考えております。 なお、本計画では、推進施策 1 において、交通事業者間の連携や、利便性・快適性の向上について記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、より便利で利用しやすい公共交通ネットワークの実現に向けて検討してまいります。
・歩くまち・京都の理念は、国が検討する「ウォーカブルなまちづくり」に先んじた優れた施策であり、さらなる推進を期待したい。幹線道路に囲まれた地域はバスの走らない地域もあるため、ラストワンマイルに対応し、細街路でも活用可能な「低速電動バス」の導入や、シェアサイクルサービスの推進をおこなってもらいたい	推進施策 1 において、IoT や AI、自動運転などの新技術、移動や交通に関する新たな概念である MaaS の活用等の検討を進めること、推進施策 2 においてウォーカブル推進都市としての魅力的な歩行空間創出について記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、「歩くまち・京都」のさらなる推進に向けて検討してまいります。

・地下鉄のホームドアを増やしてほしい ・可動式ホーム柵を増やしてほしい ・飛びこみ自殺者対策を講じてほしい	推進施策 1 において、駅等のバリアフリー化の推進について記載しているほか、推進施策 4 において、事業の根幹である安全・安心を最優先に、市民の足をしっかりと確保することを記載しております。今後、京都市において基本計画を具体化する中で、安全輸送を支える環境整備だけでなく、駅のバリアフリー化の観点も踏まえ、取組を検討してまいります。
・堀川(今出川より北)の歩道が多くてすてき。四条通りも歩道が広くなって良かった	京都市の取組を評価いただき、ありがとうございます。推進施策 2 においても人々が安心・安全に移動でき、にぎわいとゆとりのある魅力的な歩行空間の創出に向けた取組を実施することを記載しており、今後も歩いて楽しいまちづくりを推進してまいります。
・タクシー乗り場を人が通る大通りにつけてほしい ・四条通にタクシーや荷物の積み下ろしができるスペースを歩道に突き出す形でつけてほしい ・タクシーなどの運転が荒く危ないのでどうかしてほしい	推進施策 2 において、人々が安心・安全に移動でき、にぎわいとゆとりのある魅力的な歩行空間の創出について記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、関係機関やタクシー業界とも連携しつつ、誰もが「出かけたくなる」まちづくりに向けて検討してまいります。
・道が狭いことから渋滞しやすい。地域で生活する者のくらしを守ることにもっと重要視してもらいたい ・人がたくさん居る中に大型バスや一般車両が行き来するため交通渋滞が発生している	推進施策 2 において、自動車交通の円滑化や安心・安全に移動でき、にぎわいとゆとりのある魅力的な歩行空間の創出について記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、歩いて楽しいまちづくりに向けて検討してまいります。

●公園がなくとも、まちなかにベンチがあれば休憩やおしゃべりの場になると思う。ベンチを増やしてほしい ・歩道が殺風景なので歩道に屋根をつけて、植物をうえる	推進施策 2 において、安心・安全に移動でき、にぎわいとゆとりのある魅力的な歩行空間の創出について記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、魅力的な歩行空間の創出に向けて検討してまいります。
●車に惑わされず安心して歩ける環境整備を行ってほしい ・四条通が混雑しているので改善を ・東大路通の歩道拡幅を京大付近まで延伸し、地下鉄東山駅から京大病院地区まで学生教職員の一部徒歩移動を誘導することで、市バスの混雑緩和と健康増進につなげてほしい ・歩くまちを進めるには、もっと歩行者天国を増やしたり、歩道を広げる必要がある。また、観光地の道路は地元の住民又はバスの通行のみを許可するなどして、歩ける空間を抜本的に構築する必要がある ・観光地周辺や住宅街の歩行者用の通路が狭いので、歩道にわかりやすく色を付けて運転する人にも歩道があることを認識しやすくすることや、歩道を片側に集中させて拡大させるなど、歩行者に優しいまちにしたい	推進施策 2 において、安心・安全に移動でき、にぎわいとゆとりのある魅力的な歩行空間の創出について記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、魅力的な歩行空間の創出に向けて検討してまいります。
・四条通りの地下道に商業施設などを作って活用すべき ・阪急線烏丸～河原町間の地下道に人が全然いないので、活用策がないか	推進施策 2 において、安心・安全に移動でき、にぎわいとゆとりのある魅力的な歩行空間の創出について記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、魅力的な歩行空間の創出に向けて検討してまいります。

●市内近くに安い駐車場を設け、市内は地下鉄やバスで移動できるようにしてほしい ・休日の昼間に、河原町、四条、京都駅を周るバスの量を増やし、マイカー（乗用車）の乗り入れを抑制してほしい（やめるようにしてほしい） ・四条通りへの自家用車の乗り入れを禁止してほしい ・駐車場をもっと増やしてほしい ・中型バイクも置ける駐輪場を整備してほしい ・自転車やLRTの導入により、自家用車をまちから出してヨーロッパ並みのコンパクトシティに	推進施策 2 において、パークアンドライドの促進強化や物流対策、駐車場の有効活用と適切な配置等のクルマの流入抑制に向けた取組を実施すると記載しており、今後、京都市において、基本計画を具体化する中で、歩いて楽しいまちづくりに向けて検討してまいります。
・バス、地下鉄への乗車客の分散のために、バスの1日乗車券の値上げやバスから地下鉄に促すICカードの活用を進めてほしい ・駅やバスターミナル等の交通結節機能の分散化やバリアフリー化の推進に加え、鉄道、バスの乗り継ぎのシームレス化は重要。ICカード定期券を京都バスのように他事業者にも拡大してはどうか	推進施策 3 において、ICカードの普及等を踏まえ、公共交通をさらに便利で快適に使っていただくスマートなライフスタイルの定着を図っていくことを記載しており、御意見の趣旨に合致すると考えます。
・歩くことは、健康にもつながるため促してほしい。バス停までの距離感や歩く平均時間を記載することで、徒歩を促すことができるのではないか	推進施策 3 において、歩いて楽しいくらしを大切にすることを記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、「出かけたくなる」魅力と活力のあるまちとくらしの実現に向けて検討してまいります。

・朝のバスの本数を増やしてほしい ・地下鉄烏丸線で奈良行き急行の本数を増やしてほしい ・地下鉄の急行ダイヤを作してほしい ・地下鉄烏丸線で奈良行き急行の本数を増やしてほしい ・乗車率の低い時間帯の地下鉄の運行本数を減らし、代わりに市バスの本数の本数を増やすとともにバスレーンを設けてバスの遅延を防いではどうか ・地域によっては乗客が多い割にバスの本数が少ない。気持ちよく乗れるよう本数や時刻表を見直してほしい ・バスの運行本数を増やしてほしい ・運行本数、運行時間を最低年に2回は検討してほしい ・京北まで地下鉄を延伸してほしい ・市バス事業こそ信号制御などで京都府警察と連携した取組が必要	推進施策 4 において、市バス・地下鉄の利便性の向上について記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、より便利で利用しやすい公共交通ネットワークの実現に向けて検討してまいります。
・市バス路線の見直しが必要 ・バス路線を分散させてほしい ・西出町、菱川町に市バスを通してほしい ・観光用と市民利用のバス分ける、バスよりも地下鉄等の路線を増加させるなど、観光客と市民の調和を図ってほしい	推進施策 4 において、市バス・地下鉄の利便性の向上について記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、より便利で利用しやすい公共交通ネットワークの実現に向けて検討してまいります。

・公共交通機関の利便性・快適性の向上について、バリアフリーは進んでいるがまだまだ足りない。特に障害のある市民への市バス乗務員の対応について、車イスユーザーのことはもちろん、車イスを利用していない肢体不自由者・知的、視覚障害者もきちんとフォローしてほしい ・バスのサービスの質を均一化してほしい ・駅のホームにごみ箱を設置してほしい ・市バスが遅延するときは到着時間を表示してほしい ・市バスの運転が丁寧でなく、危ない ・6番系統も46番系統のように四条大宮で2ヶ所に停まってほしい ・携帯のサイト等でバスの運行状況を確認できるようにしてほしい ・バスも遅延証明書を発行してほしい ・市バスの遅延証明をインターネットでも出せるようにしてほしい	推進施策 4 において、市バス・地下鉄の利便性の向上について記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、より便利で利用しやすい公共交通ネットワークの実現に向けて検討してまいります。
・利用頻度に応じた市バス、地下鉄の割引制度を導入してほしい ・京都市バスに IC チップを導入してほしい ・「京都市バス」専用のカードを発行し、通勤通学による使用、または市民であることを条件とした使用による市民と観光客の選別をしてはどうか。 ・市バスのフリー定期を高校生にも販売してほしい ・観光客の方が使われるワンデypassで一駅でもせっかくだから乗ってしまおうという考えからの混雑もあるかと思う。少しでも歩いてみようという気持ちが生まれる工夫をしてはどうか	推進施策 4 において、市バス・地下鉄の利便性の向上について記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、より便利で利用しやすい公共交通ネットワークの実現に向けて検討してまいります。

●市バスの混雑を緩和してほしい ・地下鉄の混雑を緩和してほしい ・市バスが混雑するので、二階建てバスを導入してほしい ・バス、地下鉄の乗車客を分散させてほしい	推進施策 4 において、市バス・地下鉄の利便性の向上について記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化することで、より便利で利用しやすい公共交通ネットワークの実現に向けて検討してまいります。
・市バスの主要なバス停以外にも英語表記をつけてほしい ・市バスの優先座席が減ってしまったので改善してほしい ・市バスに大きな荷物を置けるようにしてほしい ・市バスに乗る時に運賃を払い降りる時はどちら側のドアから降りても良いというシステムにしてほしい	推進施策 4 において、市バス・地下鉄の利便性の向上について記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化することで、より便利で利用しやすい公共交通ネットワークの実現に向けて検討してまいります。
・市バスは狭いので、ベビーカーでのバス利用を容易にして欲しい	推進施策 4 において、市バス・地下鉄の利便性の向上について記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化することで、より便利で利用しやすい公共交通ネットワークの実現に向けて検討してまいります。

・どの市バスがどの駅に止まるかが全部分かる路線図が書かれた何かをバス停の前に設置してほしい ・市営バスの乗りかえが非常に分かりにくい。バス停の場所を近くに設定したり、分かりやすい地図を掲示するなど工夫してほしい ・市バスの均一運賃区間がややこしい。区間を京都市全体まで広げるか、バス内に掲示してほしい ・市バスの日乗車券を購入してバスに乗ったが、一日乗車券が使えないバスであり、分かりにくいことがあった ・市営バスの QR からアクセスしたページが分かりにくい ・市バスの利用方法がわかりづらいので HP にわかりやすく周知してほしい。また、遅延証明書がほしい ・市バスの利用方法をわかりやすくしてほしい ・市バスがわかりにくい ・市バスのバス停の場所が分かりにくいので、始めて来た人でも分かるような目印を付けてほしい	推進施策 4 において、市バス・地下鉄の利便性の向上について記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、より便利で利用しやすい公共交通ネットワークの実現に向けて検討してまいります。
・市内のバスを利用するが、まずきちんと時間どおりに来るようにしてほしい ・市バスが時間どおりにきてほしい ・バスが時間どおり運行するようにしてほしい	推進施策 4 において、市バス・地下鉄の利便性の向上について記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、より便利で利用しやすい公共交通ネットワークの実現に向けて検討してまいります。
・地下鉄の駅名を神宮道（美術館前）にするとともに、現在建築中の（旧白川小学校跡）ホテルに引き込む形で東山駅改札と歩道をつなげてほしい	推進施策 4 において、市バス・地下鉄の利便性の向上について記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、より便利で利用しやすい公共交通ネットワークの実現に向けて検討してまいります。

●観光客用と市民用のバスを分けてほしい ●観光客と住民の調和のために「1 日乗車券の値上げ（600 円から 800 円）」を行ってほしい ・市バス全路線で前払いを取り入れるとともに、観光客用の路線開拓をする ・バスの車内が混雑していて乗降しにくいので、バスの増便や車内通路を広げるなどしてほしい。前乗り後ろ降りを全車両に適用してもいいと思う ・観光地近くの住民が公共交通機関を利用しづらいので、専用のバスや格安定期を作してほしい ・観光客が多く、バスに乗れないことがある ・観光客が多く、車いすの方が利用しづらい ・市バスに乘客が乗るのに時間がかかるため、住民と観光客と分けるような仕組みがあれば良い ・観光客数が回復した際、市民の生活に影響が出ないよう、バスの混雑緩和の取組を進めてほしい ・市バスがすごく混むので、コロナのこともあり時差通学を元に戻せない ・市バスで大きなリュックを背負ってる人がいてバスに乗り降りしにくい。普通に生活する人と観光客のバスを分けてほしい。市バス・地下鉄乗り放題券の大幅な値上げと初乗り料金の値下げを行ってほしい ・京都市バスの混雑がひどい。一日乗車券の価格の値上げや市バスの 100 番系統は観光客優先とアピールをしていくべき ・市バスが満員で乗車できず、学校に遅刻することもある。本数を増やしてほしい ・市バスの中の通路を広くしてほしい ・市バスの両替機を前だけでなく、後ろにも付けてほしい	推進施策 4 において、市バス・地下鉄を市民や京都で働く人にとってより便利で利用しやすいものとすることを記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、利便性の向上について検討してまいります。
--	---

・都市規模の割に公共交通事業者が多すぎてマイカーから公共交通へのシフトの妨げとなっている。 - 市営地下鉄だけでも上下分離方式をとり、京阪に経営させるのも一つの考え方ではないか ・市バスの利用者増に向けた取組として、市バスのCMを流したり、・市バスの車内放送で声優と一緒にPRしたりしてはどうか ・市バス・地下鉄の利用者増に向けた取組として、京アニ声優が車内放送をすれば、聴きたい人が来てくれる。ラッピング車両も運行してはどうか ・市バスの利用者増に向けてチラシを配布してはどうか ・市バスは、住民にとって大事な移動の足である。良く利用したくなるよう市バスのゆるキャラを活用してはどうか	推進施策 4 において、中長期的な安定経営に向け、両事業一体で経営基盤を強化していくことを記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、安定経営に向けた取組について検討してまいります。
・地下鉄について、乗降者数を増やすために広告の工夫が必要。また、各駅に地下鉄をつくる際に出土したものを展示するブースをつくるなど集客の取組に力を入れてはどうか ・地下鉄の経営難について、真面目に改善策の検討を希望する	推進施策 4 において、市バス・地下鉄事業の根幹である安全・安心を最優先に、新型コロナウイルス感染症の影響などによる社会経済情勢の変化を踏まえた的確な経営判断の下、市民の足をしっかりと確保することや、中長期的な安定経営に向け、両事業一体で経営基盤を強化していくと記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、より便利で利用しやすい公共交通ネットワークの実現に向けて検討してまいります。
・京都市バスの横幅を狭めてほしい ・バスなどは人が多く、車椅子の方が利用しにくい。バスの構造を変えるなど、バリアフリー化を進めてはどうか	市バスについては、走行ルートや御利用状況等を総合的に勘案し、適切な車両を選択しております。今後も京都市において、安全・安心を最優先に市民の足の確保に向けて努めてまいります。

・地下鉄の料金を下げてほしい ・市バス・地下鉄の定期の範囲をもっと広くしてほしい ・地下鉄の初乗り代金が高い ・「市バス一日乗車券」を復活させ、500 円で販売してほしい ・市バスの均一区間の運賃を 200 円に値下げしてほしい ・地下鉄の値段が高いので、1 回の料金でどこまでも乗れるようにしてほしい ・高齢者は市バスを無料にしてほしい ・バスの一乗車券の価格をあげ、バスの乗車客の数を減らしてほしい ・市バスや地下鉄を徹底的に使いやすくしてほしい ・京都市民に市バス無料券を配布してほしい ・バスの統一運賃をなくしてほしい ・公共交通機関の料金を下げてほしい	市バス・地下鉄事業は、これまで着実に経営の健全化に取り組んできましたが、車両更新費用の増加や市バス運転士の担い手不足によるコストの上昇に加え、新型コロナウイルス感染症の影響により、かつてないほど危機的な経営状況に直面している中、働き方の変化も踏まえた持続可能な事業運営を行う必要があります。 今後、京都市において基本計画を具体化する中で、収入面の増加を図ることを中心に中長期的な安定経営に向けた取組について検討してまいります。
・地下鉄に人数制限を加えてみてはどうか	京都市では、事業の根幹である安全・安心を最優先に、新型コロナウイルス感染症の影響などによる社会経済情勢の変化を踏まえた的確な経営判断の下、市民の足をしっかりと確保していく必要があると考えております。今後、京都市において基本計画を具体化する中で、安全・安心を最優先とした市民の足の確保に向けて努めてまいります。
・放置自転車の回収頻度が高すぎる ・自転車の罰金が高すぎる	推進施策 5 において、自転車利用のルール・マナーの徹底や駐輪需要に応じた駐輪場整備を進めるとしており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、自転車の利用環境の充実に向けて検討してまいります。

・大宮駅や四条大宮駅前的大通りに自転車専用の走行スペースをつくってほしい。歩道では自転車を押すことをもっと呼びかけてほしい ・自転車の運転が荒い人が多い。自転車専用道路を増やす。自転車から降りて通る道を増やしてはどうか ・自転車が危ないことが気になる	推進施策 5 において、自転車利用のルール・マナーの徹底、安心・安全の確保や自転車走行環境のさらなる整備について記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、自転車の安心・安全な利用環境の充実に向けて検討してまいります。
・自転車が危険なので、時間規制や歩道は押して歩くことを啓発するなどの取組を進めてほしい ・自転車マナーの啓発が必要。また、信号前の自転車の停止線が必要	推進施策 5 において、自転車利用のルール・マナーの徹底、安心・安全の確保や自転車走行環境のさらなる整備について記載しているほか、推進施策 2 においても駐車場の有効活用と適切な配置について記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、まちなかでの自動車流入抑制と併せて自転車の安心・安全な利用環境の充実に向けて検討してまいります。
・自転車道の看板位置の見直しとマナーの浸透が必要。また、路上駐車が非常に多い	推進施策 5 において、自転車利用のルール・マナーの徹底、安心・安全の確保や自転車走行環境のさらなる整備を記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、自転車の安心・安全な利用環境の充実に向けて検討してまいります。 なお、路上駐車の規制については、京都府公安委員会が所管していることから、京都府公安委員会において検討されるべきものと考えます。

●自転車道と歩道の区別をはっきりしてほしい ●歩道や車道と完全に隔離された自転車専用道路をつくってほしい ●自転車道路の幅を広げてほしい ●道幅が狭いので、歩行者と自転車が通行するのは危険 ●二輪車専用道路を増設してほしい ●自動車道の安全確保を進めてほしい ・バス停に人が溢れている時に自転車で通るの怖い ・自動車や自転車の数を減らすか、自転車道を整備するなどして、錦小路の混雑を緩和してほしい ・御池の自転車道の道幅が広いので、自転車が並んで走っていることがある ・自転車をのりやすいようにしてほしい ・自転車が運転しにくい ・車道の歩道側に自転車用道路を作してほしい ・四条通等の大通りには自転車専用レーンを作してほしい ・丸太町通について、自転車専用道路または歩行者優先道路を作してほしい。ラインを引くだけでも構わない ・西院並に自転車道を完備して、自転車で観光、通勤やショッピングを楽しんでもらう都市にほしい ・人気の観光地付近には自転車用の道路があるといい ・四条大宮から西院までの車道と自転車道について、柵がないため自転車としては通るのが非常に怖い。 ・車道と自動車が走る場所の間を緑石線などでわけて、双方向通行にほしい	推進施策 5 において、自転車走行環境のさらなる整備を進めることを記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、自転車の安心・安全な利用環境の充実に向けて検討してまいります。
--	---

・安心できる自転車走行環境を整備してほしい ・車利用者を減らし、自転車利用を促進する等、CO2 の削減に取り組んでほしい ・自転車で車道を走りたいが、市バスやタクシー、一般車両までも路肩に止まるため、事故のリスクは非常に高い ・「自転車は車道の左側通行」を徹底させるために、「横断歩道の自転車通行レーン表示」と「歩道に立ててある『自転車通行可』の交通標識」を原則としてすべて撤去してほしい	推進施策 5 において、自転車走行環境のさらなる整備を進めることを記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、自転車の安心・安全な利用環境の充実に向けて検討してまいります。 なお、「自転車通行可」等の交通標識の設置、撤去等につきましては、設置主体である京都府警察において検討されるべきものと考えております。
・自転車が走行しやすいよう路上駐車規制を強化してほしい ・四条通り烏丸西大路間における路側帯の拡張及び路上駐車取締を強化してほしい	推進施策 5 において、自転車走行環境のさらなる整備を進めることを記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、自転車の安心・安全な利用環境の充実に向けて検討してまいります。 なお、路上駐車規制については、京都府公安委員会が所管していることから、京都府公安委員会に置いて検討されるべきものと考えます。

●駐輪場が少ないので増やしてほしい ●駐輪場の無料化を進めてほしい ●自転車の駐輪場を整備してほしい ・無料の自転車置き場を増やすべき。また、放置していた人への注意・警告を本人に伝えてから撤去するようにしてほしい ・駐輪場が汚いものが多いので、改善してほしい ・無料駐輪スペースを遅い時間まで開放してほしい ・気楽に使えるように1時間まで無料にしてほしい ・市街地や交差点などにもっと駐輪場を増やしてほしい ・中心部以外の駐輪場を整備してほしい ・自転車置き場が足りてないのに自転車を撤去しないでほしい ・駐輪場の場所をわかりやすく示してほしい ・駐輪場について、歩くまち京都やエコな京都をアピールしたいのであればもっと使いやすいように値段や場所の充実が望まれる	推進施策 5 において、駐輪需要に応じた駐輪場整備やより効果的・効率的な放置自転車対策を進めることを記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、自転車の利用環境の充実に向けて検討してまいります。
・コロナ禍の下、自転車利用が増加する中で、駐輪場や自転車レーンの整備は十分であるとは言い難い。民間活力も含めた創意工夫を進めるとともに、自転車政策推進室を都市計画局に移管し、都市計画として自転車政策を推進していただきたい ・広げた歩道や空きテナントや使える土地を有効活用し、無料の駐輪場を設置してほしい。それに加えて、車道ではなく、広げた歩道に自転車レーンを敷いてほしい	推進施策 5 において、駐輪需要に応じた駐輪場整備を進めること及び自転車走行環境のさらなる整備を進めることを記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、自転車の安心・安全な利用環境の充実に向けて検討してまいります。

・自転車による観光を推進していくべき ・レンタル自転車を整備してほしい ・観光客にシェアサイクルなどの方法も選択肢の一つとして検討してほしい ・観光スポットにレンタル自転車を設置する ・自転車で過ごしやすいまちに ・自転車やLRTの導入により、自家用車をまちから出してヨーロッパ並みのコンパクトシティに	推進施策 5 において、自転車の特性を生かした活用策を展開すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、自転車の多様な場面での活用に向けて検討してまいります。
・自転車レーンを造りすぎ	歩行者の安全を守り、自転車が正しく車道を走行できる環境の整備のためには自転車の走行場所と方向を明示する必要がありますと考えます。今後、京都市において基本計画を具体化する中で、安心・安全で快適に自転車が利用されているまちづくりに向けて検討してまいります。
・放置自転車の回収業者の音をもっと静かにしてほしい	京都市では、市民の皆様の御協力の下、放置自転車について啓発や撤去等の対策を行っています。放置自転車の回収に当たっては、周囲の方への呼び掛け・啓発の意味も込めて放送等を行っているところです。御迷惑をおかけいたしますが、御理解くださいますようお願いいたします。
・自転車で交通違反をした人や事故を起こした人を厳罰化してほしい	交通違反の罰則については、道路交通法で規定されており、量刑については国において検討されるものと考えております。
・車が歩行者を優先しない	通行規制については、京都府公安委員会が所管していることから、京都府公安委員会において検討されるべきものと考えます。
・五条通の桂川にかかる西大橋について、朝夕の渋滞解消してほしい。また、自転車道も整備してほしい ・五条通の桂川にかかる西大橋について、凸凹な歩道の整備を	五条通は、国土交通省京都国道事務所が管理しており、渋滞解消に向けた取組については、京都国道事務所において検討されるべきものと考えます。

・バス停に花束を置いて、バスの案内にすぐお礼ができるようにしてはどうか	京都市では、おもてなしの心による丁寧な接遇を徹底するとともに、お客様の御期待やニーズにお応えし、より質の高いお客様サービスを提供することにより、市バス・地下鉄に満足いただけるように取り組んでおり、今後もお客様満足度の向上をめざしてまいります。
・車内を季節ごとに飾っては	京都市では、おもてなしの心による丁寧な接遇を徹底するとともに、お客様のご期待やニーズにお応えし、より質の高いお客様サービスを提供することにより、市バス・地下鉄に満足いただけるように取り組んでおり、今後もお客様満足度の向上をめざしてまいります。
●北陸新幹線の整備には反対 ・北陸新幹線の整備で環境が汚染される ・コロナで在宅勤務が増えるなか、リニアや北陸新幹線が必要か再考すべき ・北陸新幹線により環境悪化が懸念される。リニアについては奈良線平城山駅付近に新駅とすれば、JR 奈良線全線複線化に弾みがつくのではないか	京都市以外の事業者によって進められる北陸新幹線の整備については、現在、環境影響評価の進められているところであり、今後、当該手続の中で、環境影響評価審査会の御意見もいただいたうえで、自然環境や生活環境、文化財、都市機能、建設発生土砂の処理など様々な点で影響を徹底して回避・低減していただくため、京都市として必要な意見を提出してまいります。 リニア中央新幹線については、京都市において、京都府及び経済界と連携し、昭和 48 年に国が決定した基本計画を改めて検討することを求めています。
・電車を全て地下鉄にするべき	JR、阪急、京阪、近鉄について、市内中心部の大半は高架を走行しております。また、叡電・京福を含め、地上部分を走行している区間もありますが、それらを地下化することについては、鉄道各社において検討されるべきものと考えております。

・歩くまちという表現がわかりにくい	マイカーへの依存度が高まってくるにつれて、交通混雑や地球温暖化といった様々な課題が生まれてきており、クルマを重視したまちとくらしを、歩くことを中心としたまちとくらしに力強く転換していくということを「歩くまち」として表現しております。京都市において、今後とも一層「歩くまち」の理念を普及啓発してまいります。
--------------------------	---

土地・空間利用と都市機能配置

◆ 審議の参考とさせていただいた御意見

御意見の要旨	御意見に対する考え方
・21「土地・空間利用と都市機能配置」は、他の政策に関連するので、力を入れて推進していただきたい	計画に掲げる推進施策の下、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、2025年の姿の実現に向けて検討してまいります。

●スーパーが少なく住みにくい ●大学の周りに飲食店，スーパー，コンビニの数が少ないので増やしてほしい ・人口減少を食い止めるために若者を増やす努力を ・若い世代が京都市内で居住できる体制を構築してほしい ・小回りのきく若い世帯も住みやすい京都市をめざしてほしい ・若者が住み続けられるまちづくりをすべき。具体的には，就職先（企業）の誘致と，安価なマンション（住宅）の誘致が必要だ ・これからの世代のためにハード・ソフト両面の整備が進み，安心して長く住み続けられるように，まちの中でのストレスが最小化できるような整備も進んでいくことに期待を持っている ・住むにはハードルが高い気がする。庶民が使えるお店や交通環境などの整備が必要 ・本屋さんを増やしてほしい ・大規模商業施設はこれ以上必要ない。行くところが同じような場所ばかりになってしまう ・土地価格の上昇施策で若者は市内に住めない ・京都駅にある美術館など大きい施設は渋滞緩和のために都市郊外に移転すべき ・主要な公共交通拠点を中心に都市機能の集積を図るとあるが，出町柳や国際会館，太秦天神川などは商業の機能集積は見られない ・商業・業務機能集積により職住近接の必要性が阻害されているのではないか。機能分散化も大事ではないか	推進施策 1 において，あらゆる世代が安心・安全で快適に暮らし続け活動することができるよう，公共交通ネットワークも考慮し，地域の特性を踏まえた居住環境の充実や，生活利便施設，働く場など必要な都市機能の集積を図ることを記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，多様な地域の特性を生かした魅力的な拠点づくりに向けて検討してまいります。
---	---

・都心部の街並保全と、住民回帰への仕組み作りが求められる ・ホテルをオフィスとして活用してほしい ・地下道を延伸してほしい ・河原町御池から四条河原町にかけて地下街を作ってほしい	推進施策 2 において、歴史的都心地区周辺や京都駅周辺地域などの都心部において、国内外から訪れる多くの人々の活動を支える広域的な商業機能やオフィスなどの業務機能の集積を図ると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、商業・業務機能が集積した京都らしい都心空間の創出に向けて検討してまいります。
・京都市南部地域の開発を進めてほしい ・計画的にまちづくりをしていないので大企業や工場が点々と散らばっている。地下鉄のそばに集中して配置するようにしてほしい ・京都駅以南の交通の便を良くする。大きなイベントが開ける建物、場をつくり京都市外から人を呼ぶ	推進施策 3 において、京都の新たな活力を生み出す産業が集積する地域をめざす「らくなん進都」をはじめとする南部・西部地域等の活性化について記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、創造を続ける南部・西部地域等のまちづくりに向けて検討してまいります。
●中心以外の地区が地域の特性を活かして活発になることがあれば望ましい ・嵯峨野・大原・清水などでは、京都を守るために今まで積み重ねてきた規制のあり方をこれからの時代に適したものに見直し、ブランド力を活かした事業展開を官民協力して行うことが必要 ・自然豊かな土地を開発せず、今の環境を大切にしてほしい ・伏見地区に文化的施設等を望む	推進施策 4 において、京都の魅力を受け継ぎ、存分に生かした個性豊かなまちづくりをめざして山間部や市街地をはじめ市内のさまざまな地域において、歴史や伝統に培われた文化や景観、産業、知恵など、地域の資源を生かしたまちづくり活動や、京都のまちを大切にする市民や企業・事業者、専門家などが交流し、新たな価値を創造する場の形成などを支援すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、京都ならではの文化など地域資源とポテンシャルを生かした個性豊かなまちづくりに向けて検討してまいります。

・京都刑務所の機能を滋賀刑務所に移転統合し，跡地に宅地を移転させてほしい	京都刑務所敷地の活用については，平成 31 年 2 月に策定した京都刑務所敷地の活用を核とする未来の山科のまちづくり戦略を国に提示し，移転をはじめとした敷地の有効活用の検討を要望しており，京都市において，引き続き，当該敷地の多様な活用の実現に向けて取り組んでまいります。
・ニュータウンをくらしやすいまちへ再生させる必要があり，住宅リフォームを含む維持，管理の向上が大事。また，生活に必要なスーパーマーケット，病院，介護福祉施設，保育所や学校などの維持整備が必要	推進施策 5 において，洛西，向島ニュータウンのまちづくり組織が主体となったまちづくり活動を積極的に支援するとともに，老朽化している施設や公共空間の再整備や，民間事業者とも連携した新たな魅力の創出・発信や生活利便性の向上，働く場の創出等に取り組むなど，新たな時代のニーズをとらえ，地域が一体となった再生・活性化の取組を推進すると記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中でニュータウンの未来を創造するまちづくりに向けて検討してまいります。
・パチンコ屋などをなくす	推進施策 6 において，さまざまな地域でそれぞれの地域の特性に応じた自主的なまちづくりが継続的に展開されるよう，まちづくり活動の支援やしくみづくりを推進することについて記載しています。こうした地域の活動を通じてパチンコ店の出店規制をされた地域もあり，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，まちづくりを支えるしくみづくりに向けて検討してまいります。

・まちづくりの妨げになる駅前生産緑地を解消し、道路拡幅整備を行うことが必要（特に JR 藤森駅周辺）	都市計画に関する基本的な方針を定める京都市都市計画マスタープランでは、市街地内やその近辺におけるみどりの保全のため、「市街地内やその近辺の優良農地は、新鮮な農作物を供給する役割とともに、緑のオープンスペース機能、避難のための空間としての機能、雨水の貯留や都市の水循環機能、公共施設の保留地としての機能を目的として、維持方策を検討する。」と掲げています。 また、京都市緑の基本計画では、市街地の緑の保全、創出、活用のため、「市街化区域の優良農地については、生産緑地地区制度を維持し、計画的な保全を図る。」と掲げております。 京都市では、このような考えの下で生産緑地制度を運用しております。
---	--

景観

◆ 審議の参考とさせていただいた御意見

御意見の要旨	御意見に対する考え方
・京都の自然を守り未来の子ども達に昔からの生活、自然を残してほしい ・5年後の京都は、山が多い綺麗な場所が増えてほしい	推進施策 1 において、京都らしく美しい景観の基盤となっている三山の山並みなどの自然的・歴史的景観の保全について記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、風致景観の維持・森林景観づくりの推進に向けて検討してまいります。

・京都市は都会過ぎず，街並みのバランスが取れている ・もっと地下街を活用すべきで，ビルの高さの制限は守り，景観は大切にすべき。外は京都らしく，内は最先端がコンセプトでないか	推進施策 2 において，三山の山並みや河川等の豊かな自然景観や趣を残す美しい町並みなどと調和する品格のある市街地景観を形成するため，建築物等に対するきめ細かなデザイン規制による誘導や眺望景観の保全などに取り組むと記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，品格のある市街地景観の形成に向けて検討してまいります。
・景観について，SNS などを利用して美しさをもっとアピールしては	推進施策 2 において，質の高いデザインの建築物の顕彰などを推進していくと記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，品格ある市街地景観の形成に向けて検討してまいります。
・伝統産業と町並みを守って，世界に誇れる京都であり続けたい	推進施策 2 において，三山の山並みや河川等の豊かな自然景観や趣を残す美しい町並みなどと調和する品格のある市街地景観を形成するため，建築物等に対するきめ細かなデザイン規制による誘導や眺望景観の保全などに取り組むこと，また，これらに加えて，社寺等及びその周辺の歴史的景観の保全のほか，時代をリードする質の高いデザインの建築物への誘導や顕彰などを推進していくことを記載するとともに，推進施策 3 において，風情ある京都の町並み景観を次の世代に継承していくため，京都の歴史，文化の象徴ともいえる社寺や京町家，大規模邸宅等の景観資産について，これまでの重要伝統的建造物群保存地区等の地区指定制度や歴史的風致形成建造物等の個別指定制度により，それらの建造物の保全，修景等を行い，歴史まちづくりを推進することを記載しており，御意見の趣旨に合致するものと考えます。

・コンビニを落ち着いた色合いにしてほしい ・「まちなか」は地味な印象を受けるので、より「京都らしさ」を出してほしい ・内側から外にむけてはられている広告や装飾によって派手に見えてしまっていてもらったくない ・再エネ推進に当たり、太陽光パネルの規制を（防災、景観、水源保全） ・景観について、神社とかから出たらお土産屋さんとかがあって雰囲気が欠ける ・家屋の色の規定がきつすぎる。色だけで京都らしさ（落ち着き）を表現しているのは変えてほしい ・京都の色のイメージが茶色や緑（自然や木造）なので、これから発展していく中でもそれが損なわれないものがない	推進施策 2 において、建築物等に関するきめ細かなデザイン規制や広告景観の創造等について記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、品格のある市街地景観の形成に向けて検討してまいります。
・伝統的ななかや葺き屋根の保全も検討してほしい ・有名な社寺の近隣へのマンションやホテルの建築を厳しく制限もしくは禁止してほしい	推進施策 3 において、京都の社寺や京町家、大規模邸宅等の景観資産の保全・修景等について記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、風情ある京都の町並み景観を次の世代に継承する歴史まちづくりの推進に向けて検討してまいります。
・京都市の和風の雰囲気が好き ・伝統的な建物がある土地を残していけるようにしてほしい ・歴史の中の社寺、京都の暮らしのなかの祭事などを見学、体験などを通して深く知ってもらうこと	推進施策 3 において、風情ある京都の町並み景観を次の世代に継承していくため、京都の歴史、文化の象徴ともいえる社寺や京町家、大規模邸宅等の景観資産について、これまでの重要伝統的建造物群保存地区等の地区指定制度や歴史的風致形成建造物等の個別指定制度により、それらの建造物の保全、修景等を行い、歴史まちづくりを推進すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、歴史的な町並みや京町家等の保全・継承に向けて検討してまいります。

・文化庁の移転を機に、長期的な視野で京町家の維持に取り組んでほしい ・京町家条例で京町家を残すのは難しい。もっと積極的な規制が必要 ・町家は個々の持ち主の自助努力に頼るばかりでは消えていく。京都ならではの評価機軸をもって部門部署関係なく、持ち主ときちんと協働して保全するよう努めてほしい	推進施策 3 において、京町家等の流通促進や地域における保全・継承に関する活動促進等を推進すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、歴史的な街並みや京町家の保全・継承に向けて検討してまいります。
●オフィス街での建物の高さ制限はなくても良い ●高さ規制の緩和には反対 ・高さ制限の緩和はらくなん進都以外では許されない ・「京都らしい」建築デザインの提案、建物スカイラインの規制の継続を希望する ・鴨川から大文字山が見えるように、建築規制を残してほしい ・建物が高層化し、京都らしさが消滅しつつあるので改善を	推進施策 4 において、京都の景観の守るべき骨格を堅持したうえで、歴史や文化の継承、快適な居住環境の形成、ものづくり産業の集積など、地域ごとのビジョンに応じた景観づくりを展開すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、都市格を維持しつつ都市の活力につながる優れた景観の創造に向けて検討してまいります。
●無電柱化を進めてほしい	推進施策 5 において、整備コストの縮減や市民・企業・事業者との協働等により無電柱化を進めることについて記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、魅力あふれる道路空間の創出に向けて検討してまいります。
・人気観光地の一極集中を無くすため、全ての寺社仏閣の周辺道路は石畳風にした方が良い ・河原町通りや四条通の歩道のタイルを、枯山水模様に ・市内の歩道について、南北と東西で色をもう少し統一感をもって整備してほしい ・路面の舗装を工夫するべき。京都らしさの具体性をもっと持たせると良い	推進施策 5 において、舗装や照明柱等について周辺景観と調和させることなどについて記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、魅力あふれる道路空間の創出に向けて検討してまいります。

建築物

◆ 審議の参考とさせていただいた御意見

御意見の要旨	御意見に対する考え方
・ バリアフリー化していない建物が多いので、改善していくべき ・ 地下鉄駅や京セラ美術館など、十分なバリアフリー整備を行ってほしい ・ バリアフリーを充実するべき。バスや歩道など車いすの方がもっと使いやすい環境を作るべき	推進施策 1 において、すべての人にやさしく使いやすい建築物の整備について記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、良質なストックへの誘導に向けて検討してまいります。
・ 京都のまちの雰囲気を残しつつ、急な階段や空間を改善し、住みやすいまちをめざす ・ 木材の燃焼被害を防ぐ技術を積極的に活用してほしい	推進施策 1 において、すべての人にやさしく使いやすい建築物や京都らしさを盛り込んだ長寿命の環境配慮建築物への誘導について記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、良質なストックへの誘導に向けて検討してまいります。
・ 市内建築物について、景観デザインの側面だけでなく、農林振興施策とも連携して木材利用促進の観点を取り入れてほしい	推進施策 1 において、木材利用の促進など、多様な関係機関と連携し、良質な建築物の供給につながる取組を強化することについて記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、良質なストックへの誘導に向けて検討してまいります。
・ 文化庁の移転を機に、長期的な視野で京町家の維持に取り組んでほしい ・ 新しく京町家を立てることも含め、京町家の消失を防いで保護してほしい ・ 京町家条例で京町家を残すのは難しい。もっと積極的な規制が必要 ・ 町家は個々の持ち主の自助努力に頼るばかりでは消えていく。京都ならではの評価機軸をもって部門部署関係なく、持ち主ときちんと協働して保全するよう努めてほしい	推進施策 2(4)において、京町家等の歴史的価値のある建築物の円滑かつ適切な保存活用、京町家の特性を生かした住宅の普及を推進すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、歴史的価値のある建築物の活用に向けて検討してまいります。

・路地上敷地（非道路）のリノベーションを積極的に推進してほしい	推進施策 3 (1) において、密集市街地や細街路等の状況に応じた袋路等の整備改善について、推進施策 3 (2) において、袋路等の地域性など個々の状況に応じた建築制限の強化と緩和について記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、歴史都市・京都ならではの災害に強いまちづくりに向けて検討してまいります。
・山科区内の生活道路の拡幅整備を急ぐべき ・生活道路の拡幅整備により災害対処力を強化させることが急務	推進施策 3 (2) において、2 項道路後退の確実な実施等について記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、歴史都市・京都ならではの災害に強いまちづくりに向けて検討してまいります。
・公共施設に設置されている、太陽光発電設備の安全維持と非常時の電源として災害時に役立てるための設備の維持・点検は重要	推進施策 4 において、市有建築物の維持管理・更新等に係る中長期的な経費見込みを把握したうえで、改修時期や費用等について詳細に検討し、効率的かつ効果的な維持修繕による長寿命化を推進することや市内産木材や再生可能エネルギー利用設備を最大限活用する等、脱炭素社会の実現に向けて先導的に取り組むと記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、最適な維持管理の推進や先導的取組の推進に向けて検討してまいります。

・廃校や旧公設市場などの市有建築物も、防火や耐震といった厳しいことを言わずに、有効活用する事で、地域の活性化が図れるのではないか	京都市においては、多くの人が利用する市有建築物については安全に利用することが重要であると考えております。推進施策 4(2)において、市有建築物の整備に当たっては、品格ある市街地景観の形成を図るとともに、耐震化をはじめ、激甚化する自然災害等に対する防災機能を向上させるとしており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、先導的取組の推進に向けて検討してまいります。
・建築物の質の向上，建築物が健全な状態で有効活用されるには，建設就業者が継続して就業し，安心して生活できることが必要	京都市が発注する工事等においては、公契約基本条例に基づき、市内中小企業の受注等の機会の増大、従事する労働者の適正な労働環境の確保等に取り組んでいるほか、建設産業における労働者の労働環境の改善と中長期的な育成・確保を図ることを目的に、建築及び設備工事における週休二日モデル工事を試行しているところです。
・東海道新幹線の高架付近の住宅の固有振動数を変え，柱と壁の補強作業や防音対策をしてほしい	新幹線における騒音について、環境基準を超えている場合は、京都市等において JR 東海等の関係者に対策要請等を行ってまいります。

住宅

◆ 審議の参考とさせていただいた御意見

御意見の要旨	御意見に対する考え方
・住居を構えるとなると、若年層の方が住みにくい環境にあると思う。若年世代への手厚い支援も必要 ・統廃合されて使用されていない校舎をなくし、若い人たちの集合住宅を作ってほしい ・ファミリータイプの住宅で 2000 万円台の供給を増やしてほしい ・若年層への家賃・固定資産税補助・安価な市営住宅の提供・空き室が多い市営住宅の利用・若年層への町家提供を進めてほしい	推進施策 2 において、京都の次代を担う若者・子育て世帯のニーズに合った住宅など、ライフステージや生活様式に応じた多様な魅力あるすまいの供給を促進すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、将来にわたって活力ある持続可能なまちの実現に向けて検討してまいります。
・「既存住宅の流通促進」が重要。住宅ストック数としては相当な数になっているマンションについて重点的な着手が手薄。マンション管理適正化法の改正を上手く活用し、管理をしっかりして長持ちさせることもできるし、計画的に解体・除却・管理組合の解散ができるような誘導があればよい ・築年数の古いマンションの管理を行政でコントロールしてほしい。また、50 年以上の住宅ローン融資を可能にするようマンション管理の向上に取り組んでほしい	推進施策 3 において、分譲マンションの適切な維持管理について記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、住宅ストックの良質化のための適正な維持管理や更新の支援に向けて検討してまいります。
・住宅新築優遇税制をやめさせ、中古住宅流通促進と新規宅地開発抑制を行ってほしい	推進施策 4 において、既存住宅を安心して取得できるようなしくみの普及や住環境に関する情報提供等について記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、既存住宅の流通促進に向けて検討してまいります。
●空き家を地域コミュニティの場として活用してはどうか ・空き家の活用を進めてほしい。例えば高齢者のコミュニティスペースをつくってはどうか	推進施策 4 において、空き家を働く場や地域おこしの場等として活用することなどを記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、総合的な空き家対策を検討してまいります。

・これから建物ストックが空き家という形で大量放出されるので、対策を講じる必要がある ・海外での「空き家活用例も参考に空き家の活用を進めてほしい ・京都市が相談窓口や補助金を出し、空き家に安く子育て世代が住めるような施策を進めてほしい	推進施策 4 において、空き家の発生の予防、働く場や地域おこしの場合等としての活用・流通の促進、適正な管理、固定資産税等の住宅用地特例の厳格な運用といった総合的な空き家対策を推進すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、既存住宅の流通促進に向けて検討してまいります。
・袋路の細街路において住民相互が協力して避難経路を確保できるようにしてほしい	推進施策 5 において、袋路等の細街路に面する住宅の避難経路・避難地の確保等について記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で住宅・住環境の安全性の向上に向けて検討してまいります。

道と公園・緑

◆ 答申案に反映させていただいた御意見

御意見の要旨	御意見に対する考え方
・「ウィズコロナ社会における賑わいのあるコミュニティ空間」という文言が抽象的すぎるため、もっと具体的に説明してほしい	推進施策 1 を 3 密（密閉・密集・密接）を回避しながら、にぎわいの創出や地域活性化を図るという表現に修正しました。

◆ 審議の参考とさせていただいた御意見

御意見の要旨	御意見に対する考え方
・京都市内の中心部と山間部を繋ぐ道路の改善に早急に取り組んでほしい ・狭あい道路こそ電柱・街灯・標識を一本化させ、片側移設するなど、歩きやすい環境整備を行ってほしい（特に山科区内）	推進施策 1 において、緊急輸送道路等における道路拡幅、無電柱化等の推進について記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、都市の活力・レジリエンスの向上に向けた道路整備に向けて検討してまいります。
・電柱の地中化、老朽化した橋の強化を	推進施策 1 において、橋りょうの耐震補強や無電柱化の推進について記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、都市の活力・レジリエンスの向上に向けた道路整備に向けて検討してまいります。

●スクールバスが通る国道が大渋滞していて、学校の定時に到着しないので、渋滞を改善してほしい ・二条城近くの堀川通りの小さい方の道路を整備する ・七条通葛野大路付近の道路が狭いため、拡張工事を計画どおり早く完成してほしい ・鴨川及び堀川の下部に一般車車両用の地下道を設けてほしい ・他府県の人が来やすくなるよう高速道路を整備してほしい ・コロナ禍で道が混みやすくなっており、路駐などが多く走りにくい ・六地蔵～向島～第二京阪道路を結ぶ幹線道を整備し、六地蔵付近の渋滞を解消してほしい ・三条通り(嵐山から西大路あたりまで)がせますぎる ・人がたくさんいる中に大型バスや一般車両が往来するため交通渋滞が発生している ・マイカー観光・通勤を有料化し、安全な道路整備のための資金としてほしい ・鴨川運河(琵琶湖疏水)の塩小路～墨染は土木遺産から外して並行する京阪本線の地下化並びに川端通の延伸に活かし道路事情改善を ・道が狭いことから渋滞しやすい。地域で生活する者の暮らしを守ることにもっと重要視してもらいたい	推進施策 1 において、市内交通はもとより広域的な交通も含めた、円滑な移動・輸送の確保に向け、幹線道路をはじめ道路整備を推進することを記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、都市の活力・レジリエンスの向上に向けた道路整備に向けて検討してまいります。
--	---

・緊急避難路でありながら極端に狭い道路にバイパスを整備するか一方通行規制を行ってほしい	推進施策 1 において、市内交通はもとより広域的な交通も含めた、円滑な移動・輸送の確保に向け、幹線道路をはじめ道路整備を推進することを記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、都市の活力・レジリエンスの向上に向けた道路整備に向けて検討してまいります。 なお、一方通行規制については、京都府公安委員会が所管しているため、京都府公安委員会において検討されるべきものと考えます。
●電柱を埋めるのを進めてほしい	推進施策 1 において、無電柱化の推進について記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、都市の活力・レジリエンスの向上に向けた道路整備に向けて検討してまいります。
・老ノ坂に歩道をつくってほしい	国道 9 号は、国土交通省京都国道事務所が管理しており、歩道の新設についても、通行状況などに応じて京都国道事務所が設置するものです。歩行者の安全性を確保するため、京都国道事務所において検討されるべきものと考えます。

●通学路にあたっている部分の道路を拡幅してほしい ●歩道を拡幅するなど、歩行者優先を徹底してほしい ●歩道が狭い。広くしてほしい ●バス停付近に人が集まるので、歩道を通行しづらい ●バスや自動車が通行する道と歩道が接しており、危ない ・カーブミラーの設置場所を見直してもっと多い場所にミラーを設置してほしい ・事故を防ぐため、ガードレールを設置してほしい ・歩道の設置を進めてほしい ・観光地周辺はもちろん住宅街においても歩行者用の通路が狭いと感じる。歩道にわかりやすく色を付けて運転する人にも歩道があることを認識しやすくすることや、歩道を片側に集中させて拡大させるなど、歩行者に優しいまちにしてほしい ・道幅を広げ、人がスムーズに歩行できるようにしてほしい ・東大路通の歩道拡幅を京大付近まで延伸し、地下鉄東山駅から京大病院地区まで学生教職員の一部徒歩移動を誘導することで、市バスの混雑緩和と健康増進につなげてほしい ・もう少し、海外の方々が歩きやすいようにかわってほしい ・歩くまちを進めるには、もっと歩行者天国を増やしたり、歩道を広げる必要がある。また、観光地の道路は地元の住民又はバスの通行のみを許可するなどして、歩ける空間を抜本的に構築する必要がある ・夜道の足元が暗い（歩道）	推進施策 1 において、通学路等の交通安全対策を着実に推進すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、すべての人の安心・安全の確保に向けて検討してまいります。
---	---

・西京区の嵐山東小学校の辺りから、嵐山東公園が北端までの提防に街灯を設けてほしい ・夜の道の明るさの実態を調査し、暗いところには街灯を増設してほしい。塾等へ夜遅くまで行く子も多く、夜道が暗いと危険 ・街灯が暗い ・街灯が少ない ・国際会館や岩倉辺りの山の方に街灯が少なく、道も狭く車通りも多く怖いため改善してほしい ・花園駅付近の道路で街灯が少ない	推進施策 1 において、通学路等の交通安全対策を着実に推進すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、すべての人の安心・安全の確保に向けて検討してまいります。
●道路にベンチのような休憩できる施設がほしい	推進施策 1 において、新たなニーズにこたえる道路利用の推進について記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、新たな道路利用に向けて検討してまいります。
・日本庭園の特性を生かしたまちづくりを推進することこそ、文化首都・京都を実現する大きな手立て。分かり易い表現で具体的な施策を打ち出してほしい ・良質な緑、潤い・癒しを感じられる緑の実現には量を増やすこと以上に既に都市景観を構成している現状の緑の状態を良好に保ち続けることが最も重要である	推進施策 2 において、京都の庭園文化を生かした質の高い緑の空間整備について記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、文化・歴史の継承やにぎわいの創出を図り、多様なニーズにこたえる公園整備と緑の創出・育成管理に向けて検討してまいります。

●公園の数を増やしてほしい ●子どもたちの遊ぶ場所を増やしてほしい ●子どものために、大人や老人のために、遊びの幅が広がる公園の設置と管理と整備を ・緑の多い公園が少ない ・鉄棒をもっと高くしてほしい ・下京区の南東部，屋形町にある児童公園，ひかり公園内の公衆トイレの扉がなく，外から便器が見え，入ることも出来ないと思った。必要な改修を検討してほしい ・公衆トイレがきれいになってほしい ・公園の砂場（特に竹間）で，ふん尿の臭いをする ・多様な背景を持つ人々が集い，それぞれが楽しめるインクルーシブ公園を設立してほしい	推進施策 2 において，多様なニーズにこたえる公園の整備・利活用について記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，地域コミュニティの活性化や子育て環境の充実はもとより，市民の健康長寿，防災機能の充実，魅力ある都市景観の形成などのニーズに応える公共空間としての公園整備・利活用に向けて検討してまいります。
●公園での球技を認めてほしい ・球技が可能な公園を考えてほしい ・ボールを使えるスペースや走るためのレーンを整備した公園を設置してほしい ・地域にある児童公園が市民のいこいの場になるよう，催し物を企画したり，日時や場所を決めてボール遊びができるようにしたりするなどしてはどうか	公園は幅広い年齢層の市民の皆様が利用するものであり，それぞれが安心して過ごせるよう，京都市において球技にかかる取扱基準を定めています。この基準に即し，より多くの方が安心して公園で過ごしていただけるよう，引き続き京都市において検討を進めてまいります。
●木などをもう少し植えてほしい ・京都市内に緑を増やす ・街路樹の根上がりを防ぐため，支障となる根の切断，殺菌処理，透水性舗装の改修，根の伸びる隙間のある特殊な土壌の導入を行ってはどうか	推進施策 2 において，四季を感じられる花木の新植や紅葉が美しい樹木への転換，まちのにぎわいに華を添える京都の庭園文化を生かした質の高い緑の空間整備など，街路樹をはじめ市街地の緑化を進めると記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，多様なニーズにこたえる緑の創出・育成管理に向けて検討してまいります。

・銀杏が落ちていて歩道が汚れている ・西大路四条のバス停付近に落ち葉が散乱しているのが気になる。掃除してほしい	推進施策 2 において、生活文化として受け継がれてきたかど掃きやボランティア団体による美化・緑化活動など、市民や事業者等との協働による街路樹の育成管理を進めると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、緑の創出・育成管理に向けて検討してまいります。
・土地区画整理事業の第 4，第 5 地区の早期完成を求む	推進施策 3 において、土地区画整理事業の推進について記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、魅力と活力を高める市街地整備の推進に向けて検討してまいります。
・土地を一カ所に集約して企業を誘致すれば一大企業集約地域になるのでは	推進施策 3 において、交通アクセスに優れ、まとまった土地の確保が可能なエリアにおいては、そのポテンシャルを最大限生かすとともに、持続可能な都市の構築に不可欠な産業用地の創出を図ると記載しており、御意見の趣旨に合致するものと考えます。
・河川整備で見逃せない問題は橋梁の老朽化。橋梁などを，新規建設から維持管理，改修に重点を置いて考える必要がある	推進施策 4 において、定期的な点検・診断とその結果に基づく対策を実施し、これらの取組を次期の点検・診断等に活用する「メンテナンスサイクル」を構築するとともに、損傷が軽微である段階に予防的な修繕等を実施し機能の保持・回復を図る「予防保全型」の維持管理へ転換することで、コストの縮減と更新時期等の平準化を図りつつ、将来にわたり、より効率的かつ効果的な維持管理を実施すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で社会資本の戦略的な維持管理の推進に向けて検討してまいります。

●まだまだ道路がボコボコである ・地域住民の住んでいる道路の整備をしてほしい ・歩道の水たまりのせいで人が通れない ・細道の整備を行ってほしい ・錆びているガードレールがあるので、色を塗りなおしてほしい	推進施策 4 において、道路を含めた社会資本のより効率的かつ効果的な維持管理の実施について記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、戦略的な維持管理の推進に向けて検討してまいります。
●「みつけ隊」アプリはもっと多くの人に知ってもらえるように広報してほしい	推進施策 4 において、維持管理における市民協働の推進について記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、みつけ隊アプリをはじめ市民の皆様の参加促進に向けて検討してまいります。
・子育て家庭や障害者などにやさしい道路の整備は行われないのか ・歩道に植樹等すると狭くなり、通りにくくなるので実施する前に、車イスの人達に意見を聞く場を設けることなどを心掛けてほしい	京都市における駅周辺の道路などのバリアフリー化に際しては、高齢者、障害者団体の代表者様との現地調査や意見聴取を行って整備しており、引き続き取り組んでまいります。
●車道を広くしてほしい ・車道をもっと狭くして渡りやすくしてほしい ・人の集中集積地において大胆な道路断面の占有割合の見直しを行ってほしい ・交通量あるいは道幅の改善を行ってほしい	道路幅は、交通量をはじめその道路の実情に応じて設定しています。 推進施策 1 において、子供をはじめ、すべての人の安心・安全を確保するため、通学路等の交通安全対策を推進するとともに、市内交通はもとより広域的な交通も含めた、円滑な移動・輸送の確保に向け、幹線道路をはじめ道路整備を推進することを記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、都市の活力・レジリエンスの向上に向けた道路整備に向けて検討してまいります。

・広沢池付近の農道はあまり使われていないのに舗装する必要があったのか	京都市においては、歴史で彩られた嵯峨野の広沢池周辺地域で、市民や観光客にその魅力を楽しんでもらうため、原風景を活かした周辺整備を進めることが必要であると考えており、安全対策や景観対策に資する維持管理を行っています。
・御池高倉の所に横断歩道をつくってほしい ・五条堀川の交差点に横断歩道を作ってほしい	横断歩道は横断歩行者数や交通量などを総合的に判断して公安委員会が設置するものです。交通事故の多発等を防止し、安全かつ円滑・快適な交通を確保するため、京都府公安委員会において検討されるべきものと考えます。
・老朽化した陸橋があり、必要性、景観的にも撤去すべき ・歩道橋を作ってほしい	京都市では、老朽化や環境面の課題を解消するため、利用者が少ない通学路の指定がなくなった横断歩道橋の撤去を進めています。今後も社会資本の適切な維持管理に努めてまいります。
・市内の渋滞化を改善するため狭い道幅にある信号機の見直しが必要 ・信号はすべて音ありにしてほしい	信号機は横断歩行者数や交通量などを総合的に判断して公安委員会が設置するものです。交通事故の多発等を防止し、安全かつ円滑・快適な交通を確保するため、京都府公安委員会において検討されるべきものと考えます。
・通学時に身の危険を感じる事が多く、「止まれ」の標識を増やしてほしい ・歩道を拡幅した区間は自動車の通行を制限してほしい	通行制限については、京都府公安委員会が所管していることから、京都府公安委員会において検討されるべきものと考えます。
・狭い道路は車やバイクを一方通行にする方がよい ・狭い道は一方通行にしてほしい	一方通行については、道路の実情に応じて京都府公安委員会が設定を行っています。安全かつ円滑な交通を確保するため、京都府公安委員会において検討されるべきものと考えます。

・アスファルトの代替品を探してほしい	京都市の道路舗装においては、道路条件等も踏まえたうえで可能な場合には、透水性舗装材の使用等の環境影響・負荷の低減に加え、周辺景観との調和、快適な歩行性等にも配慮し、アスファルト系のほか、ブロック系、自然石等の素材を用いることとしているところです。今後、京都市において基本計画を具体化する中で、魅力あふれる道路空間の創出に向けて検討してまいります。
--------------------	---

消防・救急

◆ 審議の参考とさせていただいた御意見

御意見の要旨	御意見に対する考え方
・AEDを増やすべき	推進施策 3 において、さらに多くの市民が世代や職種を問わず普通救命講習やAED の取扱指導を受けられる体制を地域団体や事業所と連携して構築すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、救急体制の充実に向けて検討してまいります。
・地域防災力の充実強化のために担い手の成長支援に重点的に取り組んでほしい	推進施策 4 において、地域防災の中核的存在である各消防団の定員充足をめざし、とくに若年層や女性等を対象とした入団促進を図ることや、教育訓練や装備の充実のほか大規模災害時等にも活動できる体制を確保することで、消防団の災害対応力の一層の向上を図ることを記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、消防団や自主防災組織を中核とした地域防災力の充実強化に向けて検討してまいります。

・消火器の使い方の指導を学校等でも行ってほしい	推進施策 4 において、防災訓練等により継続的な防災対策の検証及び見直しを行い、防災行動マニュアルの実効性を高めるとともに、京都市自主防災会連絡会を通じて行政区を越えた自主防災組織相互のネットワークをより発展させ、近年多発する自然災害等に対して、地域がみずから備え、しなやかに対応することができる体制づくりを支援することを記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、地域防災力の充実強化に向けて検討してまいります。
・政策分野 19「防災・減災・危機管理」と 26「消防・救急」は分ける必要があるのか	現行の基本計画においては一体的に記載しておりましたが、東日本大震災や頻発する自然災害等を踏まえ、今後の防災・危機管理の取組を一層推進するため、政策分野「19 危機管理・防災・減災」を独立させたものです。 なお、これらの政策分野を融合した重点戦略として、「いのちとくらしを守り、都市の活力を支える「強靱なインフラ整備戦略」」を掲げており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、あらゆる危機にしなやかに対応し、市民のいのちとくらしを守る取組の推進に向けて検討してまいります。

くらしの水

◆ 審議の参考とさせていただいた御意見

御意見の要旨	御意見に対する考え方
・推進施策 1 にある「自助」が市民が自ら井戸などの水源を確保することなのであれば、この施策とは別の項目としてあげられる内容ではないか	推進施策 1 における自助の推進とは、緊急時に備えて飲料水の備蓄率向上に向けた市民の意識啓発などを促す取組を想定しており、防災訓練などの共助の取組と一体として本施策に記載しております。

・水がおいしくない	京都の水道水は、利き水イベントでおいしいと評価されているほか、市販のミネラルウォーターよりも多くの水質検査項目を検査しており、安心してお飲みいただけます。推進施策 1 において、水道水の安定供給について記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、将来にわたって安全・安心な上下水道の構築に向けて検討してまいります。
・集中豪雨時の排水は集水装置（地下ピット）を設けてほしい ・コンクリートやアスファルトが多く、保水力が消滅している状態を解消してほしい	推進施策 3 において、雨水幹線等の浸水対策施設の整備や雨水の貯留・浸透機能の向上に資する雨水流出抑制対策を推進すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、雨に強いまちづくりを推進する河川・雨水幹線の整備等に向けて検討してまいります。
・桂川の掘削が進んだが、また大きく砂地が広がっており、洪水の危険が増している。一回やって終わりではなく、市全域を目配りして、防災に持続的に取り組んでほしい	推進施策 3 において、浸水被害を最小化するため、国や京都府等との連携の下、景観や環境に配慮しつつ、それぞれの河川の特성에応じた護岸の改修などを着実に進めるとともに、雨水幹線等の浸水対策施設の整備や雨水の貯留・浸透機能の向上に資する雨水流出抑制対策を推進すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、雨に強いまちづくりを推進する河川・雨水幹線の整備等に向けて検討してまいります。 なお、桂川の掘削等については、河川の管理主体である国において検討されるべきものと考えております。

・河川敷をコンクリート化してほしい	推進施策 3 において、浸水被害を最小化するため、国や京都府等との連携の下、景観や環境に配慮しつつ、それぞれの河川の特성에 応じた護岸の改修などを着実に進めると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、河川の特성에 応じた整備に向けて検討してまいります。
・川などの自然とつきあいをしやすくするため、危険性がない場合など、一定の条件の下で立ち入れるようにしてほしい ・BBQ を河川でするのなら有料化して広場を作ればよいのでは ・河川は危険だから入れないとするだけではなく、遊ぶことのできる川岸にほしい	推進施策 5 において、親しみやすい水辺空間の創出等について記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、水と共に生きるまちづくりの推進に向けて検討してまいります。
・川の水がきれいであるようにしてほしい	推進施策 5 において、河川の美化活動等の促進について記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、水と共に生きるまちづくりの推進に向けて検討してまいります。
・水道代が高い	推進施策 7 において上下水道事業の経営基盤の強化・安定について記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、施設のライフサイクルコスト削減や大規模更新に備えた資金確保、広域化・広域連携に係る検討など、厳しい経営環境においても、将来にわたって持続可能な上下水道事業の運営を図れるよう検討してまいります。 なお、京都市の上下水道料金については、1 m³当たりの単価で比較すると大都市（政令指定都市及び東京都）の平均を下回っております。

・水道の民営化は反対	推進施策 7 において、厳しい経営環境においても、将来にわたって持続可能な事業運営を行っていくため、業務の効率化などを着実に進めるとともに、施設のライフサイクルコスト縮減や大規模更新に備えた資金確保、広域化・広域連携に係る検討など、長期的な視点での取組を推進し、経営基盤の強化を図ると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、経営基盤の強化・安定に向けて検討してまいります。
・鴨川を清潔にするべき	鴨川は京都府管理の河川であるため、京都府において美化活動等を推進し、水と共に生きるまちづくりの推進に向けて検討されるべきものと考えます。
・水道水の水質の改善を（消毒方法の改善） ・水道水を綺麗にしてほしい	京都市では、国の法令に従い、塩素消毒をはじめ適切に浄水処理を実施するとともに、国が定める水道水質基準に従い、安全・安心な水道水を供給しています。また、適正な塩素濃度が保持されていることを 24 時間監視しています。推進施策 1 において、水道水の安定供給について記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、将来にわたって安全・安心な上下水道の構築に向けて検討してまいります。

行政経営の大綱

◆ 答申案に反映させていただいた御意見

御意見の要旨	御意見に対する考え方
・「京都市財政の厳しさ」と「ICT の活用」の記載が弱いと思う。市民の協力なしには、今のままの施策を続けていけないことを、もう少し前面に出す必要があるのではないか	現状・課題において、厳しい財政状況についてさらに詳細に記載するとともに、行政のデジタル化の観点の記載を追加しました。また、基本方針 1 (4), 2, 2 (2), 2 (3), 3, 3 (1) においても、それぞれ記載を追加しました。

・情報化社会で、取り残されないような取組をお願いします ・高齢者は DX 化することが難しいので、支援側が DX 化すべきだ	現状・課題や基本方針 1(4)、3 に人にやさしい視点を大切にした行政のデジタル化の推進の観点を追加しました。
・IT, ICT 利用の社会をめざすべき ・国がデジタル化を推進しており、京都市もその組織を設置しているにもかかわらず、デジタル化、情報化推進の項目がないのはおかしい	現状・課題や基本方針 1(4)、3、3(1)において、行政のデジタル化の観点を記載を追加しました。
・新しい時代にふさわしい、行政の組織体制を整備し、政策体系を再編する必要がある。行政の窓口業務を整理し、システム化し AI での対応を可能にし、節減した人材と財源を、政策的な分野や、専門的な分野、地域自治の分野に集中的に配分すべき	基本方針 3 に事務の効率化につながる行政のデジタル化を進めることを追加しました。 なお、行政組織については、基本方針 3 において、多様な市民のニーズや新たな課題に的確かつ迅速に対応できるよう、組織改革の推進や働き方改革の推進、職員力・組織力のさらなる向上により、市民により一層信頼される市役所づくりを進めると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、一層信頼される市役所づくりに向けて検討してまいります。
・デジタル化を進めて効率化してほしい。インターネットで手続きがすむようにしてほしい	基本方針 3(1)に手続きのオンライン化をはじめとする行政のデジタル化を進めることを追加しました。
・京都ならではの魅力をもっと対外的に発信してほしい。特に関東圏やマスコミに対して、大阪市や京都府と比べて発信力が弱いと思う	基本方針 2 に京都の強みを生かしたブランディングの推進の観点を追加しました。
・財政状況が厳しいのであれば、まず人件費を削減すること	基本方針 2(2)に、財政構造改革の推進に当たって具体的な取組を検討していく視点として、「組織・人員体制・人件費の適正化（人件費）」等を追加しました。

・経営の視点で戦略的投資を行うという視点があるべきではないか	基本方針 2(2)に、財政構造改革の推進に当たって具体的な取組を検討していく視点として、「投資事業の選択と集中（投資的経費）」等を追加しました。
・京都府以外の自治体との連携においても、市民サービスの向上、行政運営の効率化だけでなく、「地域の発展」という視点をもって取組を進めていただきたい	基本方針 1(3)に「地域全体の発展」の観点を追加し、「他の自治体等と連携し、市民サービスの向上、行政運営の効率化、地域全体の発展を図る」と修正しました。

◆ 審議の参考とさせていただいた御意見

御意見の要旨	御意見に対する考え方
・基本理念、基本方針共によく理解できる	行政経営の大綱の方針等を御理解いただき、ありがとうございます。今後、京都市において、市民とともに京都の未来を力強く切り拓く市役所づくりを推進してまいります。
・大綱の基本理念中にもあるようにスピーディな対応を住民は望んでいるので確実に理念を遂行してほしい	基本理念において、行政経営のあり方として、変化に迅速、的確に対応するための柔軟性、公務遂行の責任を果たすための職員の専門性を追求し、かつ持続可能な財政を構築するための財政構造の着実な改革を果たすと記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、市民に一層開かれ、市民とともに京都の未来を力強く切り拓く市役所づくりに向けて検討してまいります。

・市民に一層開かれ市民とともに京都の未来を考えることが大切	基本理念において、市民に一層開かれ、市民とともに京都の未来を力強く切り拓く市役所づくりを進めていくこと、基本方針 1(1)において、市民、地域団体、市民活動団体、NPO、地域企業、大学、社寺、行政等のあらゆる主体が、相互の対話や交流を通じて、社会課題や地域課題、京都の未来像を共有し、みんなごとのまちづくりを一層推進することを記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、参加と協働による持続可能なまちづくりに向けて検討してまいります。
・これからの未来像を考える時には学生にも協力してもらえたら良い	基本方針 1 において、多様な主体が垣根を越えて連携し、ひとごとではなく、自分ごと、みんなごととしてのまちづくりを一層進めると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、市民をはじめとするさまざまな主体と行政とが共に汗を流して協働する共汗のまちづくりに向けて検討してまいります。
・「共汗」の理念は素晴らしいものであるが、「自治体」と「市民」の関係性は、あくまでも対等であるという価値観に基づくはず。官僚主義的な計画主義に基づくトップダウンによる「共汗」は、「協働」とは呼べない。京都市におかれては、京都文化を育んだ「自由」と「平等」の精神を大切にし、真の「共汗」へ導いてほしい	基本方針 1 において、多様な主体が垣根を越えて連携し、ひとごとではなく、自分ごと、みんなごととしてのまちづくりを一層進めると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、市民をはじめとするさまざまな主体と行政とが共に汗を流して協働する共汗のまちづくりに向けて検討してまいります。
・基本方針の 1 として、「参加と協働による持続可能なまちづくりの推進」とあるが、真に民間(市民)との協働の機会、手段、方法を具体的に検討いただきたい	今後、京都市において基本計画を具体化する中で、市民をはじめとするさまざまな主体と行政とが共に汗を流して協働する共汗のまちづくりに向けて検討してまいります。

・「みんなごと」という言葉になじみがなく、違和感がある	「みんなごと」とは、市民をはじめ多様な主体が、京都のまちの様々な課題の解決を「ひとごと」とせず、共に協働して取り組むことを表すものです。今後も趣旨が伝わるよう丁寧に説明してまいります。
・京都市と一緒に「こんなまちにしたい」、「こんな風に変えたい」という人を増やしたい	基本方針 1(1)において、市民、地域団体、市民活動団体、NPO、地域企業、大学、社寺、行政等のあらゆる主体が、相互の対話や交流を通じて、社会課題や地域課題、京都の未来像を共有し、みんなごとのまちづくりを一層推進すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、参加と協働による持続可能なまちづくりに向けて検討してまいります。
・行政指導でなく、市民の発想を大切にし、サポートしバックアップを ・真に市民が主役のまちづくりの推進のため、具体的な取組を進めてほしい	基本方針 1(1)において、市民、地域団体、市民活動団体、NPO、地域企業、大学、社寺、行政等のあらゆる主体が、相互の対話や交流を通じて、社会課題や地域課題、京都の未来像を共有し、みんなごとのまちづくりを一層推進すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、参加と協働による持続可能なまちづくりに向けて検討してまいります。
・財政状況が厳しいなか、地域住民が、一層、主体性を持って支え合うようにする仕掛けが重要	基本方針 1(1)において、市民、地域団体、市民活動団体、NPO、地域企業、大学、社寺、行政等のあらゆる主体が、相互の対話や交流を通じて、社会課題や地域課題、京都の未来像を共有し、みんなごとのまちづくりを一層推進すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、参加と協働による持続可能なまちづくりに向けて検討してまいります。

・地縁でコミュニティを形成していくことに限界があるので、市民を巻き込んでいく、関心を持ってもらうには、そこでの問題に興味がある人や同じことを実現したい人などを ICT 等を使って結び付けることで、進めていくのがよい	基本方針 1(1)において、市民、地域団体、市民活動団体、NPO、地域企業、大学、社寺、行政等のあらゆる主体が、相互の対話や交流を通じて、社会課題や地域課題、京都の未来像を共有し、みんなごとのまちづくりを一層推進すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、参加と協働による持続可能なまちづくりに向けて検討してまいります。
・市民が協働できるボランティア事業を計画してほしい	基本方針 1(1)において、市民、地域団体、市民活動団体、NPO、地域企業、大学、社寺、行政等のあらゆる主体が、相互の対話や交流を通じて、社会課題や地域課題、京都の未来像を共有し、みんなごとのまちづくりを一層推進すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、参加と協働による持続可能なまちづくりに向けて検討してまいります。
・市の取組の発表を授業や講座などで定期的に仕組化して行うべき	基本方針 1(1)において、市民、地域団体、市民活動団体、NPO、地域企業、大学、社寺、行政等のあらゆる主体が、相互の対話や交流を通じて、社会課題や地域課題、京都の未来像を共有し、みんなごとのまちづくりを一層推進すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、参加と協働による持続可能なまちづくりに向けて検討してまいります。

・パートナーシップ，連携・協働の重要性から，行動力のあるネットワーク組織に変えていく視点も必要ではないか	基本方針 1(1)において，市民，地域団体，市民活動団体，NPO，地域企業，大学，社寺，行政等のあらゆる主体が，相互の対話や交流を通じて，社会課題や地域課題，京都の未来像を共有し，みんなごとのまちづくりを一層推進すると記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，参加と協働による持続可能なまちづくりに向けて検討してまいります。
・有力な民間企業や大学などともっと親密になり教えを乞い変化しないと，予定通りの再生団体になる	基本方針 1(1)において，市民，地域団体，市民活動団体，NPO，地域企業，大学，社寺，行政等のあらゆる主体が，相互の対話や交流を通じて，社会課題や地域課題，京都の未来像を共有し，みんなごとのまちづくりを一層推進すると記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，参加と協働による持続可能なまちづくりに向けて検討してまいります。
・京都市には，市民にもっと相談して，市の政策を考えてもらいたい ・市民と話し合い，地域の声をもっと聞くべき ・現時点の自治意識はとても低いと感じるため，住民の声を聞く姿勢を見せてほしい ・市民への説明も「地域景観づくり協議会」のメンバーのみに話されたり，「〇〇活性化ビジョン」等地域住民の多くが知らないところで決められている。市民との「共汗」とは紙面のみではないか。もっと丁寧に市民の声に耳を傾けてほしい	基本方針 1(1)において，市民，地域団体，市民活動団体，NPO，地域企業，大学，社寺，行政等のあらゆる主体が，相互の対話や交流を通じて，社会課題や地域課題，京都の未来像を共有し，みんなごとのまちづくりを一層推進すると記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，参加と協働による持続可能なまちづくりに向けて検討してまいります。

・地域住民が、平日・休日、昼間・晩を問わず集え、活動に使える場所の設置を京都市が推進することを望む	基本方針 1(1)において、市民、地域団体、市民活動団体、NPO、地域企業、大学、社寺、行政等のあらゆる主体が、相互の対話や交流を通じて、社会課題や地域課題、京都の未来像を共有し、みんなごとのまちづくりを一層推進すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、参加と協働による持続可能なまちづくりに向けて検討してまいります。
・若者がもっとまちづくりや市政に興味をもって参加できるよう、がんばってほしい ・若い世代のエネルギーや想いがまちに広がるとともに、先人たち町衆や上世代の方の知恵や経験が U35 世代とつながり、新たな価値が生まれるまちになってほしい ・高齢の方と若者が相互に関わり合うことでまちが活性化するのではないか	基本方針 1(1)において、世代や分野を越えて連携・協働し、新たな行動や解決策を生み出す、みんなごとのまちづくりを一層推進すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、市民が主役のみんなごとのまちづくりの推進に向けて検討してまいります。
・他都市居住者がうらやむ若いエネルギーがあふれる京都市をめざす強い文言があればなお良い	基本方針 1(1)において、世代や分野を越えて連携・協働し、新たな行動や解決策を生み出す、みんなごとのまちづくりを一層推進すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、市民が主役のみんなごとのまちづくりの推進に向けて検討してまいります。
・意見募集冊子の 26 ページの基本方針 1 (1) に「市民が主役」とあるが、基本計画案本冊 13 ページに従えば「主人公たるべき市民」の、と一致しないと本基本計画における一貫性が損なわれると思われる	多様な主体が垣根を越えて連携し、ひとごとではなく、自分ごと、みんなごととしてのまちづくりを一層進める必要があることから「市民が主役」という表現にしております。 なお、都市経営の理念に記載されている「主人公たるべき市民」という表現は「主人公である市民」に修正しました。

・民間にできることは民間に任せて、行政は民間のサポート役に回ってほしい	基本方針 1(1)において、市民、地域団体、市民活動団体、NPO、地域企業、大学、社寺、行政等のあらゆる主体が、相互の対話や交流を通じて、社会課題や地域課題、京都の未来像を共有し、みんなごとのまちづくりを一層推進すること、基本方針 2(1)、3(1)において、民間活力の導入を進めることを記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、参加と協働による持続可能なまちづくりに向けて検討してまいります。
・区役所には、他分野の取組をマネジメントできる体制を願う ・区役所の機能強化は必要である	基本方針 1(2)において、区民に最も身近な行政機関である区役所については、業務の集約化・拠点化による効率化を図る一方で、必要な体制はしっかりと充実させており、今後も、ウィズコロナ社会下でのまちづくりの企画や構想、防災・安心・安全に係る最前線の拠点として、機能強化を図ると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、区役所の機能強化に向けて検討してまいります。
・行政と市民が見近なものになる社会が良いと思う	基本方針 1(2)において、京都の誇る自治の伝統と各区の特色を活かし、地域団体や市民活動団体等の主体的なまちづくり活動への支援や、さまざまな活動主体の連携と協働による取組を進めること、基本方針 1(4)において、京都の未来像や課題を市民と共有するため、市民目線に立った徹底した市政の「可視化」を図ること、必要な人に必要な情報を的確かつ分かりやすく伝える「到達主義」の情報発信を進めることを記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、参加と協働による持続可能なまちづくりの推進に向けて検討してまいります。

・京都府内の他の市町村との交流を行ってはどうか ・関係自治体との協力を検討してほしい	基本方針 1(3)において、他の自治体等と連携し、市民サービスの向上等を図ると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、他の自治体等と連携し、取り組んでまいります。
・縦割り行政の解消。京都府との施策連携。行政業務の効率化、web 化。先進性のある、真にチャレンジングな事業実施。失敗を失敗と自ら認め、許容・改善できる行政であるべき	基本方針 1(3)において、府市協調等の推進を、基本方針 3(1)において、社会の変化に対応した組織改革の推進について記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、一層信頼される市役所づくりに向けた組織の改革と職員の育成に向けて検討してまいります。
・積極的に市民などに情報、意見を求めていくことが大切 ・分かりやすく情報提供してほしい	基本方針 1(4)において、京都の未来像や課題を市民と共有するため、市民目線に立った徹底した市政の「可視化」を図ること、必要な人に必要な情報を的確かつ分かりやすく伝える「到達主義」の情報発信を進めることを記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、行政と市民の情報の共有・活用に向けて検討してまいります。
・SNS を使用して他県にはない京都の良さを広めることは、現在の社会で重要 ・SNS で京都市が行っている活動を発信してはどうか ・各種政策の広報は統一的な方針・考え方のもとで進めていく必要があるのでは。市民に興味を持ってもらう、アプローチしてもらうには、興味を持たせる面白いコンテンツも必要である。ウェブページや SNS、その他アプリと発信方法が増えていくなか、広報の仕方はさらなる工夫が必要 ・情報共有や伝達の方法の一つとして、現在の京都市公式の Youtube チャンネルを見直し、リニューアルを検討されてはどうか	基本方針 1(4)において、京都の未来像や課題を市民と共有するため、市民目線に立った徹底した市政の「可視化」を図ること、必要な人に必要な情報を的確かつ分かりやすく伝える「到達主義」の情報発信を進めることを記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、行政と市民の情報の共有・活用に向けて検討してまいります。 なお、計画案については、ICT を含む様々なデジタル技術を戦略的かつ積極的に活用していくという観点で修正しました。

・経営感覚が重要。あらゆるリソースを活用しなければならない	基本方針 2 において、足腰の強い持続可能な行財政の確立を図ると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、持続可能な行財政運営に向けて検討してまいります。
・破綻しないように頑張っていたきたい	基本方針 2 において、足腰の強い持続可能な行財政の確立を図ると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、持続可能な行財政運営に向けて検討してまいります。 なお、計画案については、現在の危機的な財政状況の克服に向け、令和 3 年度から 5 年度まで歳出や受益者負担の改革に集中的に取り組むことなどを追加しました。
・「収支をプラスにする」という旨の文言がないことが市民としてこわいと感じる	基本方針 2 において、景気変動、災害や感染症などのあらゆる危機に対してしなやかに対応できる足腰の強い持続可能な行財政の確立を図ると記載しております。 なお、計画案については、現在の危機的な財政状況の克服に向け、令和 3 年度から 5 年度まで歳出や受益者負担の改革に集中的に取り組むことなどを追加しました。
・厳しい時代で我慢、忍耐と同時に、挑戦も止めてはならないと思う	基本方針 2 において、市民のいのちと暮らしをしっかりと守り、未来を展望するため、厳しい財政状況にあっても縮小一辺倒に陥ることなく、都市の成長戦略と行財政改革を一体的に推進していくと記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、持続可能な行財政運営に向けて検討してまいります。

・大きな飛躍を求める「町」ではなく、今まで歴史を大切に培ってきた、京都人気質を尊重し、京都が京都であり続ける、メリハリの利いた姿勢を貫いてもらいたい	基本方針 2 において、市民のいのちと暮らしをしっかりと守り、未来を展望するため、厳しい財政状況にあっても縮小一辺倒に陥ることなく、都市の成長戦略と行財政改革を一体的に推進していくと記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、持続可能な行財政運営に向けて検討してまいります。
・観光だけに力を入れるのではなく、子育てや教育、福祉、医療、介護など、市民の暮らしに関する政策の充実に注力してほしい	基本方針 2 において、市民のいのちと暮らしをしっかりと守り、未来を展望するため、厳しい財政状況にあっても縮小一辺倒に陥ることなく、都市の成長戦略と行財政改革を一体的に推進していくと記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、持続可能な行財政運営に向けて検討してまいります。
・財政的な不安のないまちに ・持続可能な財政施策をお願いする	基本方針 2 において、市民のいのちと暮らしをしっかりと守り、未来を展望するため、厳しい財政状況にあっても縮小一辺倒に陥ることなく、都市の成長戦略と行財政改革を一体的に推進していくと記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、持続可能な行財政運営に向けて検討してまいります。 なお、計画案については、現在の危機的な財政状況の克服に向け、令和 3 年度から 5 年度まで歳出や受益者負担の改革に集中的に取り組むことなどを追加しました。

・これからの少子高齢化も見据え、経済の成長や発展が続くことがあるのか。量の拡大ではなく質の向上をめざし、持続可能な財政サイズにうまく縮小していくことが求められる。まずは身の丈にあった予算になるよう歳出を縮小するべき。あらゆる施策を見直す覚悟で、財政再建に取り組んでいただきたい	基本方針 2 において、市民のいのちと暮らしをしっかりと守り、未来を展望するため、厳しい財政状況にあっても縮小一辺倒に陥ることなく、都市の成長戦略と行財政改革を一体的に推進していくと記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、持続可能な行財政運営に向けて検討してまいります。 なお、計画案については、現在の危機的な財政状況の克服に向け、令和 3 年度から 5 年度まで歳出や受益者負担の改革に集中的に取り組むことなどを追加しました。
・次世代へ負担を残さない、次世代の暮らしが豊かになるといった視点をもった計画であることを望む	基本方針 2 において、市民のいのちと暮らしをしっかりと守り、未来を展望するため、厳しい財政状況にあっても縮小一辺倒に陥ることなく、都市の成長戦略と行財政改革を一体的に推進していくと記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、持続可能な行財政運営に向けて検討してまいります。 なお、計画案については、基本方針 2 (2) に、財政構造の改革の推進に当たって具体的な取組を検討していく視点として、「将来にわたってすべての世代が安心・安全で暮らしやすい、魅力や活力あるまちづくり」等を追加しました。

・いずれも重要な視点で大賛成だが、改革と挑戦のためには投資も必要。市民任せ、根性任せになっては実現はできないし、縮小一辺倒では衰退しかない	基本方針 2 において、市民のいのちと暮らしをしっかりと守り、未来を展望するため、厳しい財政状況にあっても縮小一辺倒に陥ることなく、都市の成長戦略と行財政改革を一体的に推進していくと記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、持続可能な行財政運営に向けて検討してまいります。 なお、計画案については、基本方針 2 (2) に、財政構造の改革の推進に当たって具体的な取組を検討していく視点として、「投資事業の選択と集中（投資的経費）」等を追加しました。
・京都市の魅力は文化的な建物であるから、ロボットやドローンを応用するのに費用をかけるよりも景観や建築物に費用をつかうべき	基本方針 2 において、市民のいのちと暮らしをしっかりと守り、未来を展望するため、厳しい財政状況にあっても縮小一辺倒に陥ることなく、都市の成長戦略と行財政改革を一体的に推進していくと記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、持続可能な行財政運営に向けて検討してまいります。 なお、計画案については、基本方針 2 (2) において、財政構造の改革の推進に当たって具体的な取組を検討していく視点として、「投資事業の選択と集中（投資的経費）」等を追加しました。

・地下鉄や焼却施設など事業者の言いなりに大金を投じる失敗事業が多すぎて、本来投じるべきインフラ整備に金が回せていない	基本方針 2 において、市民のいのちと暮らしをしっかりと守り、未来を展望するため、厳しい財政状況にあっても縮小一辺倒に陥ることなく、都市の成長戦略と行財政改革を一体的に推進していくと記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、持続可能な行財政運営に向けて検討してまいります。 なお、計画案については、基本方針 2 (2) において、財政構造の改革の推進に当たって具体的な取組を検討していく視点として、「投資事業の選択と集中（投資的経費）」等を追加しました。
・予算の使い方はまずは医療福祉教育に回してほしい。コロナ対策も医療機関には未だに防護服が足りなかったり、サージカルマスクの仕入値が高い状況であり、支援が必要である	基本方針 2 において、市民のいのちと暮らしをしっかりと守り、未来を展望するため、厳しい財政状況にあっても縮小一辺倒に陥ることなく、都市の成長戦略と行財政改革を一体的に推進していくと記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、持続可能な行財政運営に向けて検討してまいります。 なお、京都市においては、新型コロナウイルス感染症に対して、国の財源を最大限活用し、感染防止と市民生活・京都経済の下支えに取り組むこととしております。

・乳児医療や小学校のような全員制の中学校給食など，子どもへの予算を拡充すべき，公立保育園の民間移管もやめるべき	基本方針 2 において，市民のいのちと暮らしをしっかりと守り，未来を展望するため，厳しい財政状況にあっても縮小一辺倒に陥ることなく，都市の成長戦略と行財政改革を一体的に推進していくと記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，持続可能な行財政運営に向けて検討してまいります。 なお，計画案については，基本方針 2 (2) において，財政構造の改革の推進に当たって具体的な取組を検討していく視点として，「将来にわたってすべての世代が安心・安全で暮らしやすい，魅力や活力あるまちづくり」，「市民のいのちと暮らしを守るために真に必要な施策を持続可能なものとして実施するための事業の見直し（消費的経費）」等を追加しました。
・北陸新幹線延長はしない。京都の地下を多額を費やして掘るより，高齢化，過疎化，福祉に税金を使ってほしい	基本方針 2 において，市民のいのちと暮らしをしっかりと守り，未来を展望するため，厳しい財政状況にあっても縮小一辺倒に陥ることなく，都市の成長戦略と行財政改革を一体的に推進していくと記載しており，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，持続可能な行財政運営に向けて検討してまいります。 なお，計画案については，基本方針 2 (2) において，財政構造の改革の推進に当たって具体的な取組を検討していく視点として，「将来にわたってすべての世代が安心・安全で暮らしやすい，魅力や活力あるまちづくり」，「市民のいのちと暮らしを守るために真に必要な施策を持続可能なものとして実施するための事業の見直し（消費的経費）」等を追加しました。

・何を置いてもまずは財政再建が必要	京都市においては、市民のいのちとくらしをしっかりと守り、未来を展望するため、厳しい財政状況にあっても縮小一辺倒に陥ることなく、都市の成長戦略と行財政改革を一体的に推進していく必要があると考えております。今後、京都市において基本計画を具体化する中で、持続可能な行財政運営に向けて検討してまいります。 なお、計画案については、現在の危機的な財政状況の克服に向け、令和 3 年度から 5 年度まで歳出や受益者負担の改革に集中的に取り組むことなどを追加しました。
・財政が立て直る目処がつくまでは縮小一辺倒でいくべき ・この財政状況なのだから、事業は縮小していくべきに決まっている ・事業の縮小に重きを置いていかないと破綻するのは確実。縮小一辺倒とすべき ・今は、財政が立ち直るまでは縮小一辺倒で行くべき ・財政が厳しい今、本当に必要なことは思い切って何かをやめることだと思う ・縮小一辺倒に陥らずとか、色んな事業を継続しようとする考えが甘い ・京都市の財政面において、不要不急な支出は控えるべきと思う	京都市においては、市民のいのちとくらしをしっかりと守り、未来を展望するため、厳しい財政状況にあっても縮小一辺倒に陥ることなく、都市の成長戦略と行財政改革を一体的に推進していく必要があると考えております。今後、京都市において基本計画を具体化する中で、持続可能な行財政運営に向けて検討してまいります。 なお、計画案については、現在の危機的な財政状況の克服に向け、令和 3 年度から 5 年度まで歳出や受益者負担の改革に集中的に取り組むことなどを追加しました。

・財政状況が厳しいのであれば、新たな公共施設の建設を計画に盛り込むべきではない。まずは財政基盤を改善することを最優先にすべき	京都市においては、市民のいのちとくらしをしっかりと守り、未来を展望するため、厳しい財政状況にあっても縮小一辺倒に陥ることなく、都市の成長戦略と行財政改革を一体的に推進していく必要があると考えております。今後、京都市において基本計画を具体化する中で、持続可能な行財政運営に向けて検討してまいります。 なお、計画案については、現在の危機的な財政状況の克服に向け、令和 3 年度から 5 年度まで歳出や受益者負担の改革に集中的に取り組むことなどを追加しました。
・コロナ禍で市民の豊かな暮らしを守るために、これまで積み重ねてきた施策に手をつけないでほしい。子ども、高齢者、障害者、中小企業商店などを支えることこそ、行政の仕事だと思う。不要不急の事業こそ見直してほしい	京都市においては、市民のいのちとくらしをしっかりと守り、未来を展望するため、厳しい財政状況にあっても縮小一辺倒に陥ることなく、都市の成長戦略と行財政改革を一体的に推進していく必要があると考えております。今後、京都市において基本計画を具体化する中で、持続可能な行財政運営に向けて検討してまいります。 なお、計画案については、現在の危機的な財政状況の克服に向け、令和 3 年度から 5 年度まで歳出や受益者負担の改革に集中的に取り組むことなどを追加しました。

・財源の厳しい中，多くの問題に取り組むのではなく，人の命にかかわる災害対策を最優先案件として取り組むべき	京都市においては，市民のいのちとくらしをしっかりと守り，未来を展望するため，厳しい財政状況にあっても縮小一辺倒に陥ることなく，都市の成長戦略と行財政改革を一体的に推進していく必要があると考えております。今後，京都市において基本計画を具体化する中で，持続可能な行財政運営に向けて検討してまいります。 なお，計画案については，基本方針 2 (2) において，財政構造の改革の推進に当たって具体的な取組を検討していく視点として，「市民のいのちとくらしを守るために真に必要な施策を持続可能なものとして実施するための事業の見直し（消費的経費）」等を追加しました。
・財政状況が厳しく将来の貯金を崩しているというところが凄く怖い ・公債償還基金の取り崩しは「財源対策」ではなく，緊急避難のはず。過去の分析を踏まえ，即刻見直すべき ・二酸化炭素排出量正味ゼロではなく基金取り崩しをゼロにすべき。世界の心配をする前に市政の心配をしてほしい	京都市においては，公債償還基金の取崩しはいつまでも続けられるものではなく，中長期的に改革に取り組む必要があると考えております。今後，基本計画を具体化する中で，持続可能な行財政の確立に向けて検討してまいります。なお，計画案については，現在の危機的な財政状況の克服に向け，令和 3 年度から 5 年度まで歳出や受益者負担の改革に集中的に取り組むことなどを追加しました。

・固定資産税が高い。土地の評価額だけで判断しないで、高齢者が安心して暮らせるように対策を講じてほしい	固定資産税は，土地や家屋など固定資産の価値に応じて，原則として，所得等の状況にかかわらず，所有者の方に一定の御負担をいただく制度となっております。 一方で，京都市においては，被災者や生活扶助受給者に対する減免制度など，納税者の方の個々の事情に対応できる仕組みを設けているところです。 なお，固定資産税の課税の在り方については，国において総合的に検討されるべきことと考えます。
・住民サービスを切り捨て、社会福祉を大きく後退させてきた京都市政のあり方を今こそ考え直す時だと思う	京都市においては，福祉，教育，子育て支援の維持・充実や市民の安心・安全の推進などの政策推進に中断なく取り組むとともに，経済政策により市税収入が過去最高となるなど歳入面での成果を上げてきた中，地方交付税等の減少，災害復旧による財政出動などにより，財政調整基金が底をつき，さらに今般のコロナ禍により巨額の財源不足が見込まれているところであり，今後，京都市において基本計画を具体化する中で，持続可能な行財政の確立に取り組む必要があると考えております。

・第２期基本計画が成果を挙げているとあるが、結果過剰投資で財政破綻しているのであればそれは成果とは言わない	京都市においては、福祉、教育、子育て支援の維持・充実や市民の安心・安全の推進などの政策推進に間断なく取り組むとともに、経済政策により市税収入が過去最高となるなど歳入面での成果を上げてきた中、地方交付税等の減少、災害復旧による財政出動などにより、財政調整基金が底をつき、さらに今般のコロナ禍により巨額の財源不足が見込まれているところであり、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、持続可能な行財政の確立に取り組む必要があると考えております。
・持続可能な財政とするためにも、問題のある予算の推移を明示的にグラフ化して示すべき	京都市の財政に関する現状・課題として、地方交付税の大幅な減少により一般財源収入が伸びていない中、社会福祉関連経費が増加していること、財政調整基金が底をつくという極めて脆弱な財政基盤の下で、公債償還基金の取崩しなど特別の財源対策に頼らざるを得ない状況が続いていることを記載しており、これを裏付けるものとして、それぞれの推移に関するデータを掲載しております。持続可能な行財政とするためには、歳入歳出両面からの改革が求められており、とりわけ直近の令和３年度から令和５年度までの３年間は聖域を設けることなく、あらゆる分野において徹底した歳出改革を行っていく必要があると考えております。 なお、京都市の財政状況に関するデータについては、京都市情報館において、予算・決算の資料として、また、「京都市持続可能な行財政審議会」の資料としても公表しているところです。

・「大都市特有の財政需要」とあるが、日本国における「大都市」の典型例は東京都であろう。東京都と京都市に共通する「特有の財政需要」とは何のことか	総務省においては東京都区部及び政令指定都市を大都市と定義しています。圏域の中核都市としての役割や人口の集中・産業的課題から生じる大都市特有の財政需要を踏まえ、財源の確保を国や府に対して働きかけてまいります。
・「足腰の強い」とあるが、具体的に財政項目のどれが足に相当し、どれが腰に相当するのか。それらが「強い」とは何を意味するのか。そもそも行財政全体を人体のような有機的なもの、自律的なものに例えて説明することが、適切なのか	「足腰の強い」とは中長期的な視点に立ち、景気変動、災害や感染症などのあらゆる危機に対してしなやかに対応できる状態のことです。
・「大都市特有の財政需要を踏まえた地方交付税の確保」とあるが、まず一番に記されるべき財源の確保策としては、市税収の増化策ではないか	基本方針 2(1)において、積極的な成長戦略を推進し、市民の豊かさを税収の増加につなげると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、市民の豊かさを実現するための挑戦と改革の行財政運営に向けて検討してまいります。
・観光にお金を使うのであれば、市民に還元すべき	基本方針 2(1)において、積極的な成長戦略を推進し、市民の豊かさを税収の増加につなげるとともに、将来の担税力の強化と、都市の持続的発展につなげると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、持続可能な行財政運営に向けて検討してまいります。
・最低限の保証もままならない状況のなか「市民の豊かさ」という言葉の意味がぼんやりとしているように思う	基本方針 2(1)において、積極的な成長戦略を推進し、市民の豊かさを税収の増加につなげるとともに、将来の担税力の強化と、都市の持続的発展につなげると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、持続可能な行財政運営に向けて検討してまいります。

・区役所・市役所の有効活用やふるさと納税の充実を	基本方針 2(1)において、積極的な成長戦略を推進し、市民の豊かさを税収の増加につなげるとともに、将来の担税力の強化と、都市の持続的発展につなげること、全職員が、高度経済成長期のような人口や税収の自然増が見込めない危機感を共有したうえで、創意工夫による財源創出の力を磨くなど、歳入改革に努めることを記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、持続可能な行財政運営に向けて検討してまいります。
・市の中心にある銅駝美術高校の跡地を有効に活用してほしい	基本方針 2(1)において、積極的な成長戦略を推進し、市民の豊かさを税収の増加につなげるとともに、将来の担税力の強化と、都市の持続的発展につなげること、さらに、全職員が、高度経済成長期のような人口や税収の自然増が見込めない危機感を共有したうえで、創意工夫による財源創出の力を磨くなど、歳入改革に努めることを記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、持続可能な行財政運営に向けてに向けて検討してまいります。
・文化・教育・憲法を打ち出すばかりで、経済は 50 年遅れ。外部から金を集めることが必要	基本方針 2(1)において、積極的な成長戦略を推進し、市民の豊かさを税収の増加につなげるとともに、将来の担税力の強化と、都市の持続的発展につなげること、全職員が、高度経済成長期のような人口や税収の自然増が見込めない危機感を共有したうえで、創意工夫による財源創出の力を磨くなど、歳入改革に努めることを記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、持続可能な行財政運営に向けて検討してまいります。

・社会的利益をあげるための施策を実施すべき	基本方針 2(1)において、積極的な成長戦略を推進し、市民の豊かさを税収の増加につなげるとともに、将来の担税力の強化と、都市の持続的発展につなげること、都市の成長につながる施策・事業を重視するとともに、市政の隅々まで市民感覚やコスト意識を浸透させて、民間活力の導入、事業のスクラップアンドビルド、施設の長寿命化と保有量の最適化、受益者負担の適正化を行う等、徹底した歳出改革を進めることを記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、持続可能な行財政運営に向けて検討してまいります
・「何をやめて、何を取り壊して、あまったお金を未来に向けてどう活用するか」という発想へ転換することが、持続可能性と将来世代への責任という観点から重要	基本方針 2(1)において、積極的な成長戦略を推進し、市民の豊かさを税収の増加につなげるとともに、将来の担税力の強化と、都市の持続的発展につなげること、都市の成長につながる施策・事業を重視するとともに、市政の隅々まで市民感覚やコスト意識を浸透させて、民間活力の導入、事業のスクラップアンドビルド、施設の長寿命化と保有量の最適化、受益者負担の適正化を行う等、徹底した歳出改革を進めることを記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、持続可能な行財政運営に向けて検討してまいります。

・徹底的にムダの見直しをお願いする	基本方針 2(1)において、積極的な成長戦略を推進し、市民の豊かさを税収の増加につなげるとともに、将来の担税力の強化と、都市の持続的発展につなげること、民間活力の導入、事業のスクラップアンドビルド、施設の長寿命化と保有量の最適化、受益者負担の適正化を行う等、徹底した歳出改革を進めることを記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、持続可能な行財政運営に向けて検討してまいります。
・生産性を向上させようとするのであれば、AI 導入の前に無駄な業務を洗いざらい見直した方が低コストで早く成果が出ると思う	基本方針 2(1)において、積極的な成長戦略を推進し、市民の豊かさを税収の増加につなげるとともに、将来の担税力の強化と、都市の持続的発展につなげること、民間活力の導入、事業のスクラップアンドビルド、施設の長寿命化と保有量の最適化、受益者負担の適正化を行う等、徹底した歳出改革を進めることを記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、持続可能な行財政運営に向けて検討してまいります。
・市民税が高い割に、税金がきちんと使われていると感じることができない。財政状況も厳しいとのことだが、事業全体の見直しはしているのか ・助成金が有効に使われているのか。改めて精査が必要ではないか	基本方針 2(1)において、積極的な成長戦略を推進し、市民の豊かさを税収の増加につなげるとともに、将来の担税力の強化と、都市の持続的発展につなげること、民間活力の導入、事業のスクラップアンドビルド、施設の長寿命化と保有量の最適化、受益者負担の適正化を行う等、徹底した歳出改革を進めることを記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、持続可能な行財政運営に向けて検討してまいります。

・厳しい財政状況にあるにもかかわらず、その切実さが感じられない。市民、職員にとって「痛み」のある改革を行っていく必要があることを明記すべき	基本方針 2(1)において、積極的な成長戦略を推進し、市民の豊かさを税収の増加につなげるとともに、将来の担税力の強化と、都市の持続的発展につなげること、民間活力の導入、事業のスクラップアンドビルド、施設の長寿命化と保有量の最適化、受益者負担の適正化を行う等、徹底した歳出改革を進めることを記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、持続可能な行財政運営に向けて検討してまいります。
・森林をつくるように、涵養（かんよう）が大切	基本方針 2(1)において、積極的な成長戦略を推進し、市民の豊かさを税収の増加につなげるとともに、将来の担税力の強化と、都市の持続的発展につなげること、民間活力の導入、事業のスクラップアンドビルド、施設の長寿命化と保有量の最適化、受益者負担の適正化を行う等、徹底した歳出改革を進めることを記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、持続可能な行財政運営に向けて検討してまいります。
・財源の確保は、あらゆる事業で黒字化を目指すくらいにやっていただきたい	基本方針 2(1)において、積極的な成長戦略を推進し、市民の豊かさを税収の増加につなげるとともに、将来の担税力の強化と、都市の持続的発展につなげること、全職員が、高度経済成長期のような人口や税収の自然増が見込めない危機感を共有したうえで、創意工夫による財源創出の力を磨くなど、歳入改革に努めること、民間活力の導入、事業のスクラップアンドビルド、施設の長寿命化と保有量の最適化、受益者負担の適正化を行う等、徹底した歳出改革を進めることを記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、持続可能な行財政運営に向けて検討してまいります。

・あらゆる世代の健康づくりや地域学習の場としてのコミュニティーセンター等をもっと多くするべき	基本方針 2(1)において、施設の長寿命化と保有量の最適化を行う等、徹底した歳出改革を進めると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、持続可能な行財政運営に向けて検討してまいります。
・教業小学校の京セラ避難所として、新築耐震工事で太陽光発電も装備し、老人ホームや非常用災害時病室と合築で建設してほしい	基本方針 2(1)において、積極的な成長戦略を推進し、市民の豊かさを税収の増加につなげるとともに、将来の担税力の強化と、都市の持続的発展につなげること、施設の長寿命化と保有量の最適化を行う等、徹底した歳出改革を進めることを記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、持続可能な行財政運営に向けて検討してまいります。
・小学校統合によるホテルの建設は、もっと他の使い道はないものか	基本方針 2(1)において、積極的な成長戦略を推進し、市民の豊かさを税収の増加につなげるとともに、将来の担税力の強化と、都市の持続的発展につなげること、施設の長寿命化と保有量の最適化を行う等、徹底した歳出改革を進めることを記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、持続可能な行財政運営に向けて検討してまいります。
・小学校をこれ以上売却しないでほしい	基本方針 2(1)において、積極的な成長戦略を推進し、市民の豊かさを税収の増加につなげるとともに、将来の担税力の強化と、都市の持続的発展につなげること、施設の長寿命化と保有量の最適化を行う等、徹底した歳出改革を進めることを記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、持続可能な行財政運営に向けて検討してまいります。

・市庁舎整備や芸大移転などは、本当に市民が求めていることなのか ・この財政危機の中、京都芸大の移転を凍結すべき ・芸大移転、水垂運動公園は凍結すべき ・水垂運動公園とか、どう考えても今、いない	基本方針 2(1)において、民間活力の導入、事業のスクラップアンドビルド、施設の長寿命化と保有量の最適化、受益者負担の適正化を行う等、徹底した歳出改革を進めることを記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、持続可能な行財政運営に向けて検討してまいります。 なお、計画案においては、基本方針 2(2)に財政構造の改革の推進に当たって具体的な取組を検討していく視点として、「投資事業の選択と集中（投資的経費）」、「公共施設の適正管理・受益者負担の適正化」等を追加しました。
・財政難なのであれば、京都府から財源移譲を受けるよう努めてほしい	基本方針 2(1)において、府市間の役割分担に応じた適正な財源の確保を府に対して働きかけると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、持続可能な行財政運営に向けて検討してまいります。
・観光客が多い清水寺や伏見稲荷で訪問税をとるなど検討してほしい ・神社仏閣の非課税撤廃を求める	京都市においては、現在、審議会においてセカンドハウス所有者等への適正な負担の在り方について議論を重ねるなど、持続可能なまちづくりを支える財源の確保に向けた税制の在り方について検討を進めているところです。今後、京都市において基本計画を具体化する中で、持続可能な行財政運営に向けて検討してまいります。

・財政危機を市民にも理解してもらう努力が必要。必要な民間委託を前面に掲げるべき	基本方針 2 (1), 2 (3), 3 (1) において、民間活力の導入、市財政状況の共有について記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、市民の豊かさを実現するための挑戦と改革の行財政運営に向けて検討してまいります。 なお、計画案については、基本方針 2 (3) で、施策に必要なお金の情報から、京都市の財政の実情、改革の進ちよく状況まで、正確にわかりやすく、到達主義で発信すると記載を修正しました。
・福祉施策の市場化や公的サービスの産業化、混合診療を進めることが、GDP、財政力の向上につながる	基本方針 2 (1), 3 (1) において、民間活力の導入を進めると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、市民の豊かさを実現するための挑戦と改革の行財政運営に向けて検討してまいります。
・歳出を減らし、歳入を増やす経営計画を作成し、市民に見せてほしい。2025 年には都市経営が健全化される計画を見せてほしい	基本方針 2 (2) において、財政構造の改革の推進に当たっては、計画を策定し、取組を進めていくと記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、持続可能な行財政運営に向けて検討してまいります。 なお、計画案については、6 つの視点で具体的な取組を検討のうえ、行財政改革の計画を策定すること等を追加しました。

・危機的な財政状況を踏まえ、職員の給与ボーナスを削減すべき ・職員の給与削減を計画に盛り込むことが必要である ・市職員の給料を上げてほしい	職員の給与については、地方公務員法に定める人事委員会からの勧告及び報告に基づき、市内民間企業の給与水準と均衡させてきており、当該改定については、市会の議決を経て決定されています。 なお、計画案については、基本方針 2 (2) において、財政構造の改革の推進に当たって具体的な取組を検討していく視点として、「組織・人員体制・人件費の適正化（人件費）」等を追加しました。
●市の職員数が多すぎる ・自治体職員が住民の自治の力を育てるという視点を持って、政策を考え仕事を生み出すことができるようにするためにも、自治体職員数は減らさないでほしい	京都市においては、これまでから必要な部署には必要な人員を配置しつつ、職員数の適正化に取り組んでいるところです。今後、京都市において基本計画を具体化する中で、機動的で効率的な組織体制の構築に向けて検討してまいります。 なお、計画案については、基本方針 2 (2) において、財政構造の改革の推進に当たって具体的な取組を検討していく視点として、「組織・人員体制・人件費の適正化（人件費）」等を追加しました。
・基本方針 2 について、市民に財政と施策について理解を深める発信が必要 ・世界から見られること・評価されることが市民にとって税収の面など、メリットがどれだけあるのか可視化され、市民に還元されているのかがより伝わるという	基本方針 2 (3) において、財政状況の共有について記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、効果的な財政状況の発信に向けて検討してまいります。 なお、計画案については、施策に必要なお金の情報から、京都市の財政の実情、改革の進ちょく状況まで、正確にわかりやすく、到達主義で発信すると記載を修正しました。

・財政が困窮した原因を我々にちゃんと説明し今後どう改善していくのかをきちんと説明してほしい	基本方針 2 (3) において、財政状況の共有について記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、効果的な財政状況の発信に向けて検討してまいります。 なお、計画案については、施策に必要なお金の情報から、京都市の財政の実情、改革の進ちよく状況まで、正確にわかりやすく、到達主義で発信すると記載を修正しました。
・市職員のスキルアップは不可欠なので、意欲のある職員の採用や研修等の充実をお願いします ・市役所づくりに向けた組織の改革と職員の育成が必要である ・オールマイティーな人材を育て、垣根を越えた支援体制の構築が必要 ・推進するには各部門にリーダーが必要。専門知識とリーダー教育をしてはどうか	基本方針 3 において、多様な市民のニーズや新たな課題に的確かつ迅速に対応できるよう、組織改革の推進や働き方改革の推進、職員力・組織力のさらなる向上により、市民により一層信頼される市役所づくりを進めると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、一層信頼される市役所づくりに向けて検討してまいります。
・職員には市民意見をもっと聞いてほしい	基本方針 3 において、多様な市民のニーズや新たな課題に的確かつ迅速に対応できるよう、組織改革の推進や働き方改革の推進、職員力・組織力のさらなる向上により、市民により一層信頼される市役所づくりを進めると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、一層信頼される市役所づくりに向けて検討してまいります。
・職員の育成、引き継ぎを確実に実施してほしい	基本方針 3 において、多様な市民のニーズや新たな課題に的確かつ迅速に対応できるよう、組織改革の推進や働き方改革の推進、職員力・組織力のさらなる向上により、市民により一層信頼される市役所づくりを進めると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、一層信頼される市役所づくりに向けて検討してまいります。

・業務の集約化だけでなく、行政区にとらわれない行政機関の設立をすすめ利便性を回復すべき	基本方針 3 において、一層信頼される市役所づくりに向けた組織の改革を、基本方針 3(1)において、社会の変化に対応した組織改革の推進について記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、一層信頼される市役所づくりに向けて検討してまいります。
・行政組織は動きが遅い。デジタル化を進めて機動的に動けるようにすべき	基本方針 3(1)において、行政のデジタル化を進めると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、社会の変化に対応した組織改革の推進に向けて検討してまいります。
・職員に余力が生まれるよう働き方改革が進むとよい	基本方針 3(2)において、AI や ICT 等の積極的な活用による生産性の向上や職員のライフスタイルに応じた柔軟な働き方を一層推進すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、働き方改革の推進に向けて検討してまいります。
・職員の育成をしっかりしてほしい。相談しても現在の政策の説明に終わり、一緒に考える姿勢が見られない	基本方針 3(3)において、かつてない速さで変革する社会のなかであっても、困難や危機にしなやかに対応し、創造力をもって新たな時代を切り拓く職員、つねに経営感覚を磨き、改革・変革に積極的に取り組む職員、地域に根差し、市民とともに地域活動、文化活動、環境保全等に積極的に取り組む職員を育成すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、一層信頼される市役所づくりに向けて検討してまいります。

・国際化に対応する市の職員などは、少なくとも英語を話すという基準を設けていたきたい	基本方針 3(3)において、かつてない速さで変革する社会のなかであっても、困難や危機にしなやかに対応し、創造力をもって新たな時代を切り拓く職員、つねに経営感覚を磨き、改革・変革に積極的に取り組む職員、地域に根差し、市民とともに地域活動、文化活動、環境保全等に積極的に取り組む職員を育成すると記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、一層信頼される市役所づくりに向けて検討してまいります。
・もっと行きやすい市役所づくりを頑張してほしい	今後も、京都市において、全ての人に対して安全で分かりやすく、また利用しやすい市役所となるよう取り組んでまいります。
・区役所がまったく機能していない。なくてもよい	区役所は、区民に最も身近な行政機関であることから、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、区役所の機能強化に向けて検討してまいります。
・伏見区醍醐地区は分区して醍醐区とするか山科区に編入するのが適切	醍醐地区については、昭和 6 年に醍醐村など 9 市町村と京都市との合併・編入を行った際に伏見区となった経過がある一方、山科区は昭和 6 年に宇治郡から東山区に編入された後、昭和 51 年に東山区から分区された経過があります。こうした経過のもと、現在、京都市においては、醍醐地域を伏見区の行政区域としております。

・大綱においてまちづくりを強調しているが、まちづくりの前に、住みやすい環境を整えていくことのほうが重要なのではないか	行政経営の大綱は、くらしやすさや都市の活力の向上等の実現に向けた様々な活動主体の取組を下支えする基盤としての行政経営のあり方を示す項目です。京都市において、参加と協働による持続可能なまちづくりの推進、挑戦と改革の行財政運営、組織の改革と職員の育成など、行政経営の大綱に記載の取組を進めることを通じて、未来像の実現に向けて取り組んでまいります。
--	---

計画の推進に関する御意見

◆ 答申案に反映させていただいた御意見

御意見の要旨	御意見に対する考え方
・二重行政について、市民にとって文化施設や相談窓口が複数あることによるメリットもあり、計画の表現としては「京都市と京都府における無駄な二重行政」のような文言が良い	4 国，府，関係自治体との連携を京都市と京都府における二重行政の課題の解消という表現に修正しました。

◆ 審議の参考とさせていただいた御意見

御意見の要旨	御意見に対する考え方
・基本計画はすべて良いが実行が大切 ・融合の視点は今日的でとても良いと思うが、融合して何をするかに触れればさらに良い ・ただのお題目ではなく、市民のための具体的施策が行われることを願う	昨今の予測困難な社会経済情勢に対して、柔軟かつ機動的に対応するため、基本計画の下位計画として、専門的な議論・知見を踏まえ、その推進事業等を盛り込んだ各分野別計画等に基づき、精査を行いながら毎年度の予算で推進事業を定めることで、基本計画の着実な推進を図ってまいります。

●市民生活の豊かさの向上に関して、具体的にどのような政策の施行を想定しているのか ●財政破綻する見込みにも関わらず、膨大な事業を実施する計画になっており、矛盾している ・財政が厳しいなかで計画を進めるには、取組を精査して進める必要がある。計画に書かれていることが実現するように取り組んでほしい ・一年ごとに状況説明をお願いしたい ・8つの「重点戦略」が「京都の未来像」の実現に貢献するにあたってのロードマップを示してほしい ・具体的に何をどうするのか分かりにくい。5年後にはどうなっているのかがイメージできない ・推進施策には「～を実現」や「～を推進」など方向性が記載されており、具体的に何をするのかが分からない	基本計画は、京都市基本構想の具体化のために全市的観点から取り組む主要な政策を示す計画です。 今後、この基本計画に掲げた方向性の下、京都市において基本計画を具体化する中で、予測困難な社会経済情勢に対して、柔軟かつ機動的に対応するため、精査を行いながら具体的な推進事業を定めてまいります。 そのうえで、基本計画の実施状況については、京都市会基本条例や京都市行政活動及び外郭団体の経営の評価に関する条例に基づき、市会への報告・公表等によって進ちよく管理を行ってまいります。
・計画の進ちよく、推進状況については広く市民に広報してほしい	2 計画に掲げた政策の進ちよく管理において、「京都市会基本条例」に基づく本計画の実施状況、及び「京都市行政活動及び外郭団体の経営の評価に関する条例」に基づく政策の評価結果を市会へ報告し、市民に公表するとともに、より効果的な市政の運営や政策の企画・立案に活用すると記載しており、今後、京都市において広報を進めてまいります。

・理念，未来像，戦略については異論ないが，具体的に何をするのか，どうやって実現するのか，どういう状態になれば成功なのか分からないので量的な数値目標と評価基準が必要 ・各重点戦略の進捗や達成度合いを評価するための基準となる項目を示してほしい ・1年1年の現状，推進報告を確実にしてほしい ・「みんなでめざす2025年の姿」にどのように近づけるのかの「PDCAサイクル」を掲載していただきたい	2 計画に掲げた政策の進ちょく管理において，「京都市会基本条例」に基づく本計画の実施状況，及び「京都市行政活動及び外郭団体の経営の評価に関する条例」に基づく政策の評価結果を市会へ報告し，市民に公表するとともに，より効果的な市政の運営や政策の企画・立案に活用すると記載しており，今後，京都市において前年度の実施状況の公表や政策評価制度により政策の達成度を評価し，進捗を確認してまいります。
・関係自治体との協力を検討してほしい	4 国，府，関係自治体との連携において，他の政令指定都市や近畿圏，京都都市圏における周辺自治体等との広域的な政策連携によって，計画に掲げた政策を一層効率的，効果的に推進すると記載しており，今後，京都市において具体化する中で，効率的，効果的な政策の推進に向けて検討してまいります。
・「周辺自治体」という言葉も失礼な表現であり，「近隣自治体」などの表現が望まれる	京都市と隣り合った自治体だけでなく，京都市を取巻く，より広い範囲の自治体を表すため，周辺自治体という表現としています。
・この計画にどういう意味があるのか	基本計画は，京都市基本構想の具体化のために全市的観点から取り組む主要な政策を示す計画です。 今後，この基本計画に掲げた方向性の下，京都市において基本計画を具体化する中で，予測困難な社会経済情勢に対して，柔軟かつ機動的に対応するため，精査を行いながら具体的な推進事業を定めてまいります。

・重点戦略と政策の体系との関わりを述べ、目標・指標を掲げることで政策が成功しているのか否かを具体的に検証できる ・重点戦略との関係が述べられる必要がある	各重点分野と特に関わりの深い政策分野については、第 5 回京都市基本計画審議会において資料としてお示しし、京都市ホームページ等で公開しています。 今後、計画に掲げた政策の進ちょく管理において、「京都市会基本条例」に基づく本計画の実施状況、及び「京都市行政活動及び外郭団体の経営の評価に関する条例」に基づく政策の評価結果を市会へ報告し、市民に公表するとともに、より効果的な市政の運営や政策の企画・立案に活用すると記載しており、今後、京都市において前年度の実施状況の公表や政策評価制度による政策の達成度を評価し、進捗を確認してまいります。
・複数の行政分野を融合した政策である重点戦略と各分野別計画との関連を市民に対して明示してほしい	基本計画に掲げる政策の体系は、分野別計画の基本となるものです。各重点分野と特に関わりの深い政策分野については、第 5 回京都市基本計画審議会において資料としてお示しし、京都市ホームページ等で公開しています。
・財源確保を国や府に働きかけるのであれば、現行の法等や既設置の審議会等といった、これまでの範囲を超えた議論や推進の仕組みも必要ではないか	財源の確保や京都市に必要な政策の実現に向けては、既存の制度の枠を超えた内容についても国等への働きかけを行っており、引き続き京都市において行ってまいります。

その他

◆ 審議の参考とさせていただいた御意見

御意見の要旨	御意見に対する考え方
・パブリック・コメントをしっかりと反映させてほしい	パブリック・コメントでの御意見を踏まえて計画を修正いたしました。

・この基本計画が、地域住民にとって、雲の上の存在にならずに、自治連合会、自治会、各種団体等をはじめとした市民に根差したものとなることを望む	複雑・多様化する地域課題への対応には、多様な主体と共に取り組むことが一層重要であり、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、京都市自らが取り組むことはもちろんのこと、多様な主体が連携・協働するための対話・交流の促進など、新たな行動や解決策を生み出すまちづくりを検討してまいります。
・おもろいまちにしてほしい ・活気を失わないでほしい ・寛容な都市になってほしい ・京都が世界の都市の中で一番面白い人やモノや情報が集まる街になってほしい ・もっとはんなりしたまちになってほしい ・少しでもいいニュースが飛び交うまちになってほしい ・古今折衷都市、個性と挑戦に寛容な都市に ・利便性のあるまちにしてほしい ・自由な発想で新しいものにチャレンジ出来る都市にしたい	今後、京都市において基本計画を具体化する中で、京都が今後も魅力的なまちであり続けられるよう検討してまいります。
・SDGs について、その理解と認知を深め、我々が何をすべきか考える機運をつくるべき	京都市では SDGs の意味について、市民の皆様が理解し、生活の中で実践につなげていただくため、理解しやすい媒体として、マンガやイラストを活用した冊子の発行やフォーラムの開催など、啓発に取り組んでいます。今後も、市民・企業・NPO・行政等が相互に連携し、協働することにより、持続可能な京都を実現できるよう取り組むとともに、「到達主義」により市民の皆様への分かりやすい情報発信に努めてまいります。
・京都市は、SDGs など気にせず自信をもってやったら後からいろいろついてくるまちのはず。政策は否定しないが些か滑稽さを感じる	SDGs の理念は京都市におけるこれまでの方針と共通するものであり、国際社会全体の普遍的な目標として、その達成に向け取組を進めていく必要があると考えております。

・「みんなでめざす 2025 年の姿」のイメージが分かりにくいので将来図を示すなど工夫してほしい	政策評価制度により数値目標を設定・評価することで、各政策に掲げためざすべき 2025 年の姿を共有し、その達成に向けて取り組んでまいります。 また、基本計画策定後、京都市において計画冊子等を作成するに当たっては、分かりやすく伝えられるよう工夫してまいります。
・27 の政策分野の情報を発信していくには、障害者を含めた情報弱者を作らない取組をお願いする ・計画の理念をいかに市民に分かり易く伝え理解を得るかが非常に大切 ・芸能人を使って基本計画の広報しないのか	基本計画策定後、京都市において適切な広報手段を検討したうえで計画を周知してまいります。
・市民へ当該計画を周知する際には、一文の長さを短くしたり、図解やイラストなどを入れて分かりやすくしてほしい ・京都の将来像については、言葉ではイメージがつかみにくいので将来図（絵）を示すなど工夫してほしい	基本計画策定後、京都市において計画冊子等を作成するに当たっては、分かりやすく伝えられるよう工夫してまいります。
・多く出てきている「京都ならではの」という文言の内容を具体的に、できれば数値的に示せばいいと思う	「京都ならではの」という表現については、数多くの大学の集積や広く分布する密集市街地、京都がこれまで育んできた風土や文化、市民力など、各分野における京都の都市特性を表す表現として使用しており、当該分野において、基本的にその表現が表す内容とともに記載しております。
・新型コロナで市民生活が大きく変わり、経済にも影響が出ている中で、財政面だけではなく、心が安らぐ取組をお願いする	基本計画に掲げた方向性の下、歳入・歳出両面からの財政改革を進め、市民のいのちとくらしを守るとともに、京都の未来の展望を開くため、今後、京都市において基本計画を具体化する中で検討してまいります。

・「など」、「等」を使用することで任意に判断・解釈・裁量可能な計画とするのではなく、注釈によって必要な例示を列挙するほうが良い	御意見のとおり、できる限り使用しないことが望ましいと考えておりますが、記載できる文章量に限りがあることや計画の見やすさ、わかりやすさの観点から、まちづくりのための手法をすべて例示することは難しく、全く使用しないことは難しいと考えております。
・大学が多く、在留外国人も多い京都は、「共に汗を流す」といった「同一性」ではなく、もう少し多様性に寄り添ったメッセージとすべきではないか	さまざまな主体と行政とが力を合わせて未来の京都をつくっていくことが重要と考えており、各主体を同じものとして扱うのではなく、複雑・多様化する地域課題への対応に多様な主体と共に取り組むことを意図しています。
・計画案全体を思い切って「市民が主役、京都市は脇役」とすることで「上から目線」の感を少なくできないか	多様な主体と進める共汗型計画と位置付け、都市経営の理念において自治体とその主人公である市民が自治意識を共有し、実践することを記載するとともに、各政策や行政経営の大綱においても連携・協働を重視して取り組むことを記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中でみんなごとのまちづくりを進めてまいります。
・コロナ禍では、一人暮らしのお年寄が昼間にバスや地下鉄で出歩かないように注意すべきでは	京都市では新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向け、市民一人一人が感染防止策を実践いただくことが重要と考えており、マスクの着用や 3 密の回避、換気の実施などの対策を呼びかけております。また、地下鉄については、安心して御利用いただけるよう、車両・駅の消毒措置や換気対策等に取り組んでいるところです。引き続き京都市において、感染拡大防止に向けた適切な対策の実施や市民への普及啓発に取り組んでまいります。

・学びにしても都市経営にしても、特定の学校、一定の地域のための成長を考えていただきたい	京都市基本計画は、京都市会基本条例において、市政全般にわたり総合的かつ体系的に定めるものとされており、特定の地域のための成長をめざすのではなく、京都市全体のまちづくりについて定めております。
●時給を上げてほしい	京都市では、労働条件が劣悪な、いわゆるブラックバイト対策について、京都市わかもの就職支援センター等で相談に応じています。ただし、アルバイトの賃金等については、最低賃金を定めている国のほか、それぞれの事業者において検討されるべきものと考えます。
・基本方針と 2025 年の姿との違いが分からない。どちらをめざすのか	各政策に掲げている基本方針は、今後 5 年間の取組を進めるに当たっての基本的な考え方を示すもので、2025 年の姿は、この基本方針や推進施策に基づく取組を進めた結果、政策が実現した状態を表すものです。方向性と実現した状態を示すものという違いはありますが、めざす方向は同じです。
●京都市の道が傾斜が激しいところがあるので、京都市の道を全体的にフラットな道にしてほしい	地形によってある程度の傾斜や段差があることはやむをえませんが、法令等において道路勾配についての一定の基準を定めるなど、国・府・市などの各道路管理者において、各種法令に基づき、安全な道となるよう、取組が進められているところです。
・当面のお金を稼ぐことに汲々として、人を大切にする未来が見えない	本計画は、厳しい京都市の財政状況にも留意しつつ、市民のいのちとくらしをしっかりと守り、京都の未来の展望を開くために必要な政策等を記載しており、今後、京都市において基本計画を具体化する中で予測困難な社会経済情勢の変化に対し、柔軟かつ機動的に対応してまいります。

・給与カットだけではなく、人口減のなかで議員の数も減らすのがベター	京都市会では、これまでから議員報酬・定数をはじめ各種の市会改革を進められており、京都市会において検討されるべきものと考えています。
・「誰一人取り残さない」や「あらゆる世代にわたって」、「誰もが気軽に参加できる」など、実現不可能なことを記載すべきでない	国連で採択されたSDGsにおける誰一人取り残さないとの理念をはじめ、政策を推進するに当たってめざすべき方向としては、特定の人・世代等を除外することは望ましくないとの考え方の下、一部の分野で使用しております。
・「障害者」や「支援学校」等の用語が京都市の施設名に用いられているが、レッテルを貼られているようで好ましくない	施設の名称については、一般的に用いられている文言で、あらゆる利用者に分かりやすく、配慮されたものであることが望ましいと考えます。個別の施設名称については、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、検討してまいります。
●スーパーの数が少ない、物価が高い、水道代が高いなど、住みにくさを解消してほしい ・京都市に何十年と住んできているが、年々住みづらく感じている	物価の高さについては都市部であることをはじめ、国の経済・金融政策などにも影響されるものですが、子育て世代をはじめとした定住促進に向け、働く場の確保や生活利便性の向上など、今後、京都市において基本計画を具体化する中で、将来にわたって暮らしやすく、魅力や活力ある持続可能な都市構築に向けて検討してまいります。
・パブリック・コメントにおいて、「基本方針」についてのコメント記入項目がなぜ設定されていないのか	政策の体系の基本方針については3に、行政経営の大綱の基本方針については4にて御回答いただく設定としております。
・この意見書は範囲が広すぎて回答が難しかった。何かもう少しわかりやすい例を上げ、参考につけてほしかった	京都市基本計画は、全市的観点から取り組む主要な政策を示す計画であり、市政全般にわたる内容を記載しております。頂いた御意見は、今後の計画づくりの参考にさせていただきます。

・次回から対話型パブコメ用(総合支後学校用)の用紙があればいいと思う	市民の皆様の様々な御意見をうかがうため、京都市においてパブリック・コメントの手法に応じたより丁寧な意見聴取を検討してまいります。
・基本計画案が市民に伝わらなければ意味がない。パブリック・コメントをホームページのトップに掲載するなど、市民の意見が取れるように ・京都市情報館からのリンクもわかりにくく、携帯で見るにはPDFファイルが見辛く、限られた条件の市民しか、きちんと見れないと思う ・この計画案を京都市ホームページのトップに置いたり、駅等にスマホでアクセスできる案内を置いたりすれば広く意見を募集できるのではないか	京都市情報館のトップや京都市におけるパブリック・コメント実施案件の一覧への掲載のほか、各種公共施設等への意見募集冊子の配下、回覧チラシの作成など、ホームページ、紙媒体を含めて広く周知に努めたところですが、引き続きパブリック・コメント時の適切な広報手段を検討してまいります。
・マイナンバーがいまいちよく分からない	マイナンバーは日本に住民票を有するすべての方がもつ12桁の番号で、社会保障、税、災害対策の3分野で、複数の機関に存在する個人の情報が同一の情報であることを確認するために活用され、個人の特定を確実かつ迅速に行うことができます。これにより、行政の効率化を進め、市民の利便性の向上や公正な社会の実現をめざすものです。